TOSHIBA

取扱説明書

REGZA

4K有機ELテレビ

形名 48X8900K／55X8900K／65X8900K

機能操作編



「付属品を確認する」、「テレビを設置する」、などの準備は製品に同梱の取扱説明書をご覧ください。

必ず本製品をご利用いただく前に製品同梱の取扱説明書の「本製品のご利用に関する重要なお知らせ」をご覧ください。
必ず最初に製品同梱の取扱説明書の「安全上のご注意」をご覧ください。
映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、「症状に合わせて解決法を調べる」≫をご覧ください。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

もくじ

》リモコンのボタンと主な機能 11

テレビを見る

》テレビ番組を操作する 14
》リモコンで番組を選ぶ 14
》音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる . . 17
》本体ボタンによる「機能切換」について 18
》操作ガイドについて 19
》サブメニューについて 20
》番組情報や番組説明を見る 22
》番組情報を見る 22
》番組説明を見る 23
》番組表で番組を探す 24
》番組表を使う 24
》番組表を便利に使う 27
》条件を絞りこんで番組を探す 35
》データ放送やラジオ放送を楽しむ 41
》連動データ放送を楽しむ 42
》独立データ放送やラジオ放送を楽しむ 42
》便利な機能を使う 44
》画面サイズを切り換える 44
》降雨対応放送について 45
》他の映像・音声を切り換える 45
》映像を静止させる 47
》画面を一時的に消す 47
》映像の詳細情報を表示させる 48
》Dolbyの通知を表示しない設定にする 48
》省エネ設定をする 49

》声を聴き取りやすくする 51
》ヘッドホンで聴く 52
》自動で電源が入るようにする 53
》自動で電源が切れるようにする 56

録画機器を使う

録画機器の接続をする

》録画・予約機能について 57
》録画できる機器と番組 57
》接続・設定と録画前の準備 58
》USBハードディスクの設定をする 60
》USBハードディスクの設定をする 60
》録画の基本的な設定をする 65
》録画に使用する機器を設定する 65
》チャプター分割のしかたを設定する 66

録画・予約をする

》見ている番組を録画する 67
》番組表で予約をする 69
》メッセージが表示された場合 71
》マルチ表示の番組表で予約するとき 72
》連続ドラマを予約する 73
》番組ガイドで番組を予約する 75
》日時を指定して予約をする／
番組を検索して録画・予約をする 78
》番組を検索して録画・予約をする 80
》録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき . . . 81
》予約の確認・変更・取り消しをする 84

》おまかせ録画 87
》おまかせ録画に必要な準備 87
》おまかせ録画について 88
》予約・録画の優先順位と予約の動作について . . . 91
》予約・録画の優先順位について 91
》予約の動作について 93

再生する

》録画した番組を再生する 94
》再生の基本操作とさまざまな再生のしかた 94
》録画番組の再生中にできるリモコン操作 97
》録画番組の情報や番組説明を見る 99
》録画番組を修復する 100
》シーン/出演者の情報を見る 101
》見たい録画番組を探して再生する 103
》録画リストのさまざまな機能を使う 107
》番組を並べ替える 107
》おまかせ録画番組を予約録画番組に変更する 107
》ほかの機器を選択する 108
》機器の情報を確認する 108
》ざんまいスマートアクセスで楽しむ 109
》ざんまいスマートアクセスでお好みの番組を選ぶ . . 109

不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

》不要な録画番組を消す／
誤って消さないように保護する 112
》録画番組を消す 112
》自動的に消す(自動削除設定) 113
》誤って消さないように保護する 114

接続機器を使う

》外部入力の画面に切り換える 115
》外部入力の機能を設定する 117
》入力切換時に画面に表示される機器名を設定する . . 117
》HDMI入力の設定を変更する 118
》本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする 122
》本機のリモコンで対応機器を操作する 126
》機器を操作する 126
》本機のリモコンでできるおもな操作 131
》レグザサウンドシステムで聴く 133
》レグザサウンドシステムの音声を設定する 134
》オーディオ機器(オーディオシステム)で聴く . . . 135
》オーディオ機器のスピーカーで聴く 135
》動画を再生する 137
》動画再生の操作 138
》動画再生時にできるリモコン操作 140
》動画の音声を切り換える 141
》動画の字幕を切り換える 141
》動画の音声を切り換える 141
》動画の再生方法を設定する 142
》時間を指定して再生する(タイムサーチ) 142
》動画ファイルの情報を見る 142
》プレイリストを見る 143
》画面を非表示にする 143

》音楽を再生する 144
》音楽再生の操作 145
》音楽再生時にできるリモコン操作 146
》歌詞を表示する 147
》歌詞のデコードを変更する 147
》音楽ファイルの情報を見る 147
》プレイリストを見る 147
》画面を非表示にする 147
》写真を再生する 148
》写真再生の操作 149
》サムネイル画面表示中の操作 151
》自動的に順番に再生する(スライドショー) 151
》スライドショーの設定を変更する 151
》写真を回転する 152
》写真の表示サイズを切り換える 152
》写真ファイルの情報を見る 152
》プレイリストを見る 152

インターネットを楽しむ

インターネットに接続する

》インターネットに接続するための設定をする . . . 153
》LANの設定をする 153
》ネットワーク情報 155
》接続テスト 156
》ネットワーク設定の接続テスト結果について 157
》クラウドサービスの情報を初期化する 158

クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ

》クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ 163
》クラウドサービスとネットワークサービスについて . 163
》レグザナビを使う 166
》レグザナビについて 166
》動画配信サービスを楽しむ 169

調整・設定をする

映像を調整する

》お好みの映像メニューを選ぶ 170
》お好みの映像に調整する 172
》黒レベル 173
》色の濃さ 173
》色あい 173
》精細感・ノイズ調整 174
》コントラスト感調整 178
》色詳細調整 181
》有機ELゲームダイレクト 182
》プロ調整 183
》キャリブレーション 184
》その他の映像設定 186
》お好み調整を初期値に戻す／映像調整を初期値に戻す 190
》テレビの電源ランプを消灯する 191

音声を調整する

》お好みの音声メニューを選ぶ 192
》お好みの音声に調整する 194
》Dolby Atmos 194
》サラウンド 195
》サウンドリマスター 196
》低音強調 197
》イコライザー 198
》オートボリューム 198
》音声詳細設定 199

その他の設定をする

》アンテナを調整する 203
》電波の強さ(信号強度)を確認する 203
》BS・110度CS 4K放送の受信環境を確認したいとき 206
》アンテナを調整する 207
》地上デジタルアッテネーター設定を変更する 207
》BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する . 208
》アンテナ線がショートしたとき 209
》チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき . . 210
》地上デジタルチャンネルを自動で設定する 210
》チャンネルをお好みに手動で設定する 212
》視聴しないチャンネルをスキップする 214
》データ放送の設定をする 215
》地域と郵便番号を設定する 215
》災害発生時に文字情報を表示させる 217

》視聴できる番組やアプリを制限する 218
》制限するために暗証番号を設定する 218
》番組の視聴を制限する 220
》ネットワークサービスの利用を制限する 221
》アプリのインストールを制限する 223
》パネルメンテナンス 224
》4K有機ELテレビを快適にご使用いただくため、パネルをメンテナンスする 224
》リモコンの設定を変更する 225
》リモコンを登録する 225
》2台のレグザをそれぞれのリモコンで操作する . . . 226
》使わない放送切換ボタンの操作を無効にする 228
》Android TV™の設定を変更する 229
》Android TVの設定を変更する 229
》Googleアシスタントの設定を変更する 232
》お買い上げ時の設定に戻すには（設定内容を初期化するには） . 234

設定メニュー一覧

》設定メニュー 一覧 237

さまざまな情報

》ソフトウェアを更新する 244
》ソフトウェアの更新機能について 244
》ソフトウェアの自動ダウンロードについて 245
》サーバーから手動でダウンロードする 247
》ソフトウェアのバージョンを確認するには 248
》文字を入力する 249
》アイコン一覧 250
》番組についてのアイコン 250
》お知らせ、予約、その他についてのアイコン 251

》画面サイズについて 252
》対応フォーマット 255
》本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット . . 255
》本機で再生できるファイルのフォーマット 257

困ったときには

》症状に合わせて解決法を調べる 258
》操作 258
》映像 260
》音声 263
》地上デジタル放送 264
》BS・110度CSデジタル放送 265
》番組表 268
》お知らせアイコン が何度も表示される 268
》録画・再生 269
》HDMI連動機能 274
》クラウドサービスやネットワークサービスが利用できない . 276
》エラーメッセージが表示されたとき 280
》全般 280
》USBハードディスクに関するエラー表示 281
》東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示 282
》LAN端子を使った通信に関するエラー表示 284
》BS・110度CSの4K放送に関するエラー表示 . . . 285

》追加機能編 286

リモコンのボタンと主な機能

- 本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです（ボタンによっては、通常の操作時と機能の異なるものがあります）。



電源
電源を入れる/待機にする

入力切替
外部入力機器の画面に切り換える

画面表示
番組名や放送局名、放送時間などを見る

Abema™、hulu、U-NEXT、YouTube™、prime video、My.Choice
動画配信サービスに切り換える

BS/CS 4K
BS・110度CSの4K放送に切り換える

設定
設定メニューを表示する

消音
音を消す

地デジ ／ BS ／ CS
放送の種類を切り換える

1 ～ 12（数字ボタン）
チャンネルを選ぶ

チャンネル
チャンネルを順番に選ぶ



Net.TV
動画配信サービスに切り換える

レグザナビ
レグザナビ画面を表示する

シーン/出演者
シーンや出演者のリストを表示する

音量 ＋／－
音量を調節する

dデータ
データ放送を見る

タイムシフトリンク
タイムシフトリンク機能の画面を表示する

ざんまい
ざんまいスマートアクセス画面を表示する

録画リスト
録画リストを表示させる

番組表
番組表で番組を選ぶ

▲·▼·◀·▶（矢印ボタン）、≪·≫·《·》
番組表などでページを切り換える
メニューから選ぶ、決定する
ワンタッチリプレイ（10秒戻す）
ワンタッチスキップ（30秒飛ばす）

決定
メニューから選ぶ、決定する

戻る
メニュー操作で一つ前の画面に戻る

終了
操作を終了する



青／赤／緑／黄(カラーボタン)

多様な用途があります

アプリ

アプリ画面を表示する

Googleアシスタント( )

Googleアシスタントの音声操作機能を起動する

ホーム

ホーム画面を表示する

音声切換

音声を切り換える

番組ガイド

番組ガイドを表示する

サブメニュー

サブメニューを表示する

◀◀、▶/一時停止、▶▶、⏮、■、⏸、⏭

再生、早見早聞再生をする
早送り、早戻しをする
チャプタースキップをする
録画や再生を停止させる
再生を一時停止させる
映像を静止させる

テレビ番組を操作する

● 本体の操作ボタンについては、「本体ボタンによる「機能切換」について」≫をご覧ください。

リモコンで番組を選ぶ

1 地デジ、BS、CS、BS/CS 4K で放送の種類を選ぶ

● 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。

2 チャンネルを選ぶ(選局する)

● 以下の3とおりの選局方法があります。

ワンタッチ選局ボタンで選局する(ワンタッチ選局)

● ワンタッチ選局ボタン 1 ～ 12 で選局します(次ページの「お知らせ」をご覧ください)。

● BSデジタル放送・110度CSデジタル放送・BS・110度CSの4K放送のワンタッチ選局は、グループを指定して選局することができます。

- 通常はグループAのワンタッチ選局になります。

■ グループを指定して選局する

● 見ている放送と同じ種類の放送切換ボタンを押すと、選局ガイドが表示されます。

例:BSデジタル放送を見ているときに BS を押すと、BSデジタル放送の選局ガイドが表示されます。

● 選局ガイドを表示中に見ている放送と同じ種類の放送切換ボタンを押すと、選局ガイドに表示されるグループが切り換わります。

- BSデジタル放送は、グループAとグループBがあります。
- BS・110度CS 4K放送は、グループAとグループBがあります。
- 110度CSデジタル放送は、グループA ～グループFがあります。

● 1 ～ 12 ボタンを押すと、選局ガイドに表示されているチャンネルに切り換わります。

チャンネル ∧・∨ ボタンで選局する(順次選局)

● ∧ チャンネル ∨ でチャンネルが順次に切り換わります。

チャンネル番号を入力して選局する(ダイレクト選局)

● チャンネル番号は番組表で確認できます。

❶ サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「その他の操作」⇨「チャンネル番号入力」の順に進む

- 画面の右上に放送切換画面が表示されます。
  ◀・▶で放送を切り換えられます。

❷ 1 ～ 10 でチャンネル番号を入力する

例 103チャンネルを選ぶ場合⇨ 1 、 10 (0)、 3 の順に押します(「0」は 10 で入力)。

- ◀・▶で放送を切り換えられます。

❸ 決定 を押すと選択したチャンネルに切り換わります。

- 地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときは、複数のチャンネルが表示されます。▲・▼で選んでから 決定 を押してください。

お知らせ

- 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、番組表で確認することができます。
- 数字ボタンでワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです(「チャンネルをお好みに手動で設定する」≫で変更できます)。
  - [地デジ]を押したとき→「かんたん初期設定」で各ボタンに登録されたチャンネル。
  - BS、BS/CS 4Kを押したとき→各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル。
  - CSを押したとき→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル(1と2だけ)。
  - ◆ 一つの放送局が複数のチャンネルで異なった番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルを順番に選局できます。
- 視聴制限のある番組の視聴には視聴制限設定が必要です。詳しくは「番組の視聴を制限する」≫をご覧ください。

音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる

音量を調節する

❶リモコンの＋ 音量 －を押す

音を一時的に消す

❶リモコンの消音を押す

● 画面中央下に音声バーが表示され、消音のアイコンが表示されます。もう一度消音を押すと音が出ます。

字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換える

❶サブメニューを押し、▲·▼と決定で「字幕」を選ぶ

❷▲·▼で「字幕オン」または「字幕オフ」を選び、決定を押す

※放送によっては、「字幕オン」ではなく「日本語字幕」「英語字幕」などが表示されることがあります。

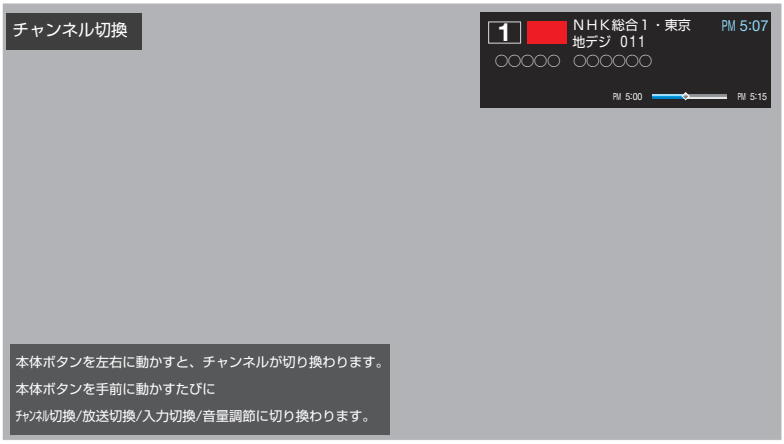
本体ボタンによる「機能切換」について

● 本体底面にある本体ボタンを左右に動かすと通常「音量調節」を行いますが、手前に動かすたびに機能が切り換わります。

1 本体ボタンを手前に動かす

● 本体ボタンを手前に動かすと、画面左上に現在選択している機能が表示されます。
希望の機能を選ぶには、機能表示が消える前に手順**2**の操作をします。

例



● 本体ボタンを手前に動かしたあと8秒間以上操作をしないと、音量調節機能に戻ります。

2 本体ボタンを繰り返し手前に動かして機能を選び、左右に動かして切り換えまたは調節をする

● 本体ボタンを手前に動かすたびに以下のように機能が切り換わります。

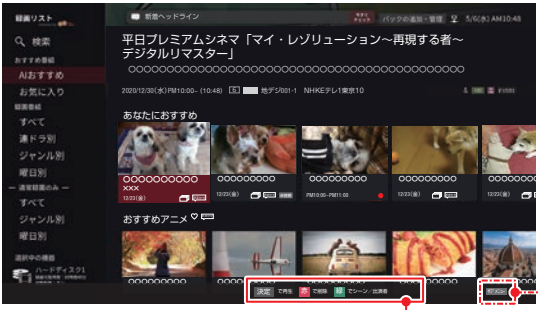
チャンネル切換 → 放送切換 → 入力切換 → 表示なし(音量調節)

- チャンネル切換..... チャンネルが順次に切り換わります。
- 放送切換 ..... 「地デジ」、「ＢＳ」、「ＣＳ」、「BS/ＣＳ 4K」が順次に切り換わります。
- 入力切換 ..... 入力が順次に切り換わります。「外部入力の画面に切り換える」≫

操作ガイドについて

- 番組表や操作画面などには、そのときに使用できる(または使用する)リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
- よく使う機能がカラーボタン(青、赤、緑、黄)やサブメニューに割り当てられています。

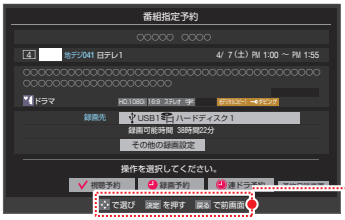
例 録画リスト



例 番組表



例 操作画面



« » ‹ › の表示
ページやリストの切り換えができることを示します。

青 赤 緑 黄 の表示
カラーボタンでさまざまな操作ができることを示します。

サブメニュー の表示
サブメニューがあることを示します。

決定 戻る の表示
選んで決定したり、前の画面に戻ったりすることができることを示します。



サブメニューについて

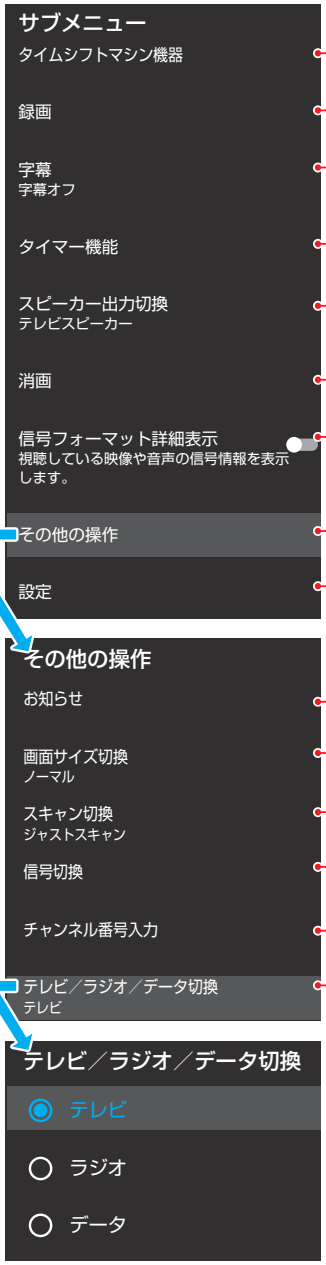
- サブメニューを押してサブメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- サブメニューの内容は、サブメニューを押すときの場面によって変わります。
- サブメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。選択できない項目は、薄くなって表示されます。

例 デジタル放送のテレビ番組を視聴中



▲▼で項目を選び、決定を押すとサブメニューの機能が利用できます。

- サブメニューに階層がある場合は、下の階層のメニューに表示が切り換わります。



機　能　（一部省略しています）
タイムシフトマシン対応東芝レコーダーの過去番組表を表示します。※1
録画ができます。
字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換えられます。
オンタイマー／オフタイマーの設定ができます。
本機のスピーカーで聴くか外部システムのスピーカーで聴くか選べます。
画面を一時的に消します。
視聴している映像や音声の信号情報を表示します。
「その他の操作」サブメニューに切り換わります。
設定メニューを表示します。
本機や放送局からのお知らせがあったときに内容を確認します。
見ている映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。
画面のスキャンサイズを変更できます。
一つの番組で複数の映像や音声が送られている場合に切り換えられます。
チャンネル番号を入力して選局します。
視聴する放送メディアを切り換えます。

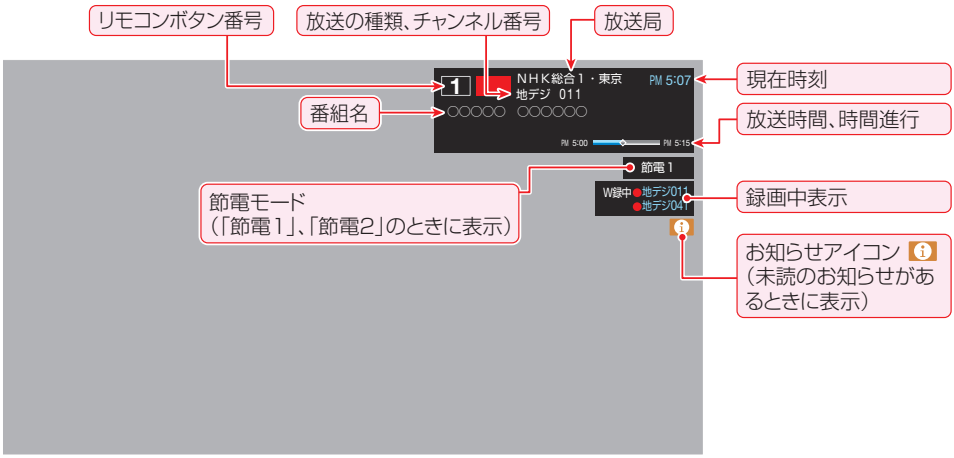
※1　サブメニューの「タイムシフトマシン機器」は、本機とタイムシフトマシン対応東芝レコーダーをHDMIケーブルで接続しているときにだけ、表示されます。タイムシフトマシン対応東芝レコーダーについては、ホームページ（https://www.regza.com/regza/）をご覧ください。

番組情報や番組説明を見る

番組情報を見る

1 画面表示を押す

- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます（チャンネル以外の表示は数秒後に消えます）。
- 表示を消すには、もう一度画面表示を押します。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。



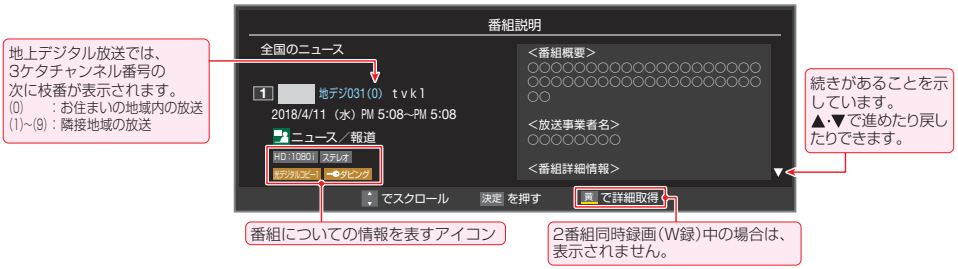
番組説明を見る

1 番組表を表示中にサブメニューを押し、▲・▼と決定で「番組説明」を選ぶ

2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、黄を押します。
  - 詳細情報が取得できなかった場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。
  - 詳細情報がなかった場合には、「番組の詳細情報はありません」と表示されます。

3 説明画面を消すには、決定を押す



お知らせ

- 画面に表示されるアイコン(ステレオ、HD:1080iなどの記号)についての説明は、「アイコン一覧」≫をご覧ください。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかることがあります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限されることがあります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

番組表で番組を探す

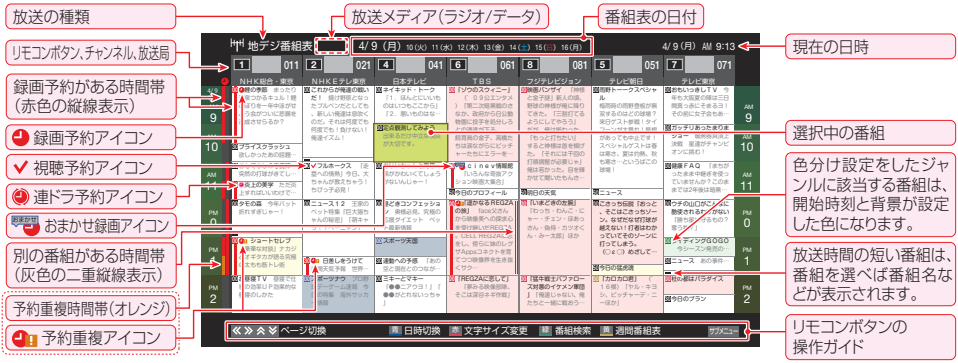
番組表を使う

- 番組表は、放送電波で送られてくる番組情報を基にして表示されます。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「待機」にすることをおすすめします。
- 視聴年齢制限されている番組は、伏せ字(「＊＊＊＊」)で表示されます。

1 番組表を押す

- 通常番組表が表示されます(「週間番組表」については「週間番組表を表示させる」≫をご覧ください)。

[通常番組表画面：7チャンネル表示の例]



- 放送の種類を変えるときは、地デジ、BS、CS、BS/CS 4Kを押します。
- 独立データ放送やラジオ放送の番組表に切り換えるときは、サブメニューの「テレビ/ラジオ/データ切換」で選びます。
- 番組表を消すときは、終了を押します。

2 ▲·▼·◀·▶で番組を選ぶ

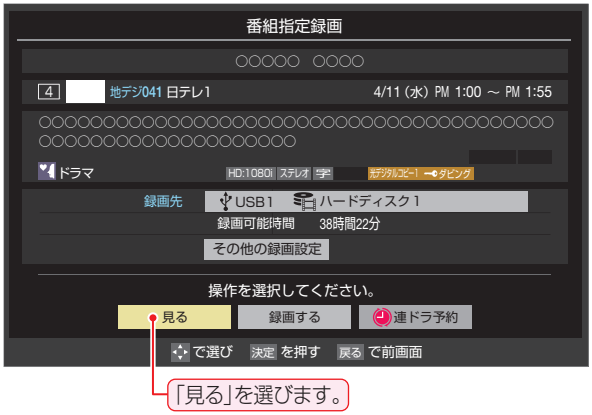
- 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには◀·▶または«·»を押します。

3 決定を押す

- 現在放送中の番組を選んだときは、番組指定録画画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、番組指定予約画面になります。「番組表で予約をする」≫の手順3をご覧ください。
- 視聴年齢制限されている番組を選んだときは、メッセージが表示されます。番組を見る場合は、決定を押し、1～10(0)で暗証番号を入力します。

4 現在放送中の番組を見るときは、▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、決定を押す

- 画面の図は、現在放送中の番組でUSBハードディスクが接続されている場合の例です。



- 番組指定録画画面からは、録画、連ドラ予約の操作ができます。
- 番組指定予約画面からは、視聴予約、録画予約、連ドラ予約の設定ができます。

お知らせ

- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になることがあります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組表を更新する」≫の操作をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- 「チャンネルスキップ設定」≫で、スキップする設定に設定したチャンネルは番組表に表示されません。
- レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画する場合は、番組表に予約アイコンは表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なることがあります。番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。
- 「放送メディア」は、サブメニューの「テレビ/ラジオ/データ切換」≫で「ラジオ」または「データ」を選んでいるときに表示されます。

視聴制限番組について

- 視聴制限番組について、詳しくは「視聴できる番組やアプリを制限する」≫をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「番組表で視聴制限を一時解除する」≫をご覧ください。

番組表を便利に使う

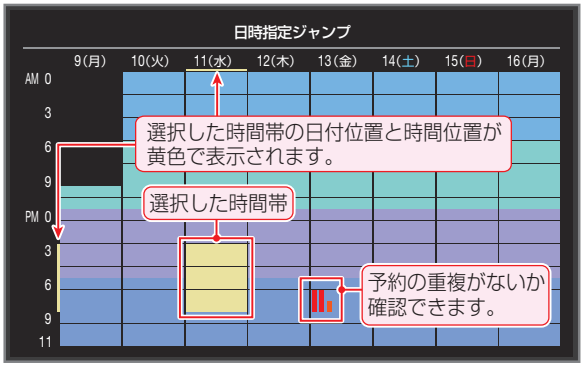
- カラーボタンや番組表のサブメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
- 番組表が表示されているときに以下の操作をします。

指定した日時の番組表を表示させる

- 日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。

1 青（日時切換）を押す

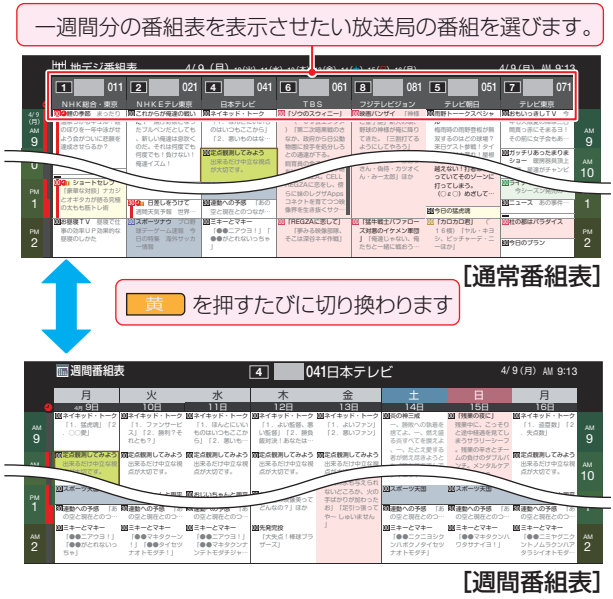
2 ▲·▼·◀·▶で日時を選び、決定を押す



週間番組表を表示させる

● 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

1 ◀·▶で週間番組表を表示させたいチャンネルを選び、黄（週間番組表）を押す



● 操作方法は、前ページの通常番組表の場合と同じです。
● 番組表の表示を週間番組表にしているときは、「マルチ表示」≫に切り換えることはできません。

番組説明を見る

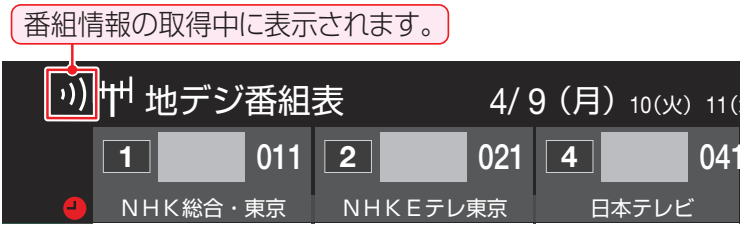
● 選択中の番組の番組説明を見ることができます。

1 サブメニューを押し、▲·▼で「番組説明」を選んで 決定 を押す

番組表を更新する

● 番組表の中が空になっているときや、最新の番組情報に更新するときは、以下の操作をします。

1 サブメニューを押し、▲·▼で「番組情報の取得」を選んで 決定 を押す



※番組情報の取得中は映像、音声が出ないことがあります。

※ BS·110度CSの4K放送録画中は、BS·110度CS 4K放送の番組情報の取得ができません。

※ 2番組同時録画(W録)中は、番組情報の取得ができません。

◆ 番組表で選択している放送局の情報が更新されます(更新の範囲は、放送の運用により、一部例外や将来変更されることがあります)。

- BSデジタル放送は番組表全体が更新されます。
- 110度CSデジタル放送は選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が更新されます。
- 地上デジタル放送は選択した番組が含まれる放送局が更新されます。
- BS·110度CSの4K放送は選択した番組が含まれるチャンネルが更新されます。

● 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。

● 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中にサブメニューを押し、サブメニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える

● BSデジタル放送や地上デジタル放送(どちらもテレビ放送だけ)では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示(1チャンネル表示)とマルチチャンネル表示(マルチ表示)の切り換えができます。

1 切り換える放送局の番組をどれか選び、サブメニューを押す

2 ▲·▼で「1チャンネル表示」(または「マルチ表示」)を選び、決定を押す

● 番組表の表示によって、「マルチ表示」または「1チャンネル表示」が表示されています。

● 「1チャンネル表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。



[1チャンネル表示]

[マルチ表示]

● 「マルチ表示」での番組予約については、「マルチ表示の番組表で予約するとき」≫をご覧ください。

文字サイズを大きくする

- 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

1 赤を押して文字の大きさを切り換える

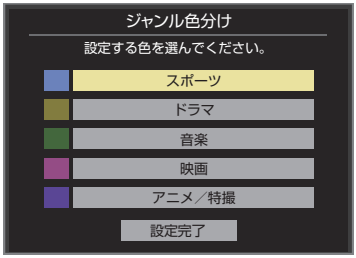
- ボタンを押すたびに、文字の大きさが変わります。
  文字の大きさに合わせて、表示する時間帯も変わります。

ジャンル別に色分けする

- 番組のジャンル(分野)別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。

1 サブメニューを押し、▲·▼で「ジャンル色分け」を選んで 決定 を押す

2 設定する色を▲·▼で選び、決定を押す



3 ▲·▼·◀·▶でジャンルを選び、決定を押す

- 決定を押すと手順2の画面に戻ります。ほかの色の設定を変える場合は、操作を繰り返します。
- 「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。



4 ▲·▼で「設定完了」を選び、決定を押す

番組記号の説明を見る

● 新、再、字などの番組記号の意味を調べることができます。

1 サブメニューを押し、▲·▼で「番組記号一覧」を選んで決定を押す

- 番組記号の説明が表示されます。
- 表示されるのは番組記号の一部です。
- 見終わったら、決定を押します。

表示させるチャンネル数を設定する

● 番組表に表示させるチャンネル数を切り換えることができます。

1 サブメニューを押し、▲·▼と決定で「番組表表示設定」⇨「表示チャンネル数」の順に進む

2 ▲·▼で表示させるチャンネル数を選び、決定を押す

チャンネルの並び順を設定する

● 番組表に表示させるチャンネルの並び順を切り換えることができます。

1 サブメニューを押し、▲·▼と決定で「番組表表示設定」⇨「チャンネル並び順」の順に進む

2 ▲·▼で以下のどちらかを選び、決定を押す

- **通常**
  放送局推奨の並び順になります。
- **チャンネルボタン優先**
  ワンタッチ選局ボタン 1 ～ 12 の番号順に並びます。

番組概要の表示／非表示を設定する

● 番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1 サブメニューを押し、▲·▼と決定で「番組表表示設定」⇨「番組概要表示」の順に進む

2 ▲·▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定を押す

地上デジタル放送局の表示位置を設定する

● 地上デジタル放送の番組表で放送局の表示位置を設定します。

1 サブメニューを押し、▲·▼と決定で「番組表表示設定」⇨「地デジ表示」の順に進む

2 ▲·▼で以下のどちらかを選び、決定を押す

- **視聴チャンネル中央表示**　視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
- **チャンネル順優先表示**　お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。

番組表の放送メディアを切り換える

● 番組表に表示させる放送メディア（テレビ、ラジオ、独立データ）を選びます。

● 放送が運用されていない放送メディアに切り換えることはできません。

1 サブメニューを押し、▲·▼で「テレビ/ラジオ/データ切換」を選んで決定を押す

2 ▲·▼で「テレビ」、「ラジオ」、「データ」から選んで決定を押す

番組表で視聴制限を一時解除する

● 番組表を表示中に視聴制限の一時解除ができます。

1 サブメニューを押し、▲·▼で「視聴制限一時解除」を選んで 決定 を押す

● 暗証番号入力画面が表示されます。

※ すでに一時解除されている場合や、地上デジタル放送などの場合は、「視聴制限一時解除」は選べません。

2 1 ～ 10 (0) で暗証番号を入力する

● 番組表の視聴制限が一時解除されます。

条件を絞りこんで番組を探す

● 番組のジャンル(分野)やキーワードなどの条件を指定して、見たい番組を探すことができます。

お知らせ

● 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。
● 「チャンネルスキップ設定」≫で、チェックをはずしたチャンネルの番組は番組検索の対象になりません。
● 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は責任を負いません。

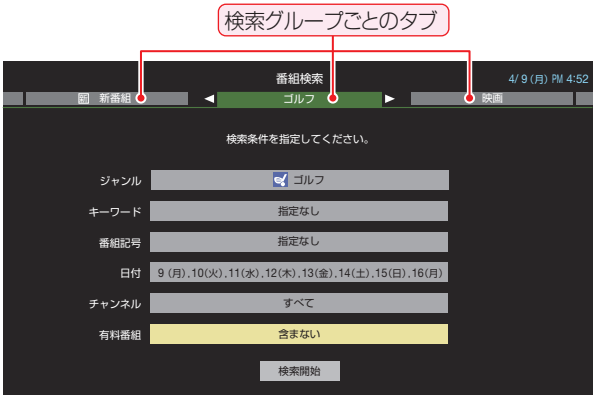
1 番組表を押して、番組表を表示させる

2 緑(番組検索)を押す

● 番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを◀·▶で選ぶ

● 以降の手順で指定する検索条件のうち、「日付」以外は検索グループごとに記憶されます。



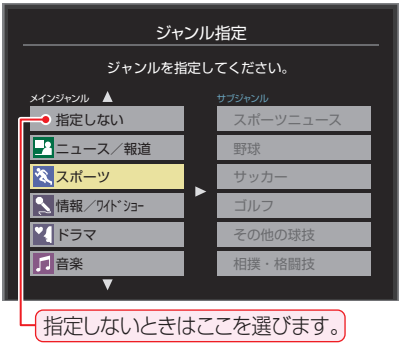
4 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」のどれかは必ず指定してください。

「ジャンル」を指定するとき

❶▲·▼で「ジャンル」を選び、決定を押す

❷指定するジャンルを▲·▼·◀·▶で一つ選び、決定を押す

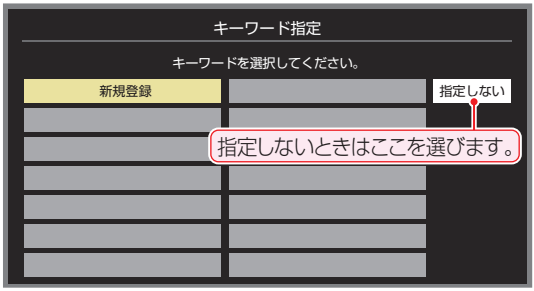


「キーワード」を指定するとき

❶▲·▼で「キーワード」を選び、決定を押す

❷指定するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

- お買い上げ時は登録されていません。



■ 新しいキーワードを登録する場合

①▲·▼·◀·▶で「新規登録」を選び、決定を押す

● 文字入力画面が表示されます。

②キーワードを入力して確定ボタンを選び、決定を押す

● 文字入力の方法は、「文字を入力する」≫をご覧ください。

● キーワードは14個まで登録できます。

■ キーワードを編集する場合

①編集するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、青を押す

②キーワードを編集して確定ボタンを選び、決定を押す

■ キーワードを削除する場合

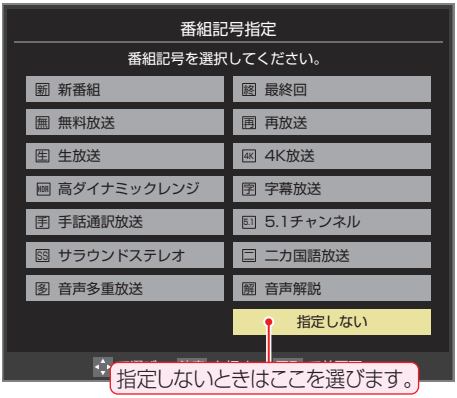
①削除するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、赤を押す

②◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

「番組記号」を指定するとき

❶▲·▼で「番組記号」を選び、決定を押す

❷指定する番組記号を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

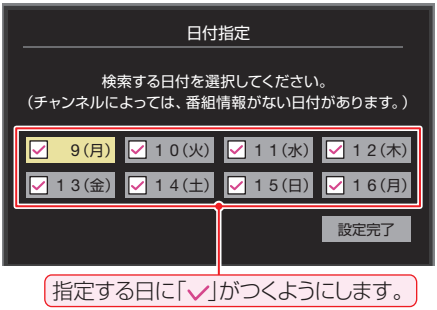


「日付」を指定するとき

❶▲·▼で「日付」を選び、決定を押す

❷指定する日付を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☑(指定する)と□(指定しない)が交互に切り換わります。
- 7日先まで指定できます。

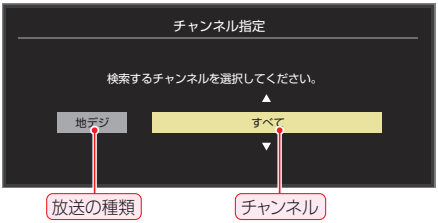


❸指定が終わったら、▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定を押す

「チャンネル」を指定するとき

❶▲·▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

❷指定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ



- **放送の種類**　すべて／BS／CS／BS/CS 4K／地デジ
- **チャンネル**　指定した放送の種類やメディアに該当するチャンネル／すべて

❸指定が終わったら、決定を押す

「有料番組」を指定するとき

● 有料番組を検索対象に含めるかどうかを指定します。

❶▲·▼で「有料番組」を選び、決定を押す

❷▲·▼で「含む」、「含まない」のどちらかを選び、決定を押す

5 ▲·▼で「検索開始」を選び、決定を押す

● 選択中のタブの検索グループに、手順3で指定した検索条件が上書きで保存されます。

6 「番組検索結果」画面から、見たい番組を▲·▼で選んで決定を押す

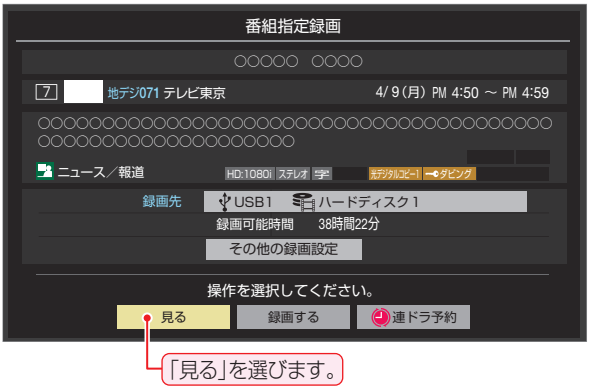


● 現在放送中の番組を選んだときは、「番組指定録画」画面が表示されます。

● これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。「番組表で予約をする」≫の手順3をご覧ください。

● すべての放送が表示されているときに、地デジを押すと地デジ放送だけ、BSを押すとBS放送だけ、CSを押すとCS放送だけ、BS/CS 4Kを押すとBS・110度CSの4K放送だけの検索結果になります。

7 ▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、決定を押す



● 選んだ番組の放送画面になります。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます(本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません)。
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。



非リンク型サービス
放送番組とは無関係な通信サービスのときに表示されます。(文字表示は数秒で消えます)

ラジオ放送について

- ラジオ放送が運用されている場合は、本機で放送を聴くことができます。

Hybridcast™(ハイブリッドキャスト)について

- 本機は、Hybridcast™(ハイブリッドキャスト)のサービスに対応しています。
  Hybridcast™(ハイブリッドキャスト)は、放送と通信が連動・連携したサービスです。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 dデータを押す

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

- BSデジタル放送などで運用される独立データ放送チャンネルやラジオ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1 放送の種類を選ぶ

- BSデジタルの独立データ放送やラジオ放送を視聴する場合は、BSを押します。

2 サブメニューを押し、▲·▼と決定で「その他の操作」⇨「テレビ/ラジオ/データ切換」の順に進む

3 ▲·▼で「データ」または「ラジオ」を選び、決定を押す

- チャンネルで他のチャンネルに切り換えられます。
  チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。
- データ放送やラジオ放送を終了するには、上記の操作で「テレビ」を選びます。

お知らせ

- 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
- 本機の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切換はできません。
- 放送画面の操作説明などで、dデータは「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示されることがあります。
- データ放送、Hybridcast™は録画できません。

■ 双方向サービスについて

- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定≫をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求されることがありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
- 本機が動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。
- 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、利用できません。

■ Hybridcast™サービスについて

- Hybridcast™サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定≫をしてください。また、Hybridcast™サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。

便利な機能を使う

画面サイズを切り換える

● 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

1 サブメニューを押し、▲·▼と決定で「その他の操作」⇨「画面サイズ切換」の順に進む

2 お好みの画面サイズを▲·▼で選び、決定を押す

● 画面の見えかたについては、「画面サイズについて」≫をご覧ください。

スキャンサイズを切り換える

● 16：9の映像を表示する際の設定を切り換えることができます。

❶ サブメニューを押し、▲·▼と決定で「その他の操作」⇨「スキャン切換」の順に進む

❷ ▲·▼で「ジャストスキャン」または「オーバースキャン」のいずれかを選んで決定を押す



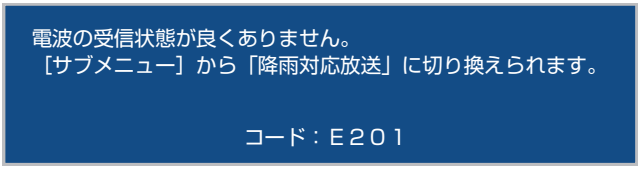
- **ジャストスキャン**　16:9の映像が画面内に収まるように表示させます。
- **オーバースキャン**　16:9の映像を少し大きめに表示させます。

降雨対応放送について

- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送およびBS・110度CSの4K放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まった場合、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。

※図のメッセージが表示された場合は、以下の手順で降雨対応放送に切り換えられます。

※降雨対応放送は、通常の放送よりも画質が低下します。



1 サブメニューを押し、▲·▼と決定で「その他の操作」⇨「信号切換」⇨「降雨対応放送切換」の順に進む

2 ▲·▼で「降雨対応放送」を選ぶ

- 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選びます。
- 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。

他の映像・音声を切り換える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
- 番組説明画面に二重音声のアイコンが表示されます。

1 音声切換を押す

- 音声切換を押すたびに以下のように切り換わります。

主音声 → 副音声 → 主：副 →

音声を切り換える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
- 番組説明画面に信号切換のアイコンが表示されます。

1 音声切換を押す

- 音声切換を押すたびに以下のように切り換わります。

→ 音声1 → 音声2 → 音声3… →

映像を切り換える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像がある場合があり、お好みで選択することができます。
- 番組説明画面に信号切換のアイコンが表示されます。

1 サブメニューを押し、▲·▼と決定で「その他の操作」⇨「信号切換」⇨「映像信号切換」の順に進む

2 視聴したい映像を▲·▼で選び、決定を押す



お知らせ

■ 信号切換について

- 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます(基本の信号を選択した状態になります)。
  ただし音多切換と字幕切換では、選局しても状態は取り消されません。

映像を静止させる

- 映像の動きを止めることができます。料理番組のレシピや、視聴者プレゼントの応募先などをメモするときに便利です。

1 静止 を押す

- 解除するときは、もう一度静止を押します。
- 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

お知らせ

- ラジオ、データ放送視聴中は静止画にできません。また、映像の静止中にデータ放送の操作はできません。
- 字幕放送の場合、映像の静止中に字幕は表示されません。
- 選局操作をすると静止画が解除されます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 映像を静止中に、入力されている信号が切り換わると、静止が解除されることがあります。

画面を一時的に消す

- 一時的に画面を消すことができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「消画」を選んで 決定 を押す

- 画面が消えた状態でも、音声は流れ続けます。
- 音量以外の操作を行うと消画は解除されます。

映像の詳細情報を表示させる

● サブメニューを押し、「信号フォーマット詳細表示」を有効にすると、視聴している映像の詳細な信号フォーマット情報が表示されるように設定することができます。

例



1 サブメニューを押し、▲·▼で「信号フォーマット詳細表示」を選ぶ

2 決定を押して有効/無効を切り換える

- **有効**　視聴画面で、映像信号の詳細な情報が表示されます。
- **無効**　信号フォーマットの詳細な情報は表示されません。

Dolbyの通知を表示しない設定にする

● Dolby VisionなどのDolby信号の入力があったときに、通知を表示するかの設定を変更できます。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「詳細設定」⇨「Dolby通知」の順に進む

2 決定を押して有効/無効を切り換える

● 有効にすると、Dolbyの信号の入力があったときに通知が表示されます。

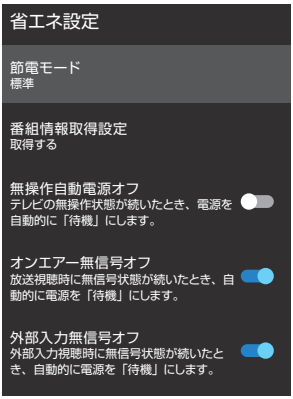
省エネ設定をする

● 省エネに関するさまざまな設定をすることができます。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「詳細設定」⇨「省エネ設定」の順に進む

● 「省エネ設定」の画面が表示されます。

2 設定する項目を▲·▼で選び、決定を押す



● 以降の説明を参照し、設定してください。

節電モード

● 画面の明るさをおさえることで本機の節電ができます。

● 「節電1」、「節電2」に切り換えた場合、画面の明るさをおさえて、その明るさに適した画質に自動調整されます。

❶▲·▼でお好みの設定を選び、決定を押す

- **標準**···· 標準の明るさです。
- **節電1**· 画面の明るさを「標準」よりもおさえて、節電します。
- **節電2**· 画面の明るさを「節電1」よりもおさえて、さらに節電します。

番組情報取得設定

● 番組表機能や予約機能を正しく働かせるために、「取得する」で使用することをおすすめします。

❶▲·▼でお好みの設定を選び、決定を押す

- **取得する**
  電源が「待機」のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。
- **取得しない**
  番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されなかったり、予約できなかったり、番組検索ができなかったりすることがあります。

無操作自動電源オフ

❶決定を押して有効/無効を切り換える

- **有効**…· 本機の無操作状態が約3時間続くと、電源が「待機」になります。
- **無効**…· テレビの無操作状態が続いても電源は「入」のままです。

オンエアー無信号オフ

❶決定を押して有効/無効を切り換える

- **有効**…· 放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
- **無効**…· 無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

※外部入力を選んでいるときは機能しません。

外部入力無信号オフ

❶決定を押して有効/無効を切り換える

- **有効**…· 外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
- **無効**…· 無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

声を聴き取りやすくする

● 人の声を強調して背景の音を抑え、声を聴きやすくします。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「音声設定」⇨「音声メニュー」の順に進む

2 ▲·▼で「クリア音声」を選び、決定を押す

● 「クリア音声」にすると、人の声が強調されます。

お知らせ

● テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「クリア音声」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

ヘッドホンで聴く

- ヘッドホンで聴くときの音の出かたを設定します。
- ヘッドホン出力設定には「ヘッドホンのみ」と「ヘッドホンとスピーカー」があります。お買い上げ時は「ヘッドホンのみ」に設定されています。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「音声設定」⇨「音声詳細設定」⇨「ヘッドホン出力設定」の順に進む

- **ヘッドホンのみ**
  ヘッドホンだけで音声を聞くモードです。ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーから音声が出なくなります。
- **ヘッドホンとスピーカー**
  ヘッドホンとスピーカーの両方で音声を聞くモードです。家族で視聴する場合など、スピーカーの音声が聞き取りにくい人がヘッドホンまたはイヤホンで聴くというような使いかたができます。

- 「ヘッドホンとスピーカー」を選択しているときは、音量調整はヘッドホンの音量を調節します。

お知らせ

■ ヘッドホン端子について

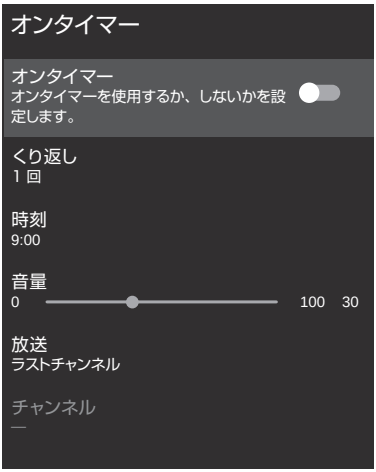
- ヘッドホン端子では、「左右バランス」と音量の調整以外の音声調整の効果は得られません。
  ヘッドホン出力設定で「ヘッドホンとスピーカー」を選択した場合は、「テレビスピーカー」のみ音声調整の効果を反映します。

自動で電源が入るようにする

- 設定した時刻に本機の電源が「入」になります。
- 目覚まし時計として使うこともできます。

1 サブメニューを押し、▲·▼と決定で「タイマー機能」⇨「オンタイマー」の順に進む

2 以下の手順で設定する



オンタイマー

- オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。

❶▲·▼で「オンタイマー」を選ぶ

❷決定を押して有効/無効を切り換える

- オンタイマーを設定したあとにオンタイマーを解除する場合は、上記の操作で無効を選びます。

くりかえし

● オンタイマーをくりかえし使用するかを設定します。

❶▲・▼で「くりかえし」を選び、決定を押す

❷▲・▼で項目を選び、決定を押す

● 曜日は「1回」、「毎日」、「月～木」、「月～金」、「月～土」、「毎週(日)」～「毎週(土)」の中から選びます。

時刻

● オンタイマーで本機の電源を「入」にする時刻を設定します。

❶▲・▼で「時刻」を選び、決定を押す

❷設定する項目を◀・▶で選び、▲・▼で時刻を選ぶ

❸設定が終わったら、決定を押す

音量

● オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定できます。

❶▲・▼で「音量」を選ぶ

❷◀・▶でお好みの音量を選ぶ

放送

● オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映す放送を設定します。

❶▲・▼で「放送」を選び、決定を押す

❷▲・▼で放送を選ぶ

放送の種類　地デジ/ＢＳ/ＣＳ/BS/CS 4K/ラストチャンネル

※ ラストチャンネルは、電源を待機にする前に見ていたチャンネルになります。(番組予約により選局できない場合は、番組予約したチャンネルになります)

❸設定が終わったら、決定を押す

チャンネル

● オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。

❶▲·▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

❷▲·▼でチャンネルを選ぶ

※ ラストチャンネルは、電源を待機にする前に見ていたチャンネルになります。(番組予約により選局できない場合は、番組予約したチャンネルになります)

❸設定が終わったら、決定を押す

お知らせ

■「オンタイマー」について

- オンタイマーで約3時間操作をしなかった場合には、電源が自動的に「待機」になります。
- オンタイマーと番組予約が重なっていた場合には、ラストチャンネルで電源がはいることがあります。音量は、オンタイマーで設定した大きさになります。
- オンタイマーを「1回」に設定し、指定した時刻に電源がはいっていた場合、オンタイマーは次の日に延期されます。

自動で電源が切れるようにする

●オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

1 サブメニューを押し、▲・▼と決定で「タイマー機能」⇨「オフタイマー」の順に進む

2 電源が切れるまでの時間を▲・▼で選び、決定を押す

- 電源が切れる１分前になると、画面にメッセージが表示されます。
- オフタイマーが設定されているときにサブメニューを押し「タイマー機能」を選択して決定を押すと、「オフタイマー」の項目に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。
- オフタイマーを設定したあとにオフタイマーを解除する場合は、オフタイマーの設定項目で「オフ」を選びます。

お知らせ

■「オフタイマー」について

- 設定後に電源を「待機」にしたり再起動したりすると、設定が取り消されます。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

● 本機背面のUSB（通常録画）端子に接続した**USBハードディスク**および**レグザリンク対応の東芝レコーダー**に**デジタル放送番組**を録画できます（データ放送、ラジオ放送番組、外部入力（HDMI1～4、ビデオ入力）、クラウドサービスやネットワークサービスで視聴している動画配信サービスからの映像・音声は録画できません）。

- 接続については、製品同梱の取扱説明書の「録画機器を接続する」28をご覧ください。

* レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合

- レグザリンク（HDMI連動）機能を使って本機の操作で録画・予約をします。
- 録画・予約の操作を終了した時点で本機の関与が終了します。予約内容の確認や取り消し、録画の中止などの操作は本機側ではできません（本機の番組表に予約アイコンが表示されないほか、予約リスト、録画リストなどにも内容は表示されません）。
- 録画されるのはレコーダー自身が受信したデジタル放送番組です。字幕放送番組の字幕などの録画については、機種や録画設定などによって異なりますので、レコーダーの取扱説明書でご確認ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USBハードディスク(注)	• USBハードディスクの電源を入れておきます。 • USBハードディスクの残量を確認します。≫「機器の情報を確認する」 •「すべて」のタブの録画リストで「録画番組数」を確認します。≫「録画した番組を再生する」 ※残量不足や番組数超過(3000を超過)になりそうな場合は、不要な番組を削除します。≫「録画番組を消す」
レグザリンク対応の東芝レコーダー	• ハードディスクの残量などを確認し、不要な番組を削除しておきます。 ※録画先はハードディスクだけです。記録メディアに直接録画することはできません。

(注) USBハードディスクは、本機に登録しないと録画できません。

- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できないときは、「機器の登録」≫を参照し、登録してください。
- **USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。ACアダプターを使用しない場合は動作保証できません。本機で接続確認済のUSBハードディスクについては、ホームページ(https://www.regza.com/regza/)をご覧ください。**

※USBハードディスクの最大予約件数は128です。最大録画番組数は3000です。

USBハードディスクの自動削除機能について

- USBハードディスクの容量が足りない場合に、保護されていない日付の古い録画済番組から自動的に削除する機能で、お買い上げ時は「自動削除設定」≫が有効に設定されています。

ご注意

- **USBハードディスクについて**

  USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。

  本機に接続したUSBハードディスクに録画した内容の長期保存は保証できません。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。

お知らせ

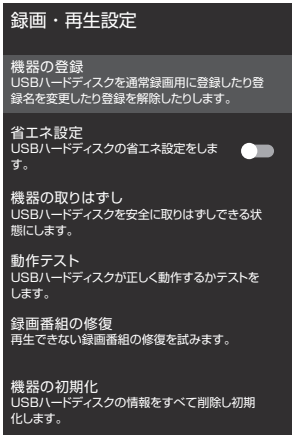
- USBハードディスクでの録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は正しく保存されません(「録画番組を修復する」≫の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります)。
- 予約録画の開始時に、自動削除機能によって削除される番組が多い場合は、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 録画番組の再生中に予約録画の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。
- 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

USBハードディスクの設定をする

USBハードディスクの設定をする

● USBハードディスクを使用する場合は、必要に応じて以下の設定をします。

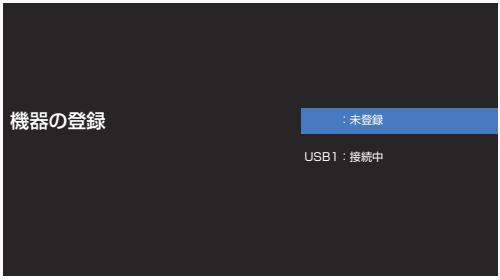
1 設定を押し、▲·▼と決定で「録画・再生設定」⇨「通常録画設定」の順に進む



2 設定する項目を▲·▼で選んで決定を押し、以降の手順で設定する

機器の登録

● リストに「未登録」と表示されているUSBハードディスクを登録したり、機器の登録名を変更したり、登録を解除したりすることができます。



※登録できるのは8台までです。
※USBハードディスクによっては、機器の登録画面でモデル名が正しく表示されないことがあります。

機器を登録するとき

※はじめて登録するときには、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

❶登録する機器を▲・▼で選び、決定を押す
❷登録の確認画面で、▲・▼で「はい」を選んで決定を押す
❸初期化の確認画面で、▲・▼で「はい」を選んで決定を押す
- 初期化と登録の処理が始まります。

❹終わったら、登録結果の内容を確認し、決定を押す

登録名を変更するとき

❶登録名を変更する機器を▲・▼で選び、決定を押す
❷▲・▼で「登録名変更」を選び、決定を押す
❸▲・▼で「はい」を選び、決定を押す
❹文字入力画面で登録名を入力する
- 文字入力の方法は、「文字を入力する」≫をご覧ください。

登録を解除するとき

❶登録を解除する機器を▲・▼で選び、決定を押す
❷▲・▼で「登録解除」を選び、決定を押す
❸▲・▼で「はい」を選び、決定を押す

● 録画予約が設定されているUSBハードディスクの登録を解除するときは、以下の画面が表示されます。
- **他の登録済USBハードディスクが接続されているとき**
  録画先の変更を促すメッセージ付の登録解除画面が表示されます。
- **他の登録済USBハードディスクが接続されていないとき**
  再登録を促すメッセージ付の登録解除確認画面が表示されます。

省エネ設定

● 複数のUSBハードディスクに対して個別に設定を変えることはできません。

※「省エネモード」に設定した場合、USBハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「--時間--分」と表示されるような場合は、少し待ってから操作してください。

※USBハードディスクによっては、機器の表示ランプが「待機」と「入」の状態を正しく示さないことがあります。

※USBハードディスクによっては、「オフ」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって、待機状態になることがあります。

※本機の電源が「待機」のときでも、「自動スキャン」や「番組情報の取得」が内部で動作している場合には、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。

※USBハブを使用している場合、本機の電源が「待機」のときでも、USBハブからの電源供給によって、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オン** USBハードディスクの電源は、使用しない状態がしばらく続くと待機状態になり、使う操作をすると自動的に「入」になります。
- **オフ** 本機の電源が「入」のとき、USBハードディスクの電源は常時「入」の状態です。

機器の取りはずし

● USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。

❶取りはずす機器を▲・▼で選び、決定を押す

❷確認画面で、▲・▼で「はい」を選んで決定を押す

- 停止の処理が始まり、終了すると「USBハードディスクを取りはずしできます。」のメッセージが表示されます。

❸USBハードディスクを取りはずし、決定を押す

動作テスト

● USBハードディスクで以下の動作ができるかテストします。

❶テストする機器を▲・▼で選び、決定を押す

● テストが始まります。終了までに数分間かかります。

● テストが終わると結果が表示されます。テスト結果が「OK」となった動作ができます。

- **録画**　ハイビジョン画質で録画ができるか
- **録画中の再生**　ハイビジョン画質で録画しながら番組再生ができるか
- **録画中の早見早聞**　録画中にハイビジョン番組の早見早聞≫ができるか、録画中に４Ｋ番組の再生ができるか

※テスト結果は目安です。結果どおりの動作にならないことがあります。

機器の初期化

- 正常に使用できなくなったUSBハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになることがあります。

※初期化をすると、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

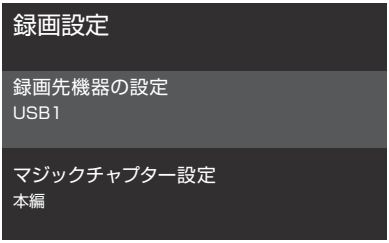
❶初期化する機器を▲·▼で選び、決定を押す
❷機器の確認画面で、▲·▼で「はい」を選んで決定を押す
❸初期化の確認画面で、▲·▼で「はい」を選んで決定を押す
❹初期化終了の画面で決定を押す

録画の基本的な設定をする

● USBハードディスクでの録画・再生に関する基本的な設定をすることができます。

1 **設定** を押し、▲・▼と 決定 で「録画・再生設定」⇨「録画設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する



録画に使用する機器を設定する

● 複数のUSBハードディスクを本機に登録している場合に、録画に使用する機器を設定します。

❶▲・▼で「録画先機器の設定」を選び、決定 を押す

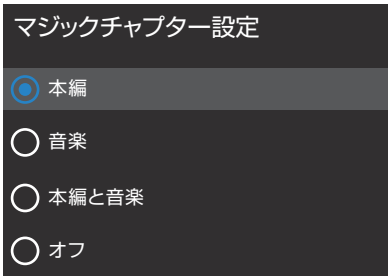
❷録画に使用する機器を▲・▼で選び、決定 を押す

チャプター分割のしかたを設定する

● シーンの変わり目でチャプター分割（章分け）されるように設定できます（チャプター分割をすると、再生時にチャプタースキップができるようになります）。

❶▲・▼で「マジックチャプター設定」を選び、決定を押す

❷チャプター分割の場面を▲・▼で選び、決定を押す



- **本編**……本編とCMの間でチャプター分割されます。
- **音楽**……楽曲の前後でチャプター分割されます。
- **本編と音楽**…上記の両条件でチャプター分割されます。
- **オフ**……チャプター分割をしません。

※音楽の検出は番組のメインジャンルが「音楽」または、メインジャンルが「バラエティ」でサブジャンルが「音楽バラエティ」のときにだけ行われます。

見ている番組を録画する

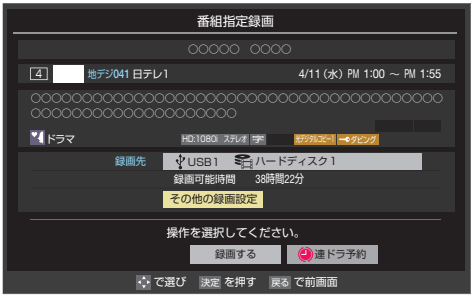
● 今見ているテレビ放送番組を簡単に録画することができます。テレビ番組視聴の途中で外出するような場合に便利です。

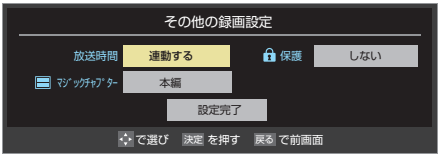
※USBハードディスクに2番組同時録画中(W録中)はこの操作はできません。

1 テレビ放送を見ているときにサブメニューを押し、▲·▼で「録画」を選び、決定を押す

● 録画できない番組の場合は、サブメニューの「録画」は選べません。

2 録画設定を変更する場合は、▲·▼·◀·▶で「その他の録画設定」を選んで決定を押す





その他の録画設定でできる設定

● 放送時間連動機能の変更

放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です(放送時間の繰り上げには対応できません)。

❶「放送時間」で決定を押し、「連動する」または「連動しない」を選んで決定を押す

❷「設定完了」を選び、決定を押す

録画予約や連ドラ予約の設定を変更する場合

● 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫をご覧ください。

3 ▲·▼·◀·▶で「録画する」を選び、決定を押す

- 録画が開始されます。
- 外出する場合は、本機(テレビ)の電源を「待機」にします(録画は継続されます)。

※ 2番組の同時予約録画が始まるときは、この操作での録画は中止されます。

録画を中止するとき

- 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
- USBハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

※レグザリンク対応の東芝レコーダーの録画は本機の操作では止まりません。機器側で録画停止の操作をしてください。

❶録画中に終了または■を押す

- 2番組同時録画(W録)をしている場合は、中止する録画番組を選択する画面が表示されます。録画を中止したい番組を▲·▼で選んで、決定を押します。

❷「録画中止」の画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

2番組同時録画(W録)について

- 本機は、デジタル放送の二つの番組を同時に録画することができます。
- BS・110度CSの4K放送の二つの番組を同時に録画することはできません。
- 一つの有料番組でW録はできません。
  - 一つの有料番組に複数の予約が重複した場合、録画されるのは一つだけです。
  - 録画中の有料番組を視聴中に録画の操作をしても録画(W録)は開始されません。

番組表で予約をする

● 番組表で録画したい番組を選んで予約します。

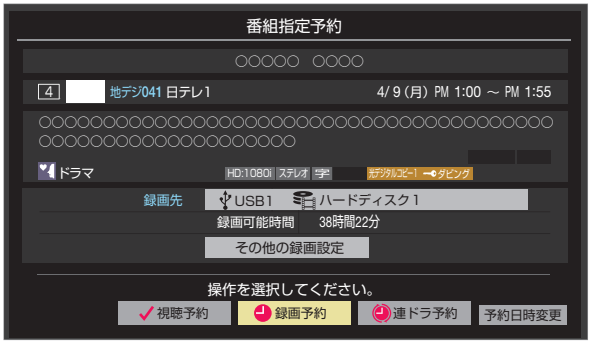
1 番組表を押して、番組表を表示させる

2 予約する番組を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

● 番組指定予約画面が表示されます。

3 以下の操作で予約をする

● 録画機器や設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫の操作をします。



❶ ▲·▼·◀·▶で「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」のどれかを選び、決定を押す

- **視聴予約**：指定した番組の視聴を予約します。
- **録画予約**：指定した番組の録画を予約します。
- **連ドラ予約**：同じ番組を毎回録画します。≫「連続ドラマを予約する」

※ レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合は、「**毎予約**」が表示されます。

❷「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

予約する日時を変更する場合

- 1話から3話まで連続して放送される場合など、1話目を番組表で予約し、以下の操作で終了時間を3話目の終了時間に変更すると、1話から3話まで一つの録画予約にすることができます。

❶▲·▼·◀·▶で「予約日時変更」を選び、決定を押す

❷メッセージが表示されたら、◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

❸「日時を指定して予約をする」≫の手順*3*以降の操作をする

視聴予約について

- 視聴予約の時刻に電源が「待機」の場合、電源が「入」になります。
- 視聴中の場合はアラート表示された後、予約されたチャンネルに切り替わります。

視聴制限番組について

- 視聴制限番組について、詳しくは「視聴できる番組やアプリを制限する」≫をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「番組表で視聴制限を一時解除する」≫をご覧ください。

メッセージが表示された場合

「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」が表示された場合

❶◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

- 新規予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

❷予約を取り消す番組を▲・▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに☑と□が交互に切り換わります。
- ✓をつけた番組の予約が取り消されます。

❸赤を押して、取り消しを実行する

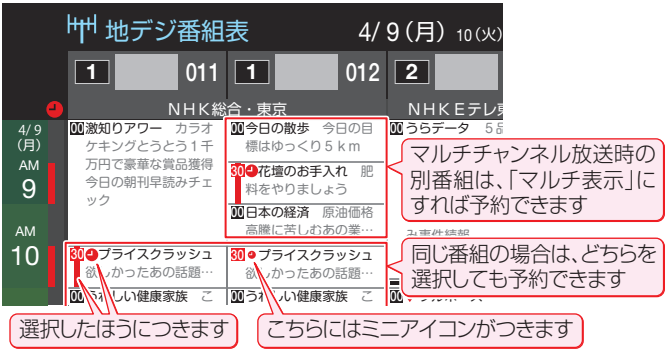
「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

❶決定を押す

❷「予約の確認・変更・取り消しをする」≫の操作で予約を一つ以上取り消してから、再度予約をする

マルチ表示の番組表で予約するとき

- 一つの放送局で複数の番組を放送している場合、その番組を予約するには番組表を「マルチ表示」≫に切り換えます。
- マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいる場合は、どちらを選択しても予約できます。



お知らせ

- 放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。≫「番組表を使う」
  （東芝レコーダーへの予約は表示されません）
- 予約の確認や取り消しについては「予約の確認・変更・取り消しをする」≫を、予約の優先順位については「予約・録画の優先順位と予約の動作について」≫をご覧ください。
- 本機で「毎予約」で予約しても、機器によっては録画できないことがあります。

連続ドラマを予約する

● 連続ドラマや連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。

※録画機器がUSBハードディスクの場合に連ドラ予約ができます。

ご注意

- **本機では、PPV（ペイ・パー・ビュー）番組の連ドラ予約を禁止しています。PPV（ペイ・パー・ビュー）番組を連ドラ予約した場合、録画は実行されません。**

1 番組表を押して、番組表を表示させる

2 連ドラ予約をする番組を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

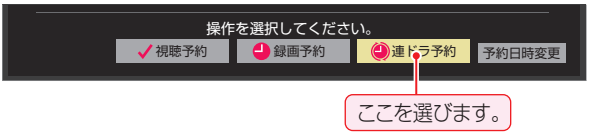
● 現在放送中の番組を選んだ場合は「番組指定録画」画面が、これから放送される番組を選んだ場合は、「番組指定予約」画面が表示されます。

3 番組の録画先をUSBハードディスクに設定する

● 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫の操作で、「録画先」を設定します。

4 ▲・▼・◀・▶で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

● 画面の図は、「番組指定予約」画面の場合の例です。



5 「連ドラ予約」画面で内容を確認する

● 番組名（連ドラ）や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認してください。

「連ドラ予約」がより正しく実行されるために

- 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫の操作で「連ドラ設定」の画面を表示させ、「追跡キーワード」の確認・編集をすることをおすすめします。

6 ▲・▼・◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

連ドラ予約の動作について

- 連ドラ予約は、追跡基準（指定した番組の放送曜日と開始時刻）と、追跡キーワード（番組名など）を基に、次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
  ※ 追跡基準（開始時刻）の前後約２時間が検索されます。
- 追跡キーワードには連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には番組の放送時間が自動で設定されます。

お知らせ

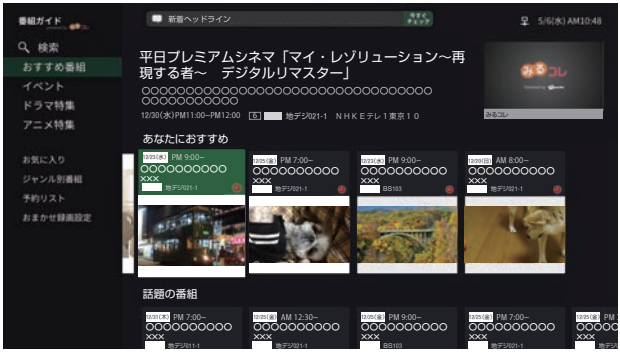
- 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
- 連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合や、追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。
- 予約の確認や取り消しについては「予約の確認・変更・取り消しをする」≫を、予約の優先順位については「予約・録画の優先順位と予約の動作について」≫をご覧ください。

番組ガイドで番組を予約する

- 番組ガイドでは、クラウドサービスを利用して、放送予定の番組からおすすめの番組などを探して簡単に予約ができます。また、おまかせ録画の設定や重複している録画予約の確認ができます。
- 番組ガイドを使用するには、インターネットへの接続とレグザプライバシーポリシーの同意が必要です。
- 本機能は、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

1 番組ガイドを押す

- 番組ガイドが表示されます。



2 ▲·▼でタブを切り換え、決定を押す

- 画面の右側には、タブで選択されている項目の未来番組が表示されます。

お気に入り

- お気に入りパックの未来番組が表示されます。
- 「パックの追加・管理」を選ぶと、お気に入りパックの追加や削除、並べ替えができます。

※「パック」については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/)をご覧ください。

ジャンル別番組

- ▲·▼でジャンルを選んで決定を押すと、選択したジャンルの未来番組が表示されます。

3 ▲·▼·◀·▶で番組を選び、決定を押す

- 番組詳細画面が表示されます。



- 番組詳細画面からは、「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」の予約の他、その番組をおまかせ録画するように設定できます。

4 ◀·▶で予約の種類を選び、決定を押す

- 番組が予約されます。

予約リスト

- 「予約リスト」のタブを選択すると、予約リストが表示されます。



- 重複している予約がある場合は、予約リストの上段に表示されます。

おまかせ録画設定

- 「おまかせ録画設定」のタブを選択すると、おまかせ録画の設定画面が表示されます。
- 「おまかせ録画」を「する」に設定すると、おまかせ録画する録画先ハードディスクの選択や、おまかせ録画領域の設定が選べます。
- おまかせ録画を解除する場合は、「おまかせ録画」を「しない」に設定します。

日時を指定して予約をする／番組を検索して録画・予約をする

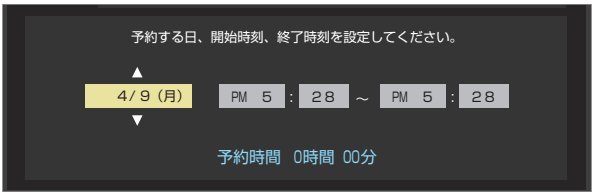
日時を指定して予約をする

1 番組表を表示中にサブメニューを押し、▲·▼で「予約リスト」を選んで決定を押す

2 青を押す

- 日時指定予約画面が表示されます。

3 録画予約の日時を設定する

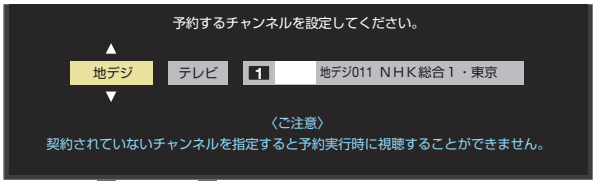


❶設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で日時を設定する

- 6週間先まで指定できます。
- 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週（日）」～「毎週（土）」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰り返し録画も選べます。
- 設定できる時間は最大23時間59分です。

❷設定が終わったら、決定を押す

4 録画するチャンネルを設定する



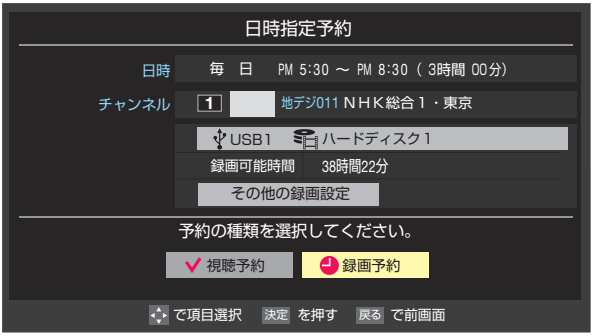
❶設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ

- 放送の種類　地デジ／BS／CS／BS/CS 4K
- 放送メディア　テレビ／ラジオ（BS、110度CSだけ）／データ
- チャンネル　指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

❷設定が終わったら、決定を押す

5 録画設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫の手順で操作をする

6 ▲·▼·◀·▶で「視聴予約」または「録画予約」を選び、決定を押す



7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

メッセージなどが表示された場合

- 「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」、「予約数がいっぱいです。」のメッセージ表示された場合の操作については、「メッセージが表示された場合」≫をご覧ください。

お知らせ

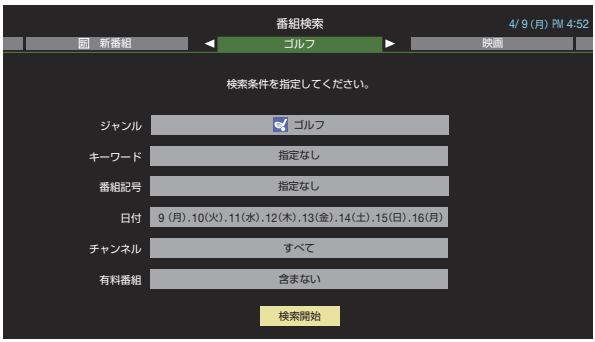
- 日時指定予約では放送時間連動の設定はできません。
- 予約の確認や取り消しについては「予約の確認・変更・取り消しをする」≫を、予約の優先順位については「予約・録画の優先順位と予約の動作について」≫をご覧ください。

番組を検索して録画・予約をする

1 番組表を押して、番組表を表示させる

2 緑(番組検索)を押す

- 番組検索画面が表示されます。



3 「条件を絞りこんで番組を探す」≫の手順3 ～ 5の操作をして、録画・予約したい番組を検索する

4 「番組検索結果」画面から録画したい番組を▲・▼で選び、決定を押す



5 録画・予約をする

- 操作方法は、「番組表で予約をする」≫の手順3と同じです。
- 放送予定の番組を選んで予約をした場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。ほかの番組の予約を続けることができます。

録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき

1 録画・録画予約・連ドラ予約画面などで、「その他の録画設定」を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

- 録画・録画予約の「録画先」の設定は、画面上の「録画先」を選んで変更します。

「録画先」を変更するとき

❶ 録画・録画予約画面で、「録画先」を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

❷ ▲・▼で設定したい録画先を選び、決定を押す

2 設定する項目を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

※ そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります。

3 ▲・▼で内容を選び、決定を押す

4 ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、決定を押す

項　目
録画先※ • 録画をする機器を選びます。
マジックチャプター　（レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません） • 「本編」に設定すると、本編とCMの間でチャプター（章）が分割されます。 • 「音楽」に設定すると、楽曲の前後でチャプターが分割されます（メインジャンルが「音楽」またはメインジャンルが「バラエティ」でサブジャンル「音楽バラエティ」のときだけ）。 • 「本編と音楽」に設定すると、「本編」と「音楽」の両方の条件でチャプターが分割されます。 • マジックチャプターの機能を使わないときは、「オフ」に設定します。 ※番組内容などによってはチャプター分割ができなかったり、分割位置がずれたりすることがあります。 ※チャプター数の上限（99個）に達すると、それを超えるチャプターの作成はできなくなります。
保護　（レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません） • 録画する番組を保護する（消さないようにする）かどうかを設定します。録画後に設定することもできます。≫「誤って消さないように保護する」
連ドラ　（レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません） • 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラの名称を編集することができます（再生の際に「連ドラ別」の録画リストから番組を探しやすい名称などに編集します）。 • 文字入力の方法は、「文字を入力する」≫をご覧ください。
追跡キーワード　（レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません） • 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラ予約の追跡キーワードを編集することができます（**1回の放送に限られるようなキーワードは削除しておきます**）。
追跡基準　（レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません） • 必要に応じて、連ドラ予約をする番組の録画曜日と時間を設定することができます。
上書き録画　（レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません） • 連ドラ予約の場合に上書き録画の設定をします。 上書き録画にすると前回の録画番組が削除されます。

項　目
放送時間 • 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です(**放送時間の繰り上げには対応できません**)。 • ほかの予約と時間帯の一部が重なったときの優先順位については「予約・録画の優先順位と予約の動作について」≫をご覧ください。
録画品質　(USBハードディスクの場合はこの設定はありません) •「録画品質」を選択すると、設定メニューが表示されます。 •「ハイビジョン画質(DR)」 デジタル放送をそのままの画質で録画します。 •「録画先の設定画質」 録画機器側で設定されている録画モードから選択します。

※ **レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認や設定の変更などはできません。レコーダー側で確認や取り消しなどの操作をしてください。**

予約の確認・変更・取り消しをする

1 番組表を表示中にサブメニューを押し、▲·▼で「予約リスト」を選んで決定を押す

- 視聴制限番組は表示されません。
  表示させるときは、緑を押して、視聴制限一時解除してください。

2 予約の確認や変更、取り消しをする番組を▲·▼で選び、決定を押す



録画や予約状況、上書き保存などのアイコンが表示されます。
は予約時間が重複する番組が3番組以上あると、重複アイコンが表示されます。

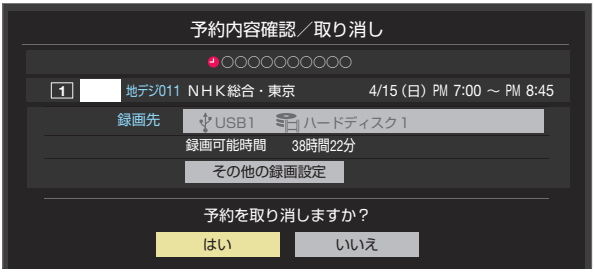
は放送時間変更などで同一の有料番組に予約が重複したときに表示されます。この場合、録画されるのは一つです。(一つの有料番組でW録はできません)

- たとえば、3番組以上の重複があるような場合などは、その中からどれか予約を取り消す番組を選択します。

3 以下の操作をする

予約を取り消すとき

❶◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す



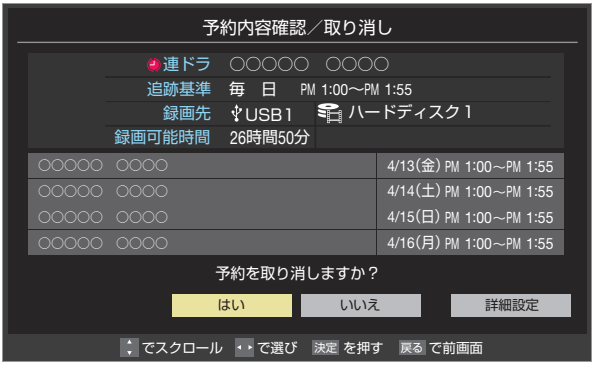
※BS・110度CSの4K放送PPV（ペイ・パー・ビュー）番組の予約を取り消しても、購入手続きは取り消されません（予約を取り消しても購入情報が残ります）。

録画設定を変更するとき

● 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫の操作をします。

連ドラ予約を取り消すとき

❶◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す



● 予約時間が3番組以上重なっているときは、!が表示されます。

● 同一の有料番組が重なっている場合は、¥!が表示されます。

※連ドラ予約を取り消すと、直近の録画予約番組（録画中を含む）から予約が取り消されます。

予約内容を変更する場合

❶ ▲·▼·◀·▶で「詳細設定」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼で設定を変更する項目を選び、決定を押す

● 設定画面に表示されている項目の内容については、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫の表を参照してください。

❸ ▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定を押す

おまかせ録画

● おまかせ録画はクラウドサービスを利用して、興味のあるキーワード(人物も含む)に関する番組を自動録画する機能です。

おまかせ録画は、USB(通常録画)端子に接続したUSBハードディスクに録画されます。おまかせ録画について詳しくは、ホームページ(https://www.regza.com/regza/)をご覧ください。

※ おまかせ録画は、録画を保証するものではありません。確実に録画したい番組は、番組表などから録画予約をしてください。

おまかせ録画に必要な準備

● おまかせ録画を利用するには、以下の接続と設定が必要です。

必要な接続・設定
• インターネットを利用するための接続をする。 製品同梱の取扱説明書の「インターネットを利用するための接続をする」21 をご覧ください。 • インターネットを利用するための設定≫をする。 • 「レグザプライバシーポリシー」≫を「同意する」に設定する。 • 興味のあるキーワードや人物の「みるコレ パック」※を登録する。

※「みるコレ パック」については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/)をご覧ください。

おまかせ録画について

おまかせ録画の設定について

1 番組ガイドを押して、「おまかせ録画設定」タブを選んで表示された設定画面で、「おまかせ録画」を「する」に設定します

2 ▲·▼で「お気に入り」タブを選び、「パックの追加・管理」を選ぶと、パック(おまかせ録画できるジャンルやタレント)の一覧が表示されます

3 おまかせ録画したいパックで 青 を押すと、パックがお気に入りに追加され、おまかせ録画も設定できます

録画について

● **地上デジタル放送／ BSデジタル放送／ 110度CSデジタル放送／ 新4K8K衛星放送のテレビ放送を録画します。**

- 字幕放送・映像／音声ESは録画されます。
- 視聴年齢制限番組、非契約番組は録画されません。

● **おまかせ録画と番組表などから予約した通常録画予約が重なる場合は、通常録画予約が優先されます。**

- 通常録画予約とおまかせ録画の予約が同時間帯に3件以上になったときは、通常録画予約が優先されおまかせ録画は予約されません。おまかせ録画予約が先に行われている場合は、番組表などから通常録画予約の操作をすると、予約が重なっていることをお知らせする画面が表示されます。

● **おまかせ録画の最大予約件数は32件です。**

- おまかせ録画予約の設定をすると、おまかせ録画予約用に予約件数を32件確保されます。このとき、通常録画予約の最大予約件数は96件になります。

USBハードディスクの録画領域について

- おまかせ録画は、予約録画とは別にUSBハードディスクに録画領域を用意します。
  - おまかせ録画領域の設定は、番組ガイド機能の「おまかせ録画設定」の画面から行います。
  - 予約録画領域とおまかせ録画領域を合わせて、USBハードディスクの総容量となりますので、ご注意ください。
- 録画番組は、予約録画とおまかせ録画を合わせて3000件まで録画できます。

おまかせ録画を設定しているときの録画予約と録画番組について

- おまかせ録画の設定をすると、対象番組におまかせ録画アイコン（録画された番組にはおまかせ録画番組アイコン）がつきます。

おまかせ録画の自動削除について

- おまかせ録画番組は、おまかせ録画領域の容量が足りなくなると、古い番組から順に自動削除されます。
  - おまかせ録画の自動削除は解除できません。

おまかせ録画から通常録画への変更について

- おまかせ録画予約またはおまかせ録画番組は、以下の操作で通常録画予約または予約録画番組に変更することができます。
  - おまかせ録画予約は、予約内容確認画面で 青 を押すと通常録画予約に変更できます。
  - おまかせ録画番組は、録画リストで サブメニュー を押し、「予約録画番組に変更」を選ぶと、予約録画番組に変更できます。

おまかせ録画でのご注意

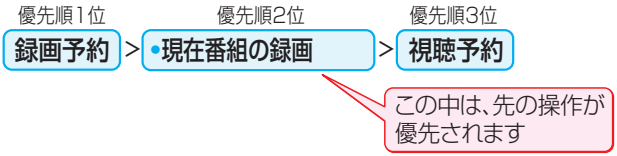
- 画面に表示される録画可能時間は、USBハードディスクの予約録画領域の容量を基に表示されます。
- おまかせ録画の設定を解除したり、おまかせ録画の録画先のUSBハードディスクを変更したりすると、おまかせ録画予約は、すべて削除されます。
  - おまかせ録画番組は削除されません。
- 「レグザプライバーポリシー」≫を「同意しない」に変更すると、おまかせ録画の設定は解除されます。

予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

「録画予約」が最優先されます

- 録画予約と他の録画や視聴予約などが重なった場合、録画予約が優先されて、他の録画や視聴予約は中止または取り消しになります。



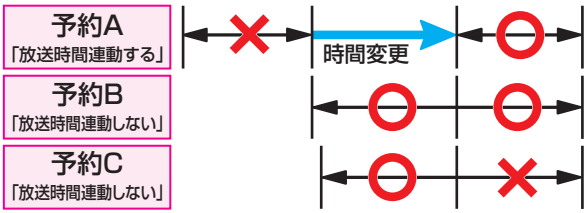
放送時間が変更されたとき

- 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

- 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。

例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Cは録画されません。予約Bと予約Cの録画開始時刻が同じ場合は、先に予約を登録したほうが優先されます。

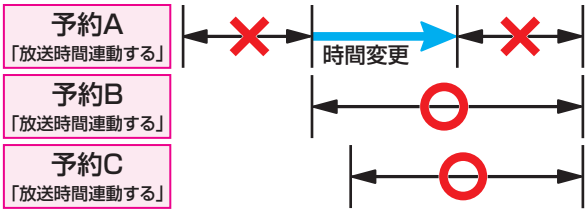


「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

❶開始時刻が変更された場合

- 開始時刻の早い予約が優先されます。

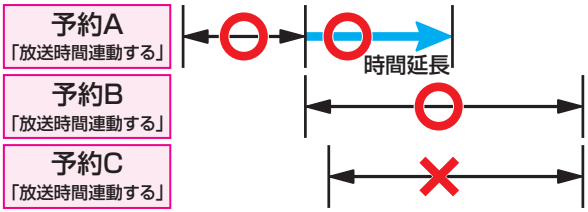
例 予約Aの変更後の開始時刻よりも、予約Bと予約Cの開始時刻が早くなるので、予約Aは取り消されます。



❷放送時間が延長された場合

- 先に録画を開始した番組の時間延長が優先されます。

例 先に録画を開始し、放送時間延長に対応した予約Aが優先されます。開始時刻の遅い予約Cは取り消されます。



❸複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

- 予約を登録した順に2番組まで録画されます。

- 番組情報が更新されるタイミングによっては正しく録画されないことがあります。
- 終了時刻が未定のままで、継続して録画される時間は3時間までです。
- 番組情報（放送時間）が変更され、「録画予約」と「連ドラ予約」が同時刻で重なった場合は「録画予約」が優先録画されます。

予約の動作について

● 予約設定後、本機の動作は以下のようになります。

※レグザリンク対応の東芝レコーダーに予約した場合は、予約終了の時点で本機の関与は終了し、以下の動作はしません。

予約した番組放送が始まるとき

● 予約を中止する場合は、終了または■を押します。

● 録画予約の場合は、予約した番組のチャンネルに切り換わることがあります。

● 予約した視聴制限のある番組が始まるときは、メッセージが表示されます。決定を押し、暗証番号≫を入力してください。

▼

予約した番組の放送中

● 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、録画中を知らせるメッセージが表示されます。

● 録画予約した番組の録画が始まると、左記の優先順に従って他の録画は中止されます。

▼

予約した番組の終了後

● 本機を通常どおり使用できます。

録画した番組を再生する

- USBハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。
- ネットワークメディアサーバーの動画再生については「動画を再生する」≫をご覧ください。
- 本機能または本機能の一部は、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

再生の基本操作とさまざまな再生のしかた

1 録画リストを押す

録画リスト（例：AIおすすめ選択時）



- レグザナビを押して表示されるレグザナビの画面で、「録画リスト」を選択しても表示できます。

2 ▲·▼で録画リストの表示を切り換える

- 分類タブについては、次ページの説明を参照してください。
- 「おすすめ番組」選択中の表示はタイル表示、「録画番組」ではリスト表示になります。

※「おすすめ番組」を使用するには、インターネットへの接続と、レグザプライバシーポリシーの同意が必要です。

おすすめ番組

- **AIおすすめ**…おすすめの録画番組が表示されます。
- **お気に入り**…お気に入りパックの録画番組が表示されます。

録画番組

- **すべて**……すべての録画番組が表示されます。
- **連ドラ別**……連ドラ名のリストが表示されます。▲·▼で連ドラ名を選びます。
- **ジャンル別**…ドラマや映画などのジャンルリストが表示されます。▲·▼でジャンルを選びます。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- **曜日別**……曜日のリストが表示されます。▲·▼で曜日を選びます。

● 視聴年齢制限番組は表示されません。表示させるときは、サブメニューを押してから、「視聴制限一時解除」を選んで決定を押してから暗証番号を入力してください。

3 ▶または決定を押す

● カーソルが右側の録画番組のリストに移動します。
● 録画番組のリストの左端で◀を押すと、カーソルが分類タブの切り換えに戻ります。

4 見たい番組を▲·▼·◀·▶または▲·▼で選び、決定を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます(レジューム再生)。
- 番組を最後まで再生し終わると、録画リストに戻ります。
- 再生中にできるリモコン操作については、次ページをご覧ください。

5 番組再生を終了するには、■または終了を押す

- ■を押すと、録画リストに戻ります。
- 終了を押すと、放送画面などに戻ります。

小画面で番組を確認する—プレビュー再生

- 録画リストで番組を選んだ状態で▶/静止を押すと、小画面が開いて選択中の録画番組のプレビュー再生ができます。

録画中の番組を再生する—追っかけ再生

❶録画中の番組を▲·▼で選んで決定を押す

おしらせ

- 番組冒頭部分の約2秒間を飛ばして再生が始まります(録画は番組開始時刻の約2秒前から開始されるようになっています)。

■ 録画リストについて

- 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまでに少し時間がかかります。
- 機器に記録されている情報によっては、選択中の録画番組の情報が正しく表示されないことがあります。

録画番組の再生中にできるリモコン操作

ボタン	内　容
▶/早見	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 • 再生中に繰り返し押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 • 放送番組の視聴中に押すと、USBハードディスクで前回再生した番組の続きから再生されます。
静止 ⏸	再生中に押すと一時停止になり、もう一度押すと再生が再開されます。
■	録画リストに戻ります。 • 放送番組視聴中に、▶/早見でラストレジューム再生したときは、放送画面に戻りますす。
▶▶	早送り再生をします(押すたびに速さが変わります)。 • 一時停止中に押すとコマ送りができます。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押すと、押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
◀◀	早戻し再生をします(押すたびに速さが変わります)。 • 一時停止中に押すと0.5秒ほど戻って一時停止になります。番組によっては、戻る時間が大きくなることがあります。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
◀·▶	再生中に押すと、前／次のシーンへスキップします。 • シーン情報がない録画番組の場合は、20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします(録画時間が短い番組では動作しないことがあります)。 • シーン/出演者画面のように、◀·▶を別に使う機能では、この機能は使えません。
▲·▼	シーンリストを表示します。
»	再生中または早見早聞での再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。
«	再生中または早見早聞での再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。

▶▶|	次のシーンにスキップします。 • シーン情報のない録画番組の場合は、次のチャプターにスキップします。
|◀◀	一つ前のシーンにスキップします。 • シーン情報のない録画番組の場合は、一つ前のチャプターにスキップします。
録画リスト	再生中に押すと、録画リストが表示されます。　放送番組視聴時などに押した場合も録画リストが表示されます。

※BS・110度CSの4K録画番組は、「早見早聞」「スロー再生」「連続コマ戻し再生」「コマ送り」「コマ戻し(0.5秒戻し)」の操作はできません。

※録画番組によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。

※録画中の番組再生での早送り/早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。

※録画番組を特殊再生しているときは、字幕の表示ができません。

※録画番組によっては、一時停止やワンタッチスキップなどの特殊再生操作をしたときに映像が表示されなくなることがあります。その場合は、▶/視聴で通常再生に戻してから再度特殊再生の操作をしてください。

ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイの時間を変更する

● ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間を変更することができます。お買い上げ時の設定のように、飛ばす時間よりも戻す時間を短く設定しておくと、飛ばしすぎて戻すときに便利です。

❶ 設定を押し、▲·▼と決定で「録画・再生設定」⇨「再生設定」の順に進む

❷ ▲·▼で「ワンタッチスキップ設定」または「ワンタッチリプレイ設定」を選び、決定を押す

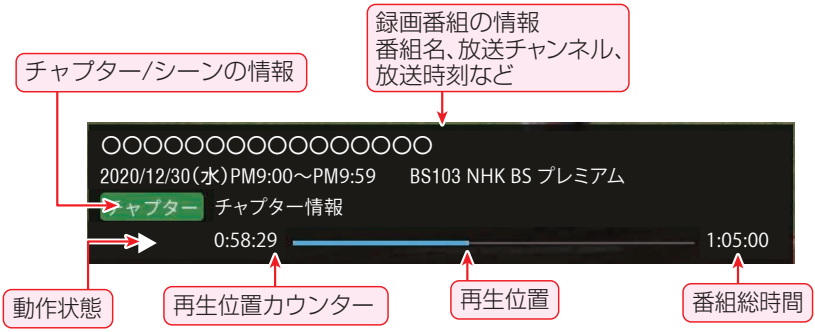
❸ ▲·▼で時間を選び、決定を押す

録画番組の情報や番組説明を見る

番組の情報を見る

❶再生中に画面表示を押す

- 再生中の番組の情報が表示されます。
- しばらくすると番組情報の表示は消えます。



❷表示を消すには、もう一度画面表示を押す

録画番組を修復する

● 録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、「録画番組の修復」をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。

❶ 設定を押し、▲·▼と決定で「録画・再生設定」⇨「通常録画設定」の順に進む

❷ ▲·▼で「録画番組の修復」を選び、決定を押す

❸ 番組を修復する機器を▲·▼で選び、決定を押す

❹ 確認画面で、▲·▼で「はい」を選び、決定を押す

● 修復の処理が始まります。終わるまでそのままお待ちください。

❺ 「録画番組を修復しました。」が表示されたら、決定を押す

● この操作には、30分程度かかることがあります。

● 録画番組を修復できなかった場合は、「録画番組の修復ができませんでした。」が表示されます。

※ 録画番組が修復できた場合でも、通常再生以外の再生機能は正しく動作しないことがあります。

シーン/出演者の情報を見る

- クラウドサービスを利用して、番組のシーンの情報や、出演者の情報を見ることができます。
- シーンリストおよび出演者のリストを表示するには、インターネットへの接続とレグザプライバシーポリシーの同意が必要です。
- 本機能または本機能の一部は、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

※ すべての番組にシーンリストが用意されることを保証するわけではございません。シーンについて詳しくは、ホームページ（https://www.regza.com/regza/）をご覧ください。

1 シーン/出演者 を押す

- シーンや出演者、シリーズの画面が表示されます



- 録画番組の再生中は▲・▼でも表示できます。

2 «・»で分類タブを切り替える

- カーソルを分類タブに合わせて◀·▶でも切り換えられます。

シーン

- シーンリストを表示します。
- シーン情報がない番組の場合は、チャプターリストが表示されます。
- 青を押して、シーンリストとチャプターリストを切り換えることもできます。
- シーン詳細がある場合、▶を押すとシーン詳細を表示します。
- 決定を押すと、選択したシーンの再生が始まります。

出演者

- 番組説明と出演者のリストが表示されます。
- ▲·▼で番組説明や出演者を選び、▶を押すと詳細が表示されます。

シリーズ

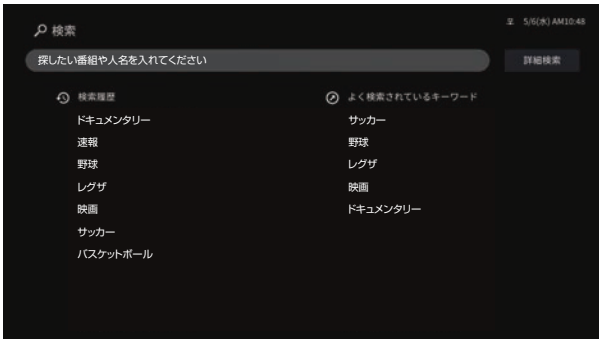
- 連ドラなどで、該当番組のその他の話数の番組を表示します

見たい録画番組を探して再生する

- USBハードディスクに録画した番組の中から、視聴したい番組を探すことができます。
- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して録画番組や未来番組、パック、シーンを横断検索します。
- 検索機能を使用するには、インターネットへの接続と、レグザプライバシーポリシーの同意が必要です。
- 本機能は、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

1 録画リストの表示中に▲·▼·◀·▶で検索アイコン(🔍)を選び、決定を押す

- 録画番組検索画面が表示されます。



2 以下の手順で番組を探す

- 録画番組検索画面が表示されます。

検索履歴から選択する

❶▲·▼で検索履歴から見たい番組を選び、決定を押す

キーワードを入力して検索する

❶▲·▼で検索窓を選び、決定を押す

●キーワード入力画面になります。

❷キーワードを入力して決定を押す

● 検索にはしばらく時間がかかることがあります。

● 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

❸▲·▼·◀·▶で見たい番組を選び、決定を押す

お知らせ

● キーワードを入力せずに、▲·▼·◀·▶で「よく検索されているキーワード」を選んで検索することもできます。

詳細を指定して検索する

❶▲·▼·◀·▶で「詳細検索」を選び、決定を押す

●詳細検索画面が表示されます。

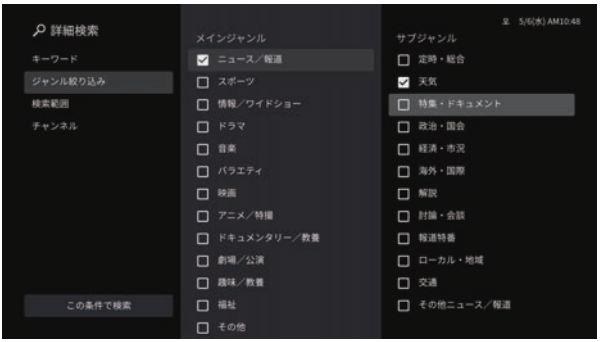


❷▲·▼·◀·▶と決定で詳細な条件を入力する

キーワード

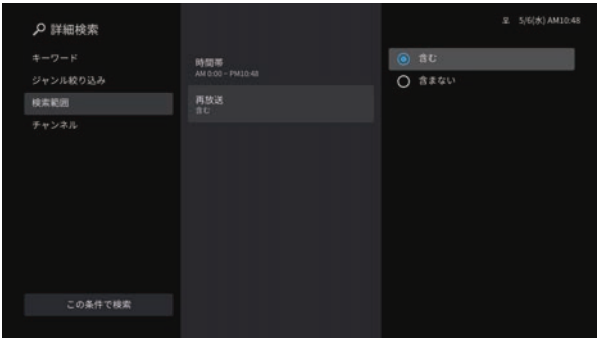
- 「以下のいずれかを含む」、「以下のいずれも含まない」の条件を設定できます。
- 「+追加」を選ぶとキーワード入力画面が表示され、キーワードを追加できます。
- 既にあるキーワードを削除する場合は、キーワードを選んで▶を押し、「削除」を選びます。

ジャンル絞り込み



- ▲·▼でジャンルを選び、決定を押すたびに☑と□が交互に切り換わります。
- メインジャンルの選択で▶を押すとサブジャンルの選択にカーソルが移動します。◀でメインジャンルに戻ります。

検索範囲



- 検索する時間帯と、再放送を含むかどうかを選択します。

時間帯



- ▲·▼·◀·▶で、検索したい時間帯を指定します。

再放送

- 再放送の番組を含むかどうかを選択します。

チャンネル



- 地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタル/BS/CS 4Kから、検索するチャンネルを選びます。

❸条件を入力したら、「この条件で検索」を選んで 決定 を押す

- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

❹▲·▼·◀·▶で見たい番組を選び、 決定 を押す

録画リストのさまざまな機能を使う

● 録画リストの表示中に以下のさまざまな機能を使うことができます。

番組を並べ替える

● 録画リストの「録画番組」タブに表示される番組の並び順を変えることができます。

1 **サブメニューを押し、▲·▼で「録画番組」の並べ替えを選んで 決定 を押す**

2 **▲·▼で以下から選び、決定を押す**

- **新しい順**…… 日付の新しい順に表示されます。
- **古い順**…… 日付の古い順に表示されます。

おまかせ録画番組を予約録画番組に変更する

● おまかせ録画で録画した番組を、予約録画番組に変更することができます。

1 **録画リスト上で変更したい録画番組を選び、サブメニューを押す**

2 **▲·▼で「予約録画番組に変更」を選んで 決定 を押す**

ほかの機器を選択する

● 再生する機器を変更するには以下の操作をします。

1 ▲·▼で「選択中の機器」を選ぶ

● 右側に接続されている機器のリストが表示されます。

2 ▶を押す

● カーソルが右側のリストに移動します。

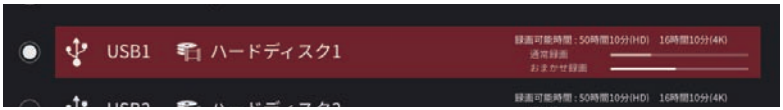
3 使用する機器を▲·▼で選び、決定を押す

機器の情報を確認する

● 使用中の機器の情報を確認します。
● USBハードディスクの残量も画面で確認できます。
※ 残量表示や録画可能時間表示は、あくまでも目安であり、保証するものではありません。
※ USBハードディスクの残量は、BS·110度CSデジタルハイビジョン放送(24Mbps)とBS·110度CSの4K放送(33Mbps)の録画が可能な時間を基準に算出しています。地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

1 ▲·▼で「選択中の機器」を選ぶ

● 右側に接続されている機器のリストが表示されます。
例:USBハードディスクの場合



ざんまいスマートアクセスで楽しむ

- 番組を見ながら、お好みの録画番組や放送中の番組を簡単に見つけ出し、番組を楽しむことができます。
- 本機能の一部を使用するには、インターネットへの接続とレグザプライバシーポリシーの同意が必要です。
- 本機能は、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

ざんまいスマートアクセスでお好みの番組を選ぶ

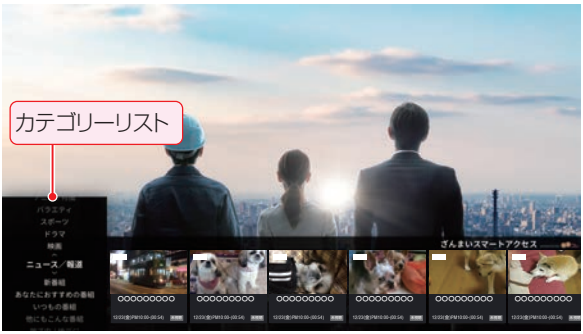
1 ざんまい を押す

- ざんまいスマートアクセスの画面が表示されます。



2 ▲·▼を押して、カテゴリーリストからお好みのカテゴリーを選ぶ

- サムネイルが表示されます。



3 ◀·▶を押して見たい番組をサムネイルから選び、決定を押す

- 選択した番組の再生が始まります。
- 放送中の番組を選んで決定を押した場合は、選んだ番組が選局されます。
- 視聴制限番組の場合は、番組タイトルや詳細が伏せ字(「＊＊＊＊」)で表示されます。

お知らせ

■ サムネイルの種類について

- 番組のサムネイルや番組のジャンルを表すサムネイルなどが表示されます。
- 番組の状態によっては、ジャンルアイコンや「HD」(地デジ番組)、「4K」(BS ／ CS ／ BS/CS 4K番組)が表示されます。

カテゴリーリストについて

- カテゴリーリストには、カテゴリー設定画面で☑がついている項目が表示されます。カテゴリー設定画面は、「カテゴリーリストの項目を変更する」≫の操作で確認することができます。

カテゴリーをお好みに変更する

● カテゴリーリストを、お好みの内容に変更することができます。

カテゴリーリストの項目を変更する

1 ▲·▼を押して、カテゴリーリストから「カテゴリー設定」を選び、決定を押す

● 表示可能なカテゴリー項目が表示されます。



● カテゴリーリストに表示されている項目には、☑がついています。

2 ◀·▶でカテゴリーを選び、決定を押す

● 決定を押すたびに、☑(表示する)と□(表示しない)が交互に切り換わります。
● 手順2の操作を繰り返して、カテゴリーリストに表示する項目、または表示しない項目を設定します。
● 「パックの追加・管理」のカテゴリーを選んで決定を押すと、パックの追加・管理画面が表示されます。パックをお気に入りに追加すると、ざんまいのカテゴリーとして追加することができます。

3 変更が終了したら、▲·▼を押す

● カテゴリー設定が終了し、カテゴリーリストに表示が戻ります。

不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

● 見終わった録画番組などを消したり、消さないように保護したりする場合は、録画リストの表示中に以下の操作をします。

録画番組を消す

1 消す番組を▲・▼で選び、赤（削除）を押す

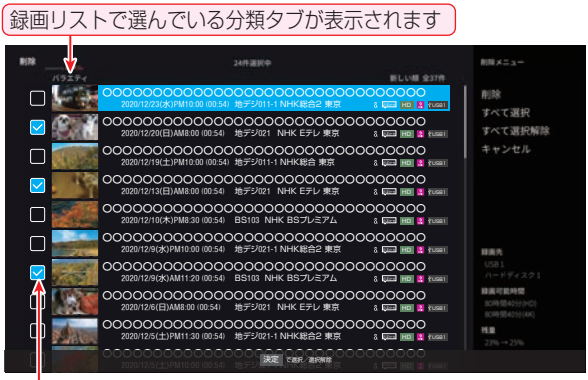
● 録画番組削除画面が表示されます。

2 消す番組を▲・▼で選び、決定を押す

● 決定を押すたびに、☑と□が交互に切り換わります。
削除する番組に✓をつけます。

● ▶を押してカーソルを右に移動し、▲・▼で「すべて選択」を選んで決定を押すと、リストにあるすべての録画番組にチェックをつけることができます。

● 保護された番組を消す場合は、その番組を選び、青を押して保護を解除してから決定を押します。



3 選択が終わったら、▶を押す

● 右側の削除メニューにカーソルが移動します。

4 ▲·▼で「削除」を選び、決定を押す

5 確認画面で、◀·▶で「削除する」を選んで決定を押す

6 削除が終了したら、決定を押す

お知らせ

- 「おすすめ番組」タブで 赤 (削除)を押した場合は、1 件削除の確認画面が表示されます。

自動的に消す(自動削除設定)

- お買い上げ時は、USBハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。削除されないようにする場合は「自動削除」を無効に設定してください。

1 ▲·▼で「選択中の機器」を選ぶ

- 右側に接続されている機器のリストが表示されます。

2 ▶を押す

- カーソルが右側のリストに移動します。

3 ▲·▼で「自動削除」を選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、自動削除の有効/無効が交互に切り換わります。

誤って消さないように保護する

● 自動削除機能で削除されたり、誤って消してしまったりしないように、録画番組を保護することができます。

※録画中にこの操作はできません。

1 保護する番組を▲·▼で選び、サブメニューを押す

2 ▲·▼で「保護」を選び、決定を押す

● 選択した番組が保護されます（🔒がつきます）。

● 保護されている番組を選択してサブメニューを表示させると、「保護解除」ができます。

外部入力の画面に切り換える

- 本機の外部入力端子(HDMI入力1～4、ビデオ入力)に接続したビデオやDVD・ブルーレイディスクプレーヤー/レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続や設定については、製品同梱の取扱説明書の「外部機器を接続する」17 をご覧ください。

1 使用する機器の電源を入れる

2 入力切換 を押す

- 入力切換 を押すと「テレビ」が選択された状態で画面右側に入力一覧画面が表示されます。
  - 「この入力を表示」≫のチェックが外されている入力は表示されません。

3 入力切換 を繰り返し押すか、▲・▼を押して入力を選ぶ

- 入力切換 を押すたびに以下のように切り換わります。

  放送→HDMI 1→HDMI 2→HDMI 3→HDMI 4→ビデオ

  - ▲・▼では順方向・逆方向の選択ができます。

4 決定 を押す

- 選択した入力の画面に切り換わります。

5 選択した機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。
- ゲーム機を接続した入力では、「映像メニュー」≫を「ゲーム」にしてください。ゲームのレスポンスを重視した、ゲームに適した画質設定になります。

HDMI連動機器を選んだとき

- 機器操作メニューや本機のリモコンで機器を操作することができます。
- 機器操作メニューの使い方

❶ サブメニューを押す

❷ ▲·▼で「機器操作」を選び、決定を押す

- 機器操作メニューが表示されます。機器操作メニューや本機のリモコンで操作できる機能については、「本機のリモコンで対応機器を操作する」≫をご覧ください。

本体ボタンで入力を切り換える

1 本体底面の本体ボタンをくり返し手前に動かし、入力切換に切り換える

- 画面左上に入力一覧画面が表示されます。

2 本体ボタンを左右に動かして入力を選ぶ

- 少し待つと選択した入力に切り換わります。

おしらせ

- 入力切換時に画面に表示される「ブルーレイ」などの機器名は、「外部入力」の各入力端子の名前を選んでください。

外部入力の機能を設定する

● 外部入力のさまざまな機能を設定することができます。必要に応じて設定してください。

入力切換時に画面に表示される機器名を設定する

● 入力切換をしたときに表示される機器の名称(ブルーレイ、DVDなど)を変更することができます。

1 **設定**を押し、▲·▼と決定で「デバイス設定」⇨「外部入力」の順に進む

2 設定する外部入力を▲·▼で選び、決定を押す

3 表示させる機器名を▲·▼で選び、決定を押す



● 「この入力を表示」のチェックをはずすと、入力切換のときにこの外部入力が表示されなくなります。

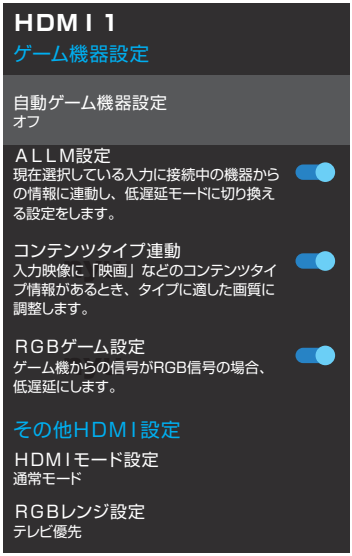
● 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMI入力の設定を変更する

● HDMI入力端子ごとに、モード切り換えなどの機能を設定することができます。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「デバイス設定」⇨「外部入力」⇨「外部入力設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する



自動でゲームモードに切り換える

● ゲーム機を接続したときに自動で機器を判別し、最適な設定に変更するができます。

❶設定する外部入力を▲・▼で選び、決定を押す

❷▲・▼で「自動ゲーム機器設定」を選び、決定を押す

❸▲・▼を押して設定を選び、決定を押す

- **オート：**
  接続されたゲーム機を判別し、「ALLM設定」、「コンテンツタイプ連動」、「RGBゲーム設定」を機器に合わせた設定に変更する
- **オフ：**
  この機能は働きません。

● 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

自動で遅延時間を短縮する設定にする

● ＡＬＬＭ(Auto Low Latency Mode)設定を切り換える事で、選択しているALLM対応入力機器からの情報に連動して、自動的に画像処理による表示の遅延時間を短縮します。

※「自動ゲーム機器設定」が「オート」に設定されているときは、設定できません。

❶設定する外部入力を▲・▼で選び、決定を押す

❷▲・▼で「ALLM設定」を選ぶ

❸決定を押して有効/無効を切り換える

- **有効：**
  入力機器からの情報に連動して、自動的に画像処理による表示の遅延時間を短縮します。
- **無効：**
  この機能は働きません。

● 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMI入力の画質が自動設定されるようにする

● HDMI入力端子に入力される映像に適した画質になるように設定することができます。

※「自動ゲーム機器設定」が「オート」に設定されているときは、設定できません。

❶設定する外部入力を▲·▼で選び、決定を押す

❷▲·▼で「コンテンツタイプ連動」を選ぶ

❸決定を押して有効/無効を切り換える

- **有効：**
  入力映像に「映画」などのコンテンツタイプを識別する情報がある場合に、そのタイプに適した画質に自動調整されます。
- **無効：**
  この機能は働きません。

● 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

RGB入力時にゲームモードに切り換える

● HDMI入力端子に入力される映像に適した画質になるように設定することができます。

※「自動ゲーム機器設定」が「オート」に設定されているときは、設定できません。

❶設定する外部入力を▲·▼で選び、決定を押す

❷▲·▼で「RGBゲーム設定」を選ぶ

❸決定を押して有効/無効を切り換える

- **有効：**
  入力映像がRGB信号の場合に、自動的に画像処理による表示の遅延時間を短縮します。
- **無効：**
  この機能は働きません。

● 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMIモードを変更する

- **高速信号モード**は4K映像に対応している機器からの4K映像をより高精細に再生するときに選びます。
- **通常モード**は「高速信号モード」で映像や音声が正しく出力されないときに選びます。

❶設定する外部入力を▲·▼で選び、決定を押す

❷▲·▼で「HDMIモード設定」を選び、決定を押す

❸▲·▼を押してモードを選び、決定を押す

- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMI入力のRGBレンジを設定する

- 本機がRGBレンジを自動識別できない機器を接続している場合は、機器の仕様に合わせて設定します。

❶設定する外部入力を▲·▼で選び、決定を押す

❷▲·▼で「RGBレンジ設定」を選び、決定を押す

❸▲·▼で以下の設定から選び、決定を押す

- **オート**
  自動切換になります。
- **フルレンジ**
  RGBレンジが0 ～ 255の機器の場合に選びます。
- **リミテッドレンジ**
  RGBレンジが16 ～ 235の機器の場合に選びます。

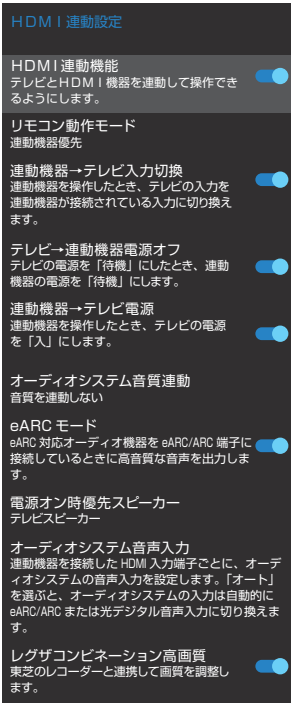
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする

- 本機のリモコンでHDMI連動機器の基本操作をしたり、各種の連動動作をさせたりするための設定をします。
- お買い上げ時、本機はHDMI連動機能を使用するように設定されています。接続機器側の設定も必要です。ご確認ください。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「デバイス設定」⇨「外部入力」⇨「外部入力設定」の順に進む

2 設定する項目を▲·▼で選び、決定を押す



3 設定したい項目を▲·▼で選び、決定を押す

HDMI連動機能

- 本機のリモコンでのHDMI連動機器操作、東芝レコーダーの録画・予約、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。

リモコン動作モード

- 本機からの操作に対応したHDMI連動対応機器を接続している場合、「連動機器優先」に設定すると、本機のリモコンで操作できる機能が増えます。

連動機器→テレビ入力切換

- 連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。本機の電源が「入」の場合に動作します。

テレビ→連動機器電源オフ

- 本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です（録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならないことがあります）。

※本機の「省エネ設定」≫や「オフタイマー」≫とも連動します。

連動機器→テレビ電源

- 連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になり、連動機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」になる機能です。

※この機能と、「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しておくと、本機の電源が「入」になったあとに自動的に入力が切り換わります。

オーディオシステム音質連動

● テレビのリモコンでオーディオシステムのスピーカーを操作する機能の設定をします。

- **音質を連動する**
  オーディオシステムの音質調整を使用するときに選びます。
- **音質を連動しない**
  オーディオシステムの音質調整を使用しないときに選びます。

eARCモード

● eARC対応オーディオ機器をeARC/ARC端子に接続しているときに高音質な音声を出力します。

電源オン時優先スピーカー

● 本機の電源オン時に優先するスピーカーを選択します。

- **テレビスピーカー**
  本機のスピーカーから音声が出ます。
- **オーディオシステム**
  テレビの電源をオンしたときに、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。

● サブメニューでスピーカーを一時的に切り換えることもできます。
≫「オーディオ機器(オーディオシステム)で聴く」

※サブメニューでスピーカーを切換した場合は本機の電源操作で、電源オン時優先スピーカー設定で選択した状態に戻ります。

オーディオシステム音声入力

● 連動機器を接続したHDMI入力端子ごとに、オーディオ機器の音声入力を設定することができます。

例 HDMI 3入力端子に接続しているレコーダーの音声を、オーディオ機器の「入力2」に接続している音声信号を使って聴きたいときは、「HDMI 3」を選んで決定を押してから、「入力2固定」を選んで決定を押します。

レグザコンビネーション高画質

- 有効に設定すると、東芝のレコーダーと連携した高画質化機能が利用できます。

※映像が不自然に見えるときは、無効を選んでください。

お知らせ

- 連動機器の機能、設定によっては、HDMI連動設定をしても、一部もしくはすべての機能が働かないことがあります。
- 本機が認識できるHDMI連動対応機器の台数は、HDMI CEC規格に従って、オーディオ機器：1台、録画機器（レグザリンク対応レコーダーなど）：3台、再生機器（東芝のプレーヤー / PCなど）：3台までに制限されます。
- 「オーディオシステム音質連動」の対応機器については、ホームページ（https://www.regza.com/regza/）をご覧ください。

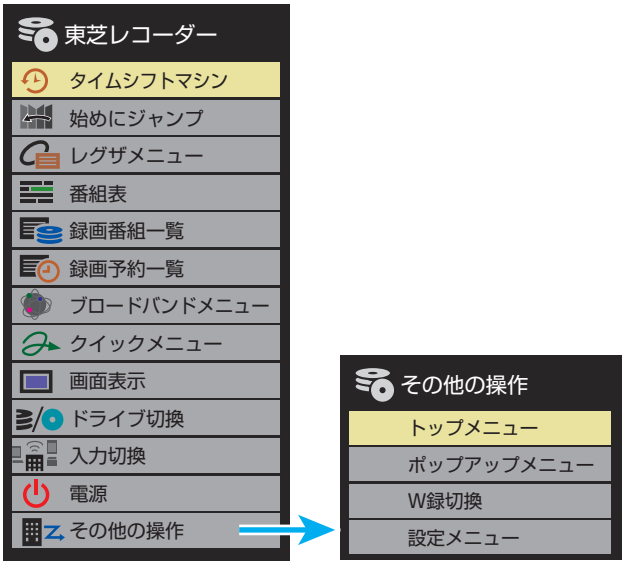
本機のリモコンで対応機器を操作する

機器を操作する

- 入力切換の操作でレグザリンク（HDMI連動）対応機器が接続された入力（HDMI1 ～ 4）を選んだあと、「サブメニュー」の「機器操作」を選ぶと、操作メニューが表示されます。
- 機器によって表示される操作メニューの内容や、操作できる内容が異なります。
- 「その他の操作」を選ぶとサブメニューが表示されます。

❶ サブメニューを押し、▲·▼で「機器操作」を選んで決定を押す

例



- 本機のリモコンで、レグザリンク対応のレコーダーやプレーヤーなどの基本操作をすることができます。
- 以降は一例です。ほかのHDMI連動機器でも、本機のリモコンで操作できる場合があります。
- 本機のリモコンでできる操作については、「本機のリモコンでできるおもな操作」≫をご覧ください。
- 機器を操作すると機器操作メニューが消えます（機器操作メニューを再表示させるには、手順❶の操作をします）。

タイムシフトマシン

● 東芝レコーダーのタイムシフト過去番組表が表示されます。

始めにジャンプ

● 東芝レコーダーのタイムシフト過去番組表の番組を、簡単に番組の冒頭から見ることができます。

レグザメニュー（スタートメニュー）

● 東芝レコーダーのレグザメニューが表示されます（スタートメニューがある東芝レコーダーの場合は、スタートメニューが表示されます）。

番組表

● 東芝レコーダーの番組表が表示されます。

録画番組一覧（見るナビ）

● 東芝レコーダーの録画番組一覧が表示されます（「見るナビ」または「見ながら選択」がある東芝レコーダーの場合は、「見るナビ」または「見ながら選択」画面が表示されます）。

録画予約一覧

● 東芝レコーダーの「録画予約一覧」画面が表示されます。

ブロードバンドメニュー

● 東芝レコーダーのブロードバンドメニューが表示されます。

クイックメニュー

● 東芝レコーダーのクイックメニューが表示されます。

画面表示

● 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

ドライブ切換

● ハードディスクとブルーレイ（またはDVD）を切り換えます。

入力切換

● 東芝レコーダーの入力を切り換えます。

電源

● 決定で電源の「入」、「待機」ができます。

その他の操作メニュー

トップメニュー

- ディスク再生時に選ぶとディスクのトップメニューが表示されます。

ポップアップメニュー

- ディスク再生時に選ぶとディスクのポップアップメニューが表示されます。

W録切換

- W録選択を切り換えます。

タイムシフトマシン対応機器の過去番組表を表示する

- タイムシフトマシン対応機器の過去番組表を、本機のリモコンを使って表示させることができます。
  - タイムシフトマシン対応東芝レコーダー については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/)をご覧ください。

❶ サブメニューを押し、▲・▼で「タイムシフトマシン機器」を選んで 決定 を押す

- 機器の過去番組表が表示されます。

❷ ▲・▼・◀・▶で再生したい番組を選び、決定を押す

- 「番組指定再生」画面が表示されます。

❸ ◀・▶で「見る」を選び、決定を押す

- 選択した番組の再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。

❹ タイムシフトマシン再生を終了するには、終了を押す

- ほかの操作によってもタイムシフトマシン再生が終了する場合があります。
- 番組を選び直すには、上記手順❶～❸をします。

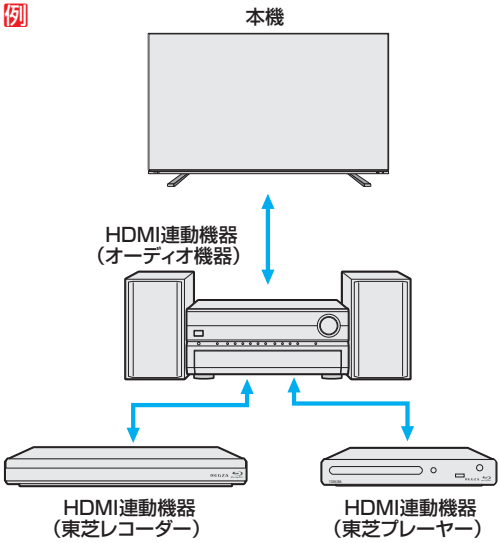
HDMI-CEC対応の機器

- HDMI CEC対応の機器を操作します。
- すべての製品でメニューに表示されたすべての機能の操作ができることを保証するものではありません。



HDMI連動機器に接続された機器

- HDMI連動対応のオーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、以下のようになります。



東芝レコーダーなどを選択したとき

- 「オーディオシステムを操作」を選ぶと、オーディオ機器の機器操作メニューが表示されます。



本機のリモコンでできるおもな操作

- HDMI連動機器を接続した場合、本機のリモコンで以下の操作をすることができます。

※以下は代表的な動作です。操作する機器によっては、動作が異なる場合があります。



本機のリモコンボタン	動作の内容
/早見再	番組を再生します。
静止	再生中に押すと一時停止になります。もう一度押すと、再生が再開されます。
	録画や再生を停止します。
	一つ先に進んで頭出し再生をします。
	前に戻って頭出し再生をします。
	再生中に押すと早送り再生になります。
	再生中に押すと早戻し再生になります。
	再生中に押すと少し先に進んで再生します。
	再生中に押すと少し戻って再生します。
▲・▼・◀・▶	メニューなどで項目を選択します。
決定	選択した内容を決定したり、選択した操作を実行したりします。
戻る	一つ前の操作に戻ります。
終了	操作を終了します。



本機のリモコンボタン	動作の内容
青	各機器でカラーボタンに割り当てられた機能を操作します。
赤	
緑	
黄	
＋ 音量 －	オーディオ機器の音量を調節します。
消音	オーディオ機器の音を消します。

レグザサウンドシステムで聴く

● 東芝のレグザサウンドシステムをHDMIケーブルで接続すると、レグザサウンドシステムで音声を聴くことができます。

ご注意

● **レグザサウンドシステムはHDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続してください。**
● **光デジタルケーブルだけで接続した場合は、操作できません。**
● **使用できる機能は機器によって異なります。**

お知らせ

● レグザサウンドシステム対応機器については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/)をご覧ください。

1 サブメニューを押し、▲·▼で「スピーカー出力切換」を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼でお好みのモードを選ぶ

- **テレビスピーカー**
  本機のスピーカーから音声を出します。
- **オーディオシステム**
  オーディオ機器から音声を出します。

● レグザサウンドシステムの電源を入れて本機とHDMIケーブルで接続し、「HDMI連動設定」≫を以下のように設定します。
- HDMI連動機能.....有効

3 音量を調節する

● 本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができます。

レグザサウンドシステムの音声を設定する

● 本機でレグザサウンドシステムの音声を設定するには、あらかじめ本機とHDMIケーブルで接続し、「HDMI連動設定」≫を以下のように設定します。
- HDMI連動機能 ..... 有効
- オーディオシステム音質連動 ..... 音質を連動する

1 サブメニューを押し、▲·▼で「レグザサウンドシステム設定」を選んで決定を押す

● サウンドシステム設定メニューが表示されます。

2 ▲·▼で設定する項目を選び、決定を押す

3 お好みの音声に調整する

サウンドモード

● 見る番組の種類に応じて、「オート」、「音楽」、「クリア音声」、「映画」からお好みのサウンドモードを選ぶことができます。
● 「オート」に設定すると、ジャンルに適した音声を聴くことができます。

イコライザー

● 音質を詳細に調整できます。設定のしかたは音声メニューの「イコライザー」≫と同様です。

低音強調

● 低音強調のレベルを「オフ」「弱」「強」から選びます。

オーディオ機器(オーディオシステム)で聴く

オーディオ機器のスピーカーで聴く

- オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。
- 本機とオーディオ機器をHDMIケーブルおよび光デジタルケーブルで接続します。ARC対応のオーディオ機器はARC対応のHDMIケーブルでHDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続し、光デジタルケーブルの接続は不要です。
- ARCに対応していないオーディオ機器を使用する場合やHDMI入力2(eARC/ARC)端子以外に接続する場合は本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節できません。本機の音量を最小に調節し、オーディオ機器側で音量を調節してください。

お知らせ

- レグザリンク対応のオーディオ機器については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/)をご覧ください。
- オーディオシステム音質連動対応のオーディオ機器については、ホームページ(https://www.regza.com/regza/)をご覧ください。

1 サブメニューを押し、▲・▼で「スピーカー出力切換」を選んで決定を押す

2 ▲·▼で「オーディオシステム」を選び、決定を押す

● 以下の場合に「オーディオシステム」が表示されます。
- 本機と音声連携が可能なオーディオ機器がHDMIケーブルで接続されていて、動作状態になっている（オーディオ機器のスピーカーから音声が出るようになっている）。
- 「HDMI連動設定」≫が以下のように設定されている。
  - HDMI連動機能.....有効

● 本機のスピーカーで聴くときは、「テレビスピーカー」を選びます。

3 音量を調節する

● レグザリンク対応のオーディオ機器では、本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができます。

動画を再生する

- USB機器、ネットワークメディアサーバーに保存されている動画を本機で視聴できます。
- 機器の接続や設定などの準備については、製品同梱の取扱説明書「USB機器を接続する」20、「ホームネットワークについて」30をご覧ください。
- 本機で再生できる動画のフォーマットについては、「本機で再生できるファイルのフォーマット」≫をご覧ください。

ご注意

- **再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。**
- **無線LANをご使用の場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。**

お知らせ

- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- レジュームポイントが記憶されている場合は、続きから再生されます。
- USB機器で記録されたコンテンツの場合、手順*4*で選択した動画を先頭にリスト内の動画の連続再生になります。
- 再生しているコンテンツによっては利用できない機能がある場合があります。

動画再生の操作

● 記録メディアを接続してメディアプレーヤーの起動確認画面が表示された場合は、▲▼で「メディアプレーヤー」を選んで決定を押し、手順4から操作します。

1 アプリを押し、▲▼◀▶と決定で「メディアプレーヤー」を選ぶ

2 ◀▶で「動画」を選び、決定を押す

3 再生機器を▲▼◀▶で選び、決定を押す

4 ▲▼◀▶と決定で再生する動画を選ぶ

● フォルダを選ぶと、そのフォルダ内のファイルが表示されます。

ファイルを並び替える

● ▲▼◀▶で「並び替え順」にカーソルを合わせて決定を押すと、並び替え方法のプルダウンが表示されます。▲▼で並び替える方法を選択して決定を押すと、ファイルを並び替えることができます。

プレイリストを作成する

● サブメニューを押し、▲▼で「プレイリストを作成する」を選んで決定を押します。

プレイリストに追加する動画を選択後サブメニューを押すと、選択された動画の再生が開始されます。

表示の形式を切り換える

● サブメニューを押し、▲▼で現在の表示形式に応じて「リスト」か「グリッド」を選んで決定を押すと、アイコン表示からリスト表示に、あるいはリスト表示からアイコン表示に切り換わります。

ファイルを検索する

- 「検索」を選んで決定を押すと、文字入力画面が表示され、ファイル名を検索することができます。

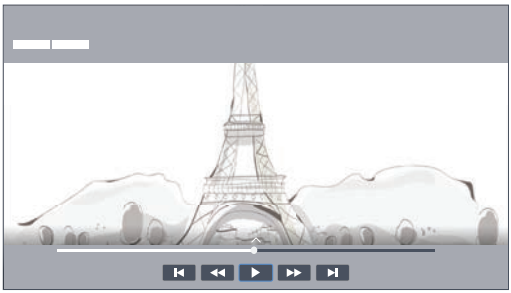
動画/音楽/写真を切り換える

- ▲·▼·◀·▶で「フィルター」にカーソルを合わせて決定を押すと、ファイル形式のプルダウンが表示されます。

  ▲·▼でファイル形式を選択して決定を押すと、動画/音楽/写真/すべてのメディアを切り換えることができます。

動画再生時にできるリモコン操作

- 動画の再生中に▲・▼・◀・▶を押すと再生コントロール画面が表示されます。▲・▼・◀・▶でカーソルを移動し、決定を押すと動画を操作できます。



アイコン	内　容
▶	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
▶▶	早送り再生をします（押すたびに速さが変わります）。
◀◀	早戻し再生をします（押すたびに速さが変わります）。
▶▌	次の動画の先頭にスキップして再生します。
▌◀	一つ前の動画の先頭にスキップして再生します。

- 再生時間のコントロールバーにカーソルを合わせ、◀・▶で再生位置を選ぶと選択した再生位置にジャンプします。

動画の音声を切り換える

1 動画再生中にサブメニューを押し、▲·▼で「音声言語」を選んで決定を押す

2 ▲·▼で言語の設定を選び、決定を押す

動画の字幕を切り換える

1 動画再生中にサブメニューを押し、▲·▼で「字幕」を選んで決定を押す

2 ▲·▼で設定を選び、決定を押す

動画の画面サイズを切り換える

1 動画再生中にサブメニューを押し、▲·▼で「ズーム」を選んで決定を押す

2 ▲·▼で「フル」、「元のサイズ」または「フィット」から選び、決定を押す

動画の再生方法を設定する

- 動画を繰り返して再生することができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 動画再生中にサブメニューを押し、▲·▼で「リピートモード」を選んで決定を押す

2 ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **リピート**
  フォルダ内にあるすべての動画の連続再生を繰り返します。
- **一回**
  フォルダ内にある動画の連続再生をおこないます。繰り返し再生はしません。
- **1コンテンツリピート**
  再生中の動画の再生を繰り返します。

時間を指定して再生する(タイムサーチ)

1 動画再生中にサブメニューを押し、▲·▼で「時間選択プレイ」を選んで決定を押す

- 画面上に時間選択画面が表示されます。

2 ▲·▼·◀·▶と決定で時間を指定する

3 「再生」を選んで決定を押す

- 指定した時間から再生が始まります。

動画ファイルの情報を見る

1 動画再生中にサブメニューを押し、▲·▼で「情報」を選んで決定を押す

- 再生中のファイルの情報が表示されます。

プレイリストを見る

1 動画再生中にサブメニューを押し、▲·▼で「プレイリスト」を選んで決定を押す

- 動画ファイルのプレイリストが表示されます。

画面を非表示にする

1 動画再生中にサブメニューを押し、▲·▼で「消画」を選んで決定を押す

- 画面が消えても、音声は再生されたままになります。

音楽を再生する

- USB機器、ネットワークメディアサーバーに保存されている音楽を本機で視聴できます。
- 機器の接続や設定などの準備については、製品同梱の取扱説明書「USB機器を接続する」20、「ホームネットワークについて」30をご覧ください。
- 本機で再生できる音楽のフォーマットについては、「本機で再生できるファイルのフォーマット」≫をご覧ください。

ご注意

- **再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。**
- **無線LANをご使用の場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。**

おしらせ

- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- USB機器で記録されたコンテンツの場合、手順*4*で選択した音楽ファイルを先頭にリスト内の音楽ファイルの連続再生になります。
- 再生しているコンテンツによっては利用できない機能がある場合があります。

音楽再生の操作

● 記録メディアを接続してメディアプレーヤーの起動確認画面が表示された場合は、▲▼で「メディアプレーヤー」を選んで決定を押し、手順4から操作します。

1 アプリを押し、▲▼◀▶と決定で「メディアプレーヤー」を選ぶ

2 ◀▶で「音楽」を選び、決定を押す

3 再生機器を▲▼◀▶で選び、決定を押す

4 ▲▼◀▶と決定で再生する音楽ファイルを選ぶ

● フォルダを選ぶと、そのフォルダ内のファイルが表示されます。

ファイルを並び替える

● ▲▼◀▶で「並び替え順」にカーソルを合わせて決定を押すと、並び替え方法のプルダウンが表示されます。▲▼で並び替える方法を選択して決定を押すと、ファイルを並び替えることができます。

プレイリストを作成する

● サブメニューを押し、▲▼で「プレイリストを作成する」を選んで決定を押します。

プレイリストに追加する音楽を選択後サブメニューを押すと、選択された音楽の再生が開始されます。

表示の形式を切り換える

● サブメニューを押し、▲▼で現在の表示形式に応じて「リスト」か「グリッド」を選んで決定を押すと、アイコン表示からリスト表示に、あるいはリスト表示からアイコン表示に切り換わります。

ファイルを検索する

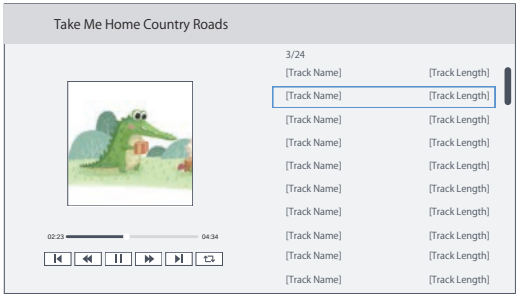
● 「検索」を選んで決定を押すと、文字入力画面が表示され、ファイル名を検索することができます。

動画/音楽/写真を切り換える

- ▲·▼·◀·▶で「フィルター」にカーソルを合わせて決定を押すと、ファイル形式のプルダウンが表示されます。
  ▲·▼でファイル形式を選択して決定を押すと、動画/音楽/写真/すべてのメディアを切り換えることができます。

音楽再生時にできるリモコン操作

- 音楽再生中には再生コントロール画面と曲名リストが表示されます。▲·▼·◀·▶でカーソルを移動し、決定を押すと音楽ファイルを操作できます。



アイコン	内　容
⏸	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
⏩	早送り再生をします（押すたびに速さが変わります）。
⏪	早戻し再生をします（押すたびに速さが変わります）。
⏭	次の曲の先頭にスキップして再生します。
⏮	一つ前の曲の先頭にスキップして再生します。
🔁	繰り返し再生の設定を変更します。押すごとに、繰り返しなし→現在の曲を繰り返し再生→シャッフル再生→フォルダ内の曲を繰り返し再生→…の順で設定が切り換わります。

- 再生時間のコントロールバーにカーソルを合わせ、◀·▶で再生位置を選ぶと選択した再生位置にジャンプします。

歌詞を表示する

1 再生中にサブメニューを押し、▲·▼で「歌詞表示」を選んで決定を押す

- 決定を押すごとに歌詞表示のオン/オフが切り換わります。

歌詞のデコードを変更する

1 再生中にサブメニューを押し、▲·▼で「歌詞デコード」を選んで決定を押す

- 決定を押すごとに歌詞デコードのオン/オフが切り換わります。

音楽ファイルの情報を見る

1 再生中にサブメニューを押し、▲·▼で「情報」を選んで決定を押す

- 再生中のファイルの情報が表示されます。

プレイリストを見る

1 再生中にサブメニューを押し、▲·▼で「プレイリスト」を選んで決定を押す

- 音楽ファイルのプレイリストが表示されます。

画面を非表示にする

1 再生中にサブメニューを押し、▲·▼で「消画」を選んで決定を押す

- 画面が消えても、音声は再生されたままになります。

写真を再生する

- USB機器、ネットワークメディアサーバーに保存されている写真を本機で見ることができます。
- 機器の接続や設定などの準備については、製品同梱の取扱説明書「USB機器を接続する」20、「ホームネットワークについて」30をご覧ください。
- 本機で再生できる写真のフォーマットについては、「本機で再生できるファイルのフォーマット」≫をご覧ください。

ご注意

- **再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。**
- **無線LANをご使用の場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。**

お知らせ

- フォルダ内にサイズの大きい写真が複数ある場合や、サーバーからの転送速度が遅い場合、写真リストが表示されないことがあります。
- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- パソコンのアプリケーションソフトを使って加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。
- 再生しているコンテンツによっては利用できない機能がある場合があります。

写真再生の操作

● 記録メディアを接続してメディアプレーヤーの起動確認画面が表示された場合は、▲▼で「メディアプレーヤー」を選んで決定を押し、手順4から操作します。

1 アプリを押し、▲▼◀▶と決定で「メディアプレーヤー」を選ぶ

2 ◀▶で「写真」を選び、決定を押す

3 再生機器を▲▼◀▶で選び、決定を押す

4 ▲▼◀▶と決定で再生する写真を選ぶ

● フォルダを選ぶと、そのフォルダ内のファイルが表示されます。

ファイルを並び替える

● ▲▼◀▶で「並び替え順」にカーソルを合わせて決定を押すと、並び替え方法のプルダウンが表示されます。▲▼で並び替える方法を選択して決定を押すと、ファイルを並び替えることができます。

プレイリストを作成する

● サブメニューを押し、▲▼で「プレイリストを作成する」を選んで決定を押します。

プレイリストに追加する写真を選択後サブメニューを押すと、選択された写真のスライドショー再生が開始されます。

表示の形式を切り換える

● サブメニューを押し、▲▼で現在の表示形式に応じて「リスト」か「グリッド」を選んで決定を押すと、アイコン表示からリスト表示に、あるいはリスト表示からアイコン表示に切り換わります。

ファイルを検索する

- 「検索」を選んで 決定 を押すと、文字入力画面が表示され、ファイル名を検索することができます。

動画/音楽/写真を切り換える

- ▲▼◀▶で「フィルター」にカーソルを合わせて 決定 を押すと、ファイル形式のプルダウンが表示されます。

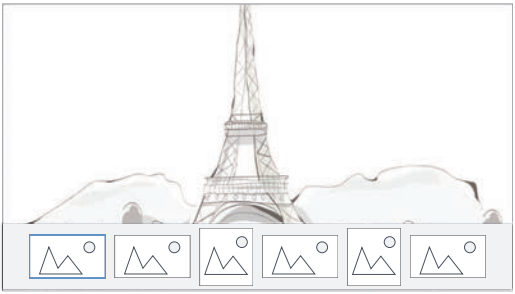
  ▲▼でファイル形式を選択して 決定 を押すと、動画/音楽/写真/すべてのメディアを切り換えることができます。

5 以下の操作で写真を見る

- ◀▶で前の写真や次の写真に切り換えられます。

サムネイル画面表示中の操作

- 写真再生中に決定を押すと、サムネイル画面が表示されます。



- サムネイル画面の表示中は、スライドショーは一時停止します。
- サムネイル画面を表示中に◀▶でカーソルを移動すると、選んだ写真を表示します。
- しばらく操作をしないでいると、サムネイル画面が消えます。

自動的に順番に再生する(スライドショー)

1 写真表示中にサブメニューを押し、▲▼で「スライドショー再生」を選んで決定を押す

スライドショーの設定を変更する

1 写真表示中にサブメニューを押し、▲▼で「スライドショー設定」を選んで決定を押す

2 ▲▼と決定で設定を変更する

- 写真が切り換わるときのアニメーション、間隔、リピートモードの設定をそれぞれ変更できます。

写真を回転する

1 写真表示中にサブメニューを押し、▲・▼で「回転」を選んで決定を押す

- 画面に回転操作のアイコンが表示されます。

2 ◀・▶で回転方向を選んで決定を押す

- 決定を押すたびに、写真が90°回転します。

写真の表示サイズを切り換える

1 写真表示中にサブメニューを押し、▲・▼で「ズーム」を選んで決定を押す

2 ▲・▼で「フィット」、「元のサイズ」、または倍率を選び、決定を押す

- 拡大表示中は、▲・▼・◀・▶で表示範囲を移動できます。戻るを押すと、元の表示に戻ります。

写真ファイルの情報を見る

1 写真表示中にサブメニューを押し、▲・▼で「情報」を選んで決定を押す

- 再生中のファイルの情報が表示されます。

プレイリストを見る

1 写真表示中にサブメニューを押し、▲・▼で「プレイリスト」を選んで決定を押す

- 写真ファイルのプレイリストが表示されます。

インターネットに接続するための設定をする

- お買い上げ時の設定でインターネットが利用できない場合やネットワークの設定をやり直す場合などに、必要に応じて設定します。

1 設定を押し、▲▼で「ネットワークとインターネット」を選び、決定を押す

2 以降の手順で設定する

LANの設定をする

- はじめてネットワークの設定をするときや、ネットワークの設定をし直すときなどに、設定します。

有線LANの設定をする

❶本機とルーターをLANケーブルで接続する

- 有線LANの接続については、製品同梱の取扱説明書の「接続のしかた(有線LANの場合)」をご覧ください。

❷接続テストをする場合は▲▼で「接続テスト」を選んで、決定を押す

- 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選びます。あとから接続テストをする場合は、「接続テスト」≫をご覧ください。
- 「接続できませんでした。」と表示された場合は、LANケーブルの接続を確認してから、再度接続テストを行ってください。

❸「インターネットに接続できました。」と表示されたら、決定を押す

- 有線LANの設定は終了です。
- 設定を変更する場合は、「プロキシ設定」、「IP設定」を行ってください。

無線LANの設定をする

- 有線LANでインターネットに接続しているときは、無線LANでの接続はできません。

❶「Wi-Fi」が有効になっているのを確認する

- 無効の場合は決定を押して有効にしてください。
- 本機が使用可能な無線LANアクセスポイントを検出します。

❷表示された接続可能なアクセスポイントから、本機の接続先を▲▼で選び、決定を押す

- 接続先が表示されていない場合は、「すべて表示」を選んでください。

❸❷で選択した無線LANアクセスポイントのパスワードを入力する

❹接続テストをする場合は▲▼で「接続テスト」を選んで、決定を押す

- 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選びます。あとから接続テストをする場合は、「接続テスト」≫をご覧ください。
- 「接続できませんでした。」と表示された場合は、無線LANの設定を確認してから、再度接続テストを行ってください。

❺「インターネットに接続できました。」と表示されたら、決定を押す

- 無線LANの設定は終了です。
- 設定を変更する場合は、「プロキシ設定」、「IP設定」を行ってください。

無線LANから有線LANに切り換えるときは

- 無線LAN接続を使用中に、有線LAN接続に切り換えるときは、本機をWi-Fiネットワークから切断してください。
  「Wi-Fi」を選んで決定を押すと、Wi-Fiは無効になります。

プロキシ設定

- インターネットとの接続時にプロキシ(代理)サーバーを経由する場合に設定します。
- ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。
- ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。

❶▲・▼で「手動」を選び、決定を押す

- プロバイダーからの指定に従い、サーバー名やポート番号を設定してください。

IP設定

- 本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

※「IPアドレス」を「DHCP」に設定した場合は、IPアドレスは自動的に設定されます。

※「IPアドレス」を自分で設定する場合は「静的」を選択して、画面の指示に従って設定してください。

❶IPアドレスを自動取得できる場合は、▲・▼で「DHCP」を選び、決定を押す

ネットワーク情報

1 設定を押し、▲・▼と決定で「詳細設定」⇨「ヘルプ」の順に進む

2 ▲・▼で「ネットワーク情報」を選び、決定を押す

- 現在利用しているネットワーク情報が表示されます。
- ネットワーク接続の設定によっては、表示されない項目もあります。

接続テスト

1 設定を押し、▲·▼で「ネットワークとインターネット」を選んで決定を押す

2 ▲·▼で「接続テスト」を選び、決定を押す

- 「 ネットワーク設定」が正しいかテストします。テストが終わると接続テスト結果画面が表示されます。「インターネットに接続できました」と表示された場合は、「設定完了」を選んで決定を押します。
- 正しく接続できなかった場合は、「再テスト」を選んで決定を押します。再度接続テストを行い、接続テスト結果画面が表示されます。再テストを行っても接続できない場合は、「ネットワークとインターネット」から設定をやり直してください。

ネットワーク設定の接続テスト結果について

● 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。

①LAN端子の接続状態と「ネットワーク設定」を確認する

- 正しく接続・設定されているかご確認ください。設定内容については、ルーターの設定内容に関係することがありますのでご注意ください(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。

②ネットワーク環境の接続確認

- 以下の手順で本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。

❶パソコンのインターネット・ブラウザを起動する

❷URL欄に「https://www.regza.com/regza/ 」を入力し、ページが表示されることを確認する

- ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します(詳しくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。この場合、本機の問題ではない可能性があります。

● 接続テストの結果で「ＩＰｖ６接続のご利用について」が表示された場合

- 「アドレス情報(ＩＰｖ６)」の設定内容が、ご使用のネットワーク環境に合っているかをご確認ください。
- ルーターのIPv6設定が有効かご確認ください。

  上記を確認してもIPv6の接続ができない場合は、IPv6をご利用いただける契約か、プロバイダーにご確認ください。

クラウドサービスの情報を初期化する

● クラウドサービスの設定内容や、動画配信サービスのログイン情報などを削除します。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「ネットワークとインターネット」⇨「クラウドサービス関連情報の初期化」の順に進む

2 ▲·▼で「はい」を選び、決定を押す

● クラウドサービスの情報が初期化され、テレビの電源が「待機」になったあと、ふたたび「入」になります。

お知らせ

● 無線LANアクセスポイントに本機以外が無線LAN接続されていると、ネットワーク経由で映像を取得しているときに、その映像が止まったりノイズが出たりすることがあります。
● 無線LANアクセスポイントには、主に52以上のチャンネルで、気象レーダーなどとの干渉を検知してチャンネルを自動的に変更する機能が搭載されています。この機能によって、ネットワーク経由での映像再生が中断される場合があります。
● すべての無線LANアクセスポイントとの接続を保証するものではありません。
● 本機の設置環境によっては、無線LANを使用できないことがあります。
● 無線LANアクセスポイントのソフトウェアは最新バージョンで使用することをおすすめします。ソフトウェアのバージョンとアップデートについては、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

お願い

- 無線LANアクセスポイントが複数ある場合、本機と接続する無線LANアクセスポイントのチャンネルは、他の無線LANアクセスポイントと異なるチャンネルに設定してください。
- 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントに無線LAN接続する場合、その無線LANアクセスポイントと本機は5GHz帯を使用する設定にしてください。
- 52以上のチャンネルでSSIDが公開されていない(ステルス設定された)無線LANアクセスポイントに接続できません。無線LANアクセスポイントの設定を変更してください。
- 同時に複数のチャンネル(デュアルチャンネルあるいはクアッドチャンネル、40MHzあるいは80MHzの使用帯域またはチャンネル幅)で通信できる無線LANアクセスポイントと接続する場合は、事前に無線LANアクセスポイントで有効にすることをお勧めします。
- 無線LANで接続していて、ネットワーク経由で映像を取得しているとき、映像が止まったりノイズが出たりする場合は、無線LANアクセスポイントと本機の設定を見直してから、無線LANアクセスポイントと本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと再度電源を入れます。それでも解消されない場合は、有線LANで接続してください。
- 本機の近くに無線LANアクセスポイントが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、あるいは接続に失敗することがあります。このような現象が発生した場合、本機と無線LANアクセスポイントを離してお試しください。また、無線LANアクセスポイントの送信強度を下げることで改善できる場合もあります。

ネットワークに関するお知らせ・用語

お知らせ

■ アドレス情報(IPv4)のIPアドレスについて

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能(IPアドレスを自動的に割り当てる機能)がONのときは、「IP設定」を「DHCP」、「静的」のどちらでも設定できます(通常は、「DHCP」に設定します。「静的」の方法は「IP設定」≫をご覧ください)。
- ルーターのDHCP機能がOFFのときは、「静的」にして、プロバイダーから指定されたアドレスを手動で設定します。
- 「静的」を選択して手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定します。設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認します(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。

■ アドレス情報(IPv4)のDNSアドレスについて

- DNSアドレスを指定して設定するには、「IP設定」で「静的」を」選択して、DNSアドレスを含め、ネットワークの設定項目の全てについて画面の指示に従って設定してください。

■ PPPoE設定について

- 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください(設定にはパソコンが必要です)。

用語

■ アドレス(ＩＰｖ４)

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大3ケタの数字4組を点で区切った形式で表現されます(例：111.112.xxx.xxx)。

■ アドレス(ＩＰｖ6)

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大4ケタの数字またはa～fまでのアルファベット8組を「：」で区切った形式で表現されます(例：1111:ABCD:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx)。

■ DNSサーバー

ドメイン名(xxx.co.jpなど)をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定されたDNSサーバーのアドレスを「プライマリアドレス」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリアドレス」に入力します。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■ サブネットマスク

ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです(例：255.255.xxx.xxx)。

■ デフォルトゲートウェイ

ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IPアドレスで特定されています。

■ プロキシ

ご契約のプロバイダーから指定があるときだけ設定してください(例：proxy.xxx.xxx.xxx)。

この設定をすると、HTTPプロキシサーバーからファイアウォール(外部からの不正侵入防護壁)を越えて通信先のサーバーにデータを送ることができます。

MACアドレス

ネットワーク上に接続されている機器の識別のために、機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ

クラウドサービスとネットワークサービスについて

- ネットワークサービスとはネットワーク機能を使ったサービスです。
- クラウドサービスはネットワークサービスの一部で、当社が提供するサービスです。ネットワークを使って、録画した番組やこれから放送される番組から、見たい番組やおすすめの番組を検索できます。また、タレントや好みのテーマに関する番組をおまかせ録画できます。録画した番組は、シーン情報を使って見たいシーンだけを楽しむこともできます。

※サービスの概要などについては、ホームページ(https://www.regza.com/regza/)をご覧ください。

クラウドサービスやネットワークサービスに必要な準備

- クラウドサービスやネットワークサービスを楽しむ前に、以下の接続と設定が必要です。

必要な接続・設定
• インターネットを利用するための接続をする。 製品同梱の取扱説明書の「インターネットを利用するための接続をする」21 をご覧ください。 • インターネットを利用するための設定≫をする。 • 「レグザプライバシーポリシー」≫を「同意する」に設定する。 • インターネットの利用制限≫を設定する。

レグザプライバシー設定を変更する

● クラウドサービスやネットワークサービスを使用するには、レグザプライバシーポリシーに同意する必要があります。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「デバイス設定」⇨「端末情報」⇨「法的情報」⇨「レグザプライバシー設定」の順に進む

2 ▲·▼で「同意する」を選び、決定を押す

お知らせ

■レグザプライバシーポリシーについて

- レグザプライバシーポリシーを「同意する」に設定すると、本機の操作情報(チャンネル切換、入力切換、録画予約、視聴予約、再生履歴、番組複製履歴、番組編集履歴など)、動作状態の履歴情報、本機に接続されたUSBハードディスク等の識別情報や動作状態の履歴情報などや、ご登録いただいた都道府県、性別等の情報が当社または当社の委託先のサーバーで記録されますが、これらの情報から当社が利用者個人を特定することはありません。
- クラウドサービスなどのネットワークサービス(以下「本サービス」と表します)のご利用には、住所·氏名·連絡先等の個人情報の入力は不要です(ただし、動画配信サービスによっては、契約が必要な場合があります。ご利用の動画配信サービスなどにご相談ください)。
- サーバーが収集した情報は、本サービスの提供以外に、品質改善や統計情報としてマーケティングなどの目的で利用することがあり、この目的の範囲内で第三者に提供する場合があります。ただし、お客様が特定のキャンペーン提供会社に対して、本機の利用履歴やお客様のプロフィール情報(ご登録いただいた都道府県、性別等の情報)を提供することに同意された場合は、当社はその情報をお客様が同意したキャンペーン提供会社へ提供する場合があります。
- 本サービスは、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

- 本サービス中で、本サービス以外の第三者によって提供されるサービスをご利用いただく場合、各サービス提供者の利用規約およびその他規約が適用されます。当社は、本サービス以外の第三者によって提供されるサービスおよびこれに関連する事項について、一切の責任を負いません。
- レグザプライバシーポリシーを「同意しない」に設定を変更した場合、それまでにサーバーが収集した本機や本機に接続された機器に関する情報は、サーバーから消去されます。なお、お客様のプロフィール情報（ご登録いただいた都道府県、性別等の情報）は、本機の「すべての初期化」を行って次にネットワークにつないだときに、サーバーから消去されます。
- クラウドサービスの内容やサーバーが収集した情報の削除方法については、ホームページ（https://www.regza.com/regza/）をご覧ください。

お知らせ

- 当社および他社が提供するネットワークサービスの名称およびサービス内容の一部または全部は、予告なく変更・終了する場合があります。
- ネットワークサービスによっては、事前に利用者登録などが必要なサービスがあります。
- ご利用の回線業者やプロバイダーが採用している接続方式・契約約款によっては、サービスを利用できない場合があります。
- 他社が提供するサービスやコンテンツに関して当社は一切の責任を負いません。
- ネットワークサービスの内容は録画することはできません。
- レグザナビなどのボタンを押してもクラウドサービスの画面が表示されない場合は、終了を2秒以上押してから、レグザナビを押します。

  終了を2秒以上押すと、クラウドサービス終了後再読込みが行われ、レグザナビを押すと再読込み後の画面が表示されます。

レグザナビを使う

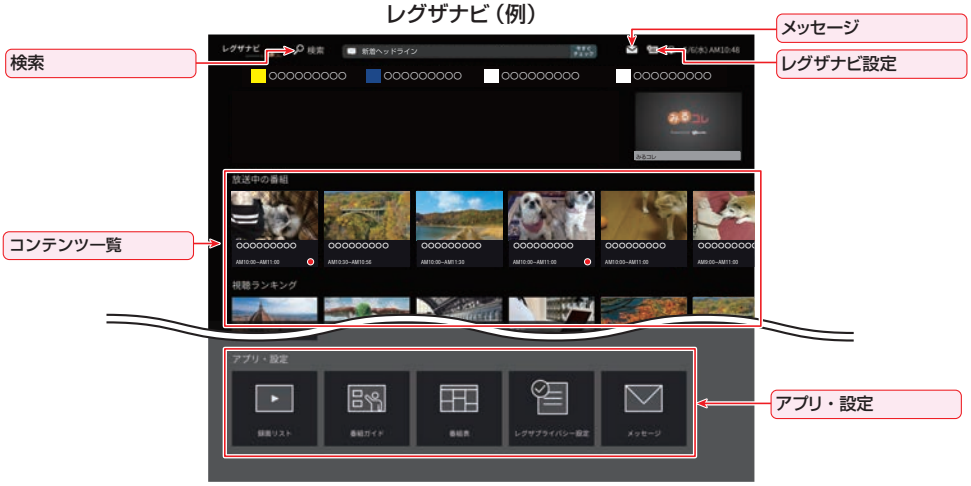
レグザナビについて

- レグザナビを使うと、録画した番組や放送予定の番組などから人気の番組やおすすめの番組を表示し、視聴や予約をすることができます。
- レグザナビを使用するには、インターネットへの接続とレグザプライバシーポリシーの同意が必要です。
- 本機能または本機能の一部は予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

1 レグザナビを押す

- レグザナビ画面が表示されます。

レグザナビ（例）



レグザナビ画面の見かた

検索

- 番組検索画面を表示します。
- 検索の方法は、「見たい録画番組を探して再生する」の手順*2*と同様です。

メッセージ

- メッセージの一覧を表示します。

レグザナビ設定

- レグザナビの設定画面を表示します。

コンテンツ

- カテゴリーに沿ったコンテンツが表示されます。

アプリ・設定

- 録画リスト/番組ガイドなど、レグザの各機能を呼び出すアイコンが表示されます。

2 ▲·▼·◀·▶で項目を選び、決定を押す

- 未来番組を選んだ場合、番組詳細画面が表示されます。
- 録画番組を選ぶと、レグザナビを終了して選択したコンテンツの再生画面に切り換わります

カテゴリーを編集する

● 表示するカテゴリーを追加することができます。

カテゴリーを追加/削除する

❶▲・▼で「カテゴリー設定」を選び、決定を押す

● カテゴリー設定画面が表示されます。

❷▲・▼でカテゴリーを選び、決定を押す

● 決定を押すたびに☑と□が交互に切り換わります。チェックの入ったカテゴリーがレグザナビの画面で表示されます。

❸戻るで終了する

動画配信サービスを楽しむ

● さまざまな動画配信サービスを楽しむことができます。

※お買い上げの時期によっては、サービスをご利用いただくにはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。

※サービスは、予告なく変更や終了する場合があります。

※サービスによっては、ＢＳ/ＣＳ　４Ｋ放送を録画中は、視聴できない場合があります。

動画配信サービスの利用に必要な準備

● インターネットへの接続と設定が必要です。

● 動画配信サービスの利用者登録が必要な場合があります。

動画配信サービスを見る

1 ABEMA、hulu、U-NEXT、YouTube、prime video、My.Choice、Net.TV **を押す**

● 動画配信サービスの画面に切り換わります。

※ ホーム や アプリ を押して表示される画面から選択して起動することもできます。

● おもな操作は動画配信サービスの画面に従います。

● 「すべての初期化」≫を実行すると、ログイン設定も削除されます。

サービス起動中の制限

● 画面サイズの切換はできません。

サービス起動中に予約開始の時刻になった場合

● 視聴予約の時刻になると、動画配信サービスを終了して予約したチャンネルが選局されます。

お知らせ

● 「レグザナビ画面」からも、一部のネット動画を視聴できます。

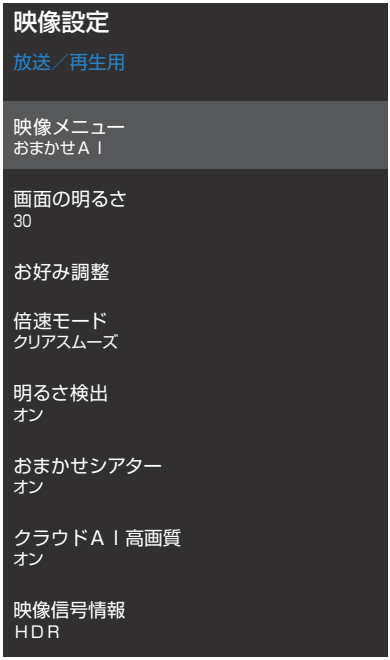
● 動画配信サービスの中には、「放送視聴制限設定」の設定に従って、視聴制限を行うサービスがあります。

● My.Choice ボタンの機能はソフトウェアのバージョンアップで追加を予定しています。

お好みの映像メニューを選ぶ

- 見る映像の種類に応じて、お好みの映像メニューを選ぶことができます。
- 映像メニューは、放送/再生や各入力端子など、テレビ画面上に表示される映像、信号特性にあわせた画質を「放送/再生用」「HDMI1用」～「HDMI 4用」「ビデオ用」「Androidアプリ用」として、それぞれ記憶させることができます。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「映像設定」⇨「映像メニュー」の順に進む



2 お好みの映像メニューを▲·▼で選び、決定を押す

- 選択できる映像メニューは、視聴している映像の種類によって異なり、選択できない映像メニューは表示されません。

映像メニュー	内　容
おまかせＡＩ/おまかせ	映像の内容と周囲の明るさに合わせて、常に見やすい画質に自動調整されます(「Androidアプリ用」画質で動作中は「おまかせ」になります)。
あざやか	日中の明るいリビングで、迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。
標準	室内で落ち着いた雰囲気で楽しむときに適した設定です(日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です)。
放送プロ	テレビ番組やライブ映像を見るのに適しています(「Androidアプリ用」画質以外のときに選択できます)。
映画プロ/映画	映画を見るときに適した設定です(暖か味のある色あいが再現されます)。 (「Androidアプリ用」画質で動作中は「映画」になります。)
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です(HDMI入力、ビデオ入力のときに選択できます)。
モニター	パソコンの画面を表示するのに適した設定です(HDMI入力のときに選択できます)。
Dolby Vision IQ、Dolby Vision Dark	Dolby Visionに対応した高画質な映像を見るときに適した設定です(HDMI入力、ネットサービスのときに選択できます)。

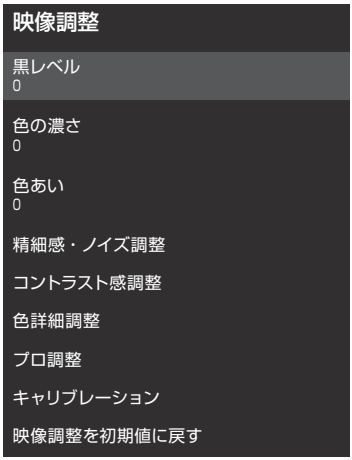
お好みの映像に調整する

1 設定を押し、▲・▼と決定で「映像設定」⇨「お好み調整」の順に進む



- 「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」、「おまかせ」以外のときは、「映像調整」に進みます。

2 調整する項目を▲・▼で選び、決定を押す



※ 映像メニューが「おまかせＡＩ」、「おまかせ」以外のときは、「お好み調整を初期値に戻す」は「映像調整を初期値に戻す」になります。

3 以降の手順でお好みの映像に調整する

- 他の項目を調整するときは、手順2から繰り返します（「黒レベル」、「色の濃さ」、「色あい」の調整時は、▲・▼を押せば調整項目を切り換えることができます）。

「お好み調整」や「映像調整」をした場合

- 映像を調整すると、そのときに選択していた「映像メニュー」に調整状態が記憶されます。

  調整状態は、放送/再生や各入力端子、写真再生などの区分ごとに記憶されます。たとえば、「放送/再生用」画質の「おまかせＡＩ」と「HDMI1用」画質の「おまかせＡＩ」は、異なる調整をして記憶させることができます。

黒レベル

- 映像の暗い部分（黒）の再現性（明るさ）を調整します。

  ❶◀▶でお好みの明るさに調整し、決定を押す

  - 「−50」（暗）～「＋50」（明）の範囲で調整できます。

色の濃さ

- 映像の色の濃さを調整します。

  ❶◀▶でお好みの濃さに調整し、決定を押す

  - 「−50」（淡）～「＋50」（濃）の範囲で調整できます。

色あい

- 肌の色に注目して、色あいを調整します。

  ❶◀▶でお好みの色あいに調整し、決定を押す

  - 「−50」（紫）～「＋50」（緑）の範囲で調整できます。

精細感・ノイズ調整

● 「精細感・ノイズ調整」を選択して決定を押すと、精細感・ノイズ調整のメニューが表示されます。

❶調整する項目を▲・▼で選び、決定を押す

● 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。



❷以降の手順で調整する

● 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

シャープネス

● 映像の鮮明さを調整します。

①◀・▶でお好みの映像に調整し、決定を押す

● 「−50」～「＋50」の範囲で調整できます。

レゾリューションプラス設定

● 緻密で精細感のある映像を表示します。
● 「レゾリューションプラス設定」を選択して決定を押すと、「レゾリューションプラス」、「ゲイン調整」の選択メニューが表示されます。それぞれ以下の要領で設定します。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

レゾリューションプラス

● レゾリューションプラスの機能を使うかどうかを設定します。「オフ」に設定した場合は、「ゲイン調整」は機能しません。
※ レゾリューションプラスと同じ高画質処理機能を持った機器を接続した場合、画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、本機のレゾリューションプラス、または、接続した機器の高画質処理機能をオフにしてください。

①▲・▼で「レゾリューションプラス」を選び、決定を押す

②▲・▼で以下から選び、決定を押す

- **オン**‥映像の種類に応じて自動的にレゾリューションプラスの機能が働きます。
- **オフ**‥この機能は働きません。

ゲイン調整

● レゾリューションプラスの効果(強さ)を調整します。

①▲・▼で「ゲイン調整」を選び、決定を押す

②◀・▶で調整し、決定を押す

映像メニュー	調整レベル	
おまかせＡＩ	−5 ～ +5	数値が大きくなるほど、映像の精細感が強調されます。
おまかせＡＩ以外	0 ～ 10	

MPEG（エムペグ）NR

● デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像のブロックノイズ（モザイク状のノイズ）と、モスキートノイズ（輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ）を減らす機能です。

※「映像メニュー」が「ゲーム」「モニター」以外のときに設定できます。

①▲・▼で以下から選び、決定を押す

「Androidアプリ用」画質以外のとき

- **オート**……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **手動**……手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1)◀・▶で調整し、決定を押す

● 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。

「Androidアプリ用」画質で動作中

- **強、中、弱、オフ**

ダイナミックNR

● 映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。

※「映像メニュー」が「ゲーム」「モニター」以外のときに設定できます。

①▲・▼で以下から選び、決定を押す

「Androidアプリ用」画質以外のとき

- **オート**……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **手動**……手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1)◀・▶で調整し、決定を押す

● 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。

※ 通常は「オート」に設定してください。効果を強くすると残像が目立つ場合があります。

「Androidアプリ用」画質で動作中

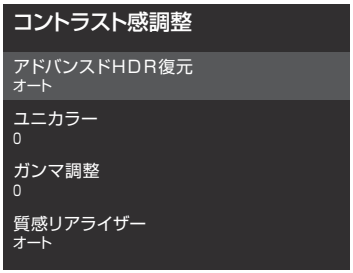
- **強、中、弱、オフ**

コントラスト感調整

● 「コントラスト感調整」を選択して決定を押すと、コントラスト感調整のメニューが表示されます。

❶調整する項目を▲·▼で選び、決定を押す

● 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。



❷以降の手順で調整する

● 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

アドバンスドHDR（ハイダイナミックレンジ）復元

● 明るさの領域を復元し、表現領域を拡大する機能です。

※映像信号によっては、選択できない場合があります。

①▲·▼でお好みの映像に調整し、決定を押す

- **オート**
  映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **モード1**
  明るさの領域を復元し、表現領域を拡大します。
- **モード2**
  スーパーホワイト領域以外の明るさの表現領域を拡大します。

HDRエンハンサー

● 暗い映像の明るい領域を復元し、表現領域を拡大する機能です。

①▲·▼でお好みの映像に調整し、決定を押す

- **オート**
  映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **オン**
  映像の明るい領域を復元し表現領域を拡大します。
- **オフ**
  この機能は働きません。

ユニカラー

● 映像のコントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。

①◀·▶でお好みの映像に調整し、決定を押す

● 「−50」～「+50」の範囲で調整できます（数値が大きくなるほど映像のコントラストが強くなります）。

ガンマ調整

● 映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。

①◀·▶で調整し、決定を押す

調整範囲	調整値が大きくなるほど画面全体が明るくなります。
−10～+10	

質感リアライザー

● 映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。

「Androidアプリ用」画質で動作中

①▲・▼で以下から選び、決定を押す

- 強、中、弱、オフ

「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」のとき

①◀・▶で調整し、決定を押す

● 「－５」～「＋５」の範囲で調整できます（数値が大きくなるほどメリハリが強調されます）。

● 「詳細質感リアライザー」を選んで決定を押すと、「詳細質感リアライザー」に切り換えることができます。

詳細質感リアライザー

⑴▲・▼で「明部調整」または「暗部調整」を選び、決定を押す

⑵◀・▶で調整し、決定を押す

項目	調整範囲	調整要領
明部調整	－５～＋５	映像の明るい部分の再現性に注目して調整します。
暗部調整		映像の暗い部分の再現性に注目して調整します。

「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」以外のとき

①▲・▼で以下から選び、決定を押す

- **オート** 映像の内容に応じて自動的に制御されます。
- **手動**…手動で調整します。
- **オフ**…この機能は働きません。

「手動」にしたとき

⑴▲・▼で「明部調整」または「暗部調整」を選び、決定を押す

⑵◀・▶で調整し、決定を押す

項目	調整範囲	調整要領
明部調整	０～１０	映像の明るい部分の再現性に注目して調整します。
暗部調整		映像の暗い部分の再現性に注目して調整します。

色詳細調整

● 「色詳細調整」を選択して決定を押すと、色詳細調整のメニューが表示されます。

❶調整する項目を▲·▼で選び、決定を押す

● 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

❷以降の手順で調整する

● 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

色温度

● 画面全体の色味を調整します。

「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」のとき

①◀·▶で調整し、決定を押す

● 「－５」～「＋５」の範囲で調整できます。
調整値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。

「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」以外のとき

①▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オート**..... 映像の内容に応じて自動的に制御されます。
- **D50**
- **D65**
- **低**
- **中**
- **高**

RGBゲイン

● 明るい部分の色温度を微調整します。

①▲・▼で「Rゲイン」(赤)、「Gゲイン」(緑)または「Bゲイン」(青)を選び、◀・▶で調整する

調整範囲	調整値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。
−30 〜+30	

カラーイメージコントロール

● 映像の色調を調整することができます。

①▲・▼で「色設定」を選び、決定を押す

②▲・▼で調整したい色を選び、決定を押す

● 「レッド」、「グリーン」、「ブルー」、「イエロー」、「シアン」、「マゼンタ」、「フレッシュトーン」から選択できます。

③▲・▼で「色あい」、「色の濃さ」または「明るさ」を選び、決定を押す

④◀・▶で調整する

● −10 〜+10の範囲で調整できます。

有機ELゲームダイレクト

● ゲームモードなどで映像の遅延量を極力少なくする機能です。ゲームなどで遅延量を優先したい場合にお使いください。

❶▲・▼で「オート」または「オフ」を選び、決定を押す

プロ調整

● 「プロ調整」を選択して決定を押すと、プロ調整のメニューが表示されます。

EOTFモード

● 入力映像のEOTF（Electro-Optical Transfer Function）を自動的に判別するほかにマニュアルで設定することができます。

①▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オート**
  入力映像信号から自動的に入力映像のEOTFを判別します。
- **SDR**
  EOTFをSDR（Standard Dynamic Range）に設定します。
- **ST　2084**
  EOTFをST 2084に設定します。
- **HLG**
  HLG（Hybrid Log-gamma）ITU-R BT 2100 HLGの規約に準じた画質設定になります。

色空間モード

● 入力映像の色空間を設定します。

①▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オート**
  入力映像信号から自動的に入力映像の色空間を判別します。
- **BT.709**
  色空間をITU-R BT.709に設定します。
- **BT.2020**
  色空間をITU-R BT.2020に設定します。

キャリブレーション

● 「キャリブレーション」を選択して決定を押すと、キャリブレーションのメニューが表示されます。

❶調整する項目を▲·▼で選び、決定を押す

❷以降の手順で調整する

● 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

ホワイトバランス

● 白い部分の色を調整します。

①▲·▼で「ホワイトバランス」を選び、決定を押す

②▲·▼で「2ポイント」または「20ポイント」を選び、決定を押す

③▲·▼で調整したい項目を選び、決定を押す

④◀·▶で調整する

「2ポイント」を選択している場合

● 以下の項目を、それぞれ−25 ～+25の範囲で調整できます。

- **Rオフセット**
- **Gオフセット**
- **Bオフセット**
- **Rゲイン**
- **Gゲイン**
- **Bゲイン**

「20ポイント」を選択している場合

● 以下の項目を、調整できます。

● 「レベル」は+5 ～+100、その他の項目は−25 ～+25の範囲で調整できます。

- **レベル**
- **レッド**
- **グリーン**
- **ブルー**

● ▲·▼で、調整する項目を切り換えられます。

ガンマ

①▲·▼で「ガンマ」を選び、決定を押す

②▲·▼で「入力レベル」または「ゲイン」を選び、決定を押す

③◀·▶で調整する

- 「入力レベル」は5% ～ 100%、「ゲイン」は－25 ～＋25の範囲で調整できます。
- ▲·▼で、調整する項目を切り換えられます。

その他の映像設定

- 「映像設定」のメニューに表示されている「明るさ」、「画面の明るさ」、「明るさ詳細設定」、「倍速モード」、「明るさ検出」、「おまかせシアター」、「クラウドＡＩ高画質」は、項目を選択してから以下の手順で設定します。

明るさ

- この調整項目は、「明るさ検出」が「オフ」に設定されているときに表示されます。
- お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。

❶◀▶でお好みの明るさに調整し、決定を押す

- 「０」～「１００」の範囲で調整できます（調整値が大きくなるほど画面が明るくなります）。

画面の明るさ

- この調整項目は、「明るさ検出」が「オン」で、「明るさ詳細設定」を設定していないときに表示されます。
- お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。

❶◀▶でお好みの明るさに調整し、決定を押す

- 「－15」～「+15」の範囲で調整できます（調整値が大きくなるほど画面が明るくなります）。
- 「詳細設定」を選んで決定を押すと、「明るさ詳細設定」に切り換えることができます。

お知らせ

■「画面の明るさ」と明るさセンサーについて

- 調整中に照明をつけるなど、周囲の明るさを変えた場合は、調整後に画面の明るさが変わらないことがあります。
- 明るさセンサーの近くにものを置いたり、ふさいだりすると、明るさセンサーが正しく動作しなくなることがあります。 明るさセンサーの位置は製品同梱の取扱説明書の「各部のなまえ」をご覧ください。

明るさ詳細設定

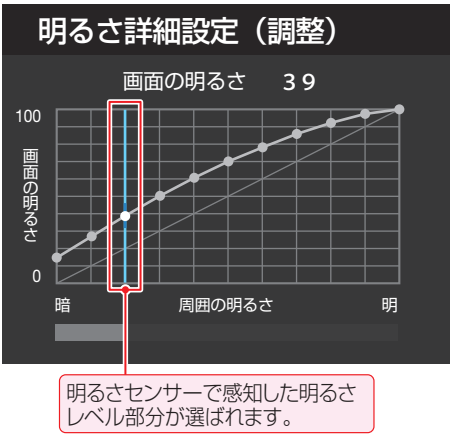
- この調整項目は、「明るさ検出」が「オン」で、「明るさ詳細設定」で明るさを設定しているときに表示されます。
- 明るさ検出機能によって自動調整される画面の明るさを調整することができます。

❶「調整」を選んで決定を押す

- 「基本設定」を選んで決定を押すと、「画面の明るさ」に切り換えることができます。

❷明るさを変えたいレベルを◀▶で選び、▲▼で明るさを調整する

- 必要に応じて異なるレベルの調整を繰り返します。



❸調整が終わったら、決定を押す

❹「設定完了」を選び、決定を押す

- 「調整前に戻す」を選ぶと、調整前のレベルに戻ります。
- 「初期値に戻す」を選ぶと、お買い上げ時の調整に戻ります。

倍速モード

● 「映像メニュー」に合わせて倍速処理をします。

※ 映像メニューが「ゲーム」、「モニター」のときは、設定できません。

❶ ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- **おまかせ**
  コンテンツにあわせ、倍速モードを設定します。
- **クリアスムーズ**
  映画やアニメが最もなめらかな動きで表示されます。
- **スムーズ**
  映画やアニメがなめらかな動きで表示されます。
- **フィルム**
  映画やアニメのオリジナルの動きを忠実に再現します。
- **シネマ**
  映画のオリジナルの動きを忠実に再現します。
- **オフ**
  補間映像の挿入は行わず、元の入力映像をそのまま表示します。

※ 「おまかせ」は、映像メニューが「おまかせＡＩ」のときのみ選択できます。

おまかせシアター

● 全暗環境になると、自動的に映像メニューが切り換わるように設定できます。

※「おまかせシアター」は、映像メニューで「おまかせＡＩ」を選んでいるときに働きます。

❶▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **ライブモード**
  全暗環境になると自動的に「映画プロ」または「放送プロ」に切り換わります。
- **シネマモード**
  全暗環境になると自動的に「映画プロ」に切り換わります。
- **オフ**
  この機能は働きません。

クラウドＡＩ高画質

● おまかせＡＩモード時に、コンテンツに合わせた最適な映像設定に移行する機能です。

❶▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オン**··この機能が働きます。
- **オフ**··この機能は働きません。

明るさ検出

● 明るさセンサーで検出した周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動で調整されます。

※「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」に設定されている場合は「オン」になり、設定を変えることはできません。

❶▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オン**‥明るさ検出機能が働きます。
- **オフ**‥この機能は働きません。

映像信号情報

● 映像信号が「HLG」、「HDR10」、「HDR10+」、「Dolby Vision」、「Dolby VisionIQ」の場合、映像の種類が表示されます。

※「Dolby VisionIQ」の場合、映像信号情報には「Dolby Vision」と表示されます。

お好み調整を初期値に戻す／映像調整を初期値に戻す

● 「お好み調整」、「映像調整」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「映像設定」⇨「お好み調整」⇨「お好み調整を初期値に戻す」の順に進む

● 「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」以外のときは、「映像調整」⇨「映像調整を初期値に戻す」に進みます。

2 ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

テレビの電源ランプを消灯する

● テレビの視聴中に、電源ランプの明かりが気になる場合に設定します。

※テレビの状態を知りたい場合は、「点灯」（お買い上げ時の設定）で使用することをおすすめします。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「詳細設定」⇨「電源LED表示設定」に進む

2 ▲·▼を押して「消灯」を選び、決定を押す

● 「消灯」に設定すると、本機の電源ランプが消灯します。次回電源を入れたときは、電源ランプが点灯し、そのあと消灯します。

お好みの音声メニューを選ぶ

- 見る番組の種類に応じて、お好みの音声メニューを選ぶことができます。
- 音声メニューは、放送/再生や各入力端子など、テレビのスピーカーから出力される音声を「放送/再生用」「HDMI1用」～「HDMI 4用」「ビデオ用」「Androidアプリ用」として、それぞれ記憶させることができます。
- サブメニューの「スピーカー出力切換」が「テレビスピーカー」以外のときは、「音声メニュー」は「ーー」と表示され、操作できません。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「音声設定」⇨「音声メニュー」の順に進む



2 お好みの音声メニューを▲·▼で選ぶ

音声メニュー	内　容
おまかせ	番組のジャンルに合わせて本機が音質を自動調整します。 放送を視聴するときに選択できます。
ダイナミック	音楽やドラマなどを楽しむときに適した設定です。
標準	ニュースや情報番組などを楽しむときに適した設定です。
クリア音声	人の声を強調して、声を聴きやすくします。
映画	映画を鑑賞するときに適した設定です。

● 外部入力を選んでいるときは、「おまかせ」を選択できません。

お好みの音声に調整する

1 設定を押し、▲·▼で「音声設定」を選んで決定を押す

2 ▲·▼で調整したい項目を選んで決定を押す

3 以下の手順でお好みの音声に調整する

音声を調整した場合

● 調整や設定をすると、そのときに選択していた「音声メニュー」に調整·設定状態が記憶されます。

調整·設定状態は、入力端子などの区分ごとに記憶されます。たとえば、「放送/再生用」音質の「ダイナミック」と「HDMI1用」音質の「ダイナミック」は、異なる調整をして記憶させることができます。

Dolby Atmos

● 上方向に広がりを持たせ、立体的な音にします。

❶▲·▼でお好みの設定を選び、決定を押す

- **有効**……Dolby Atmos信号に対応したコンテンツで、縦方向への広がりが出ます。
- **無効**……この機能は働きません。

サラウンド

- ステレオ音声に、広がりを持たせます。
- サブメニューの「スピーカー出力切換」が「テレビスピーカー」以外のときは、「サラウンド」は「ー－」と表示され、操作できません。
- クリア音声選択時は、「サラウンド」は「ー－」と表示され操作できません。

※音声多重放送の視聴時に、「主」または「副」を選んでいる場合≫は、効果が得られません。

「音声メニュー」が「おまかせ」のとき

❶▲·▼でお好みの設定を選び、決定を押す

- **おまかせ**……ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりが出ます。
- **オフ**……この機能は働きません。

「音声メニュー」が「おまかせ」以外のとき

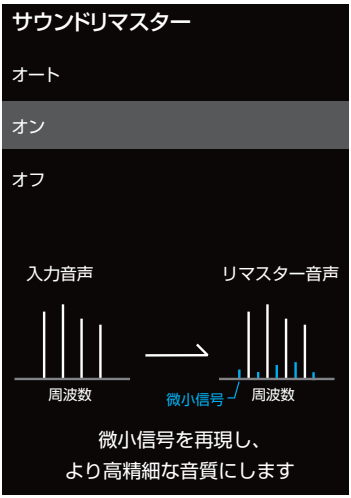
❶▲·▼でお好みの設定を選び、決定を押す

- **ライブ**……ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりが出ます。
- **シネマ**……ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりに合わせて、奥行き感も加わります。
- **オフ**……この機能は働きません。

サウンドリマスター

- 微小信号を再現し、より高精細な音質にします。
- サブメニューの「スピーカー出力切換」が「テレビスピーカー」以外のときは、「サウンドリマスター」は「ーー」と表示され、操作できません。

❶▲·▼でお好みの設定を選ぶ

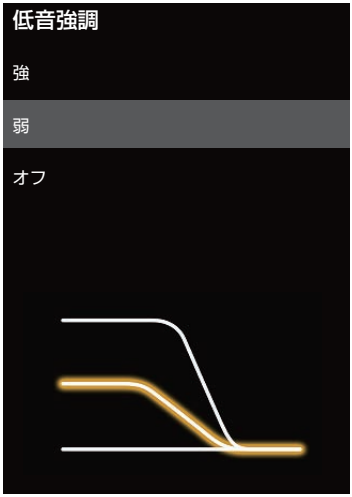


- **オート**……音声信号に合わせてオン/オフを切り換えます。
- **オン**……高精細な音質になります。
- **オフ**……この機能は働きません。

低音強調

- 低音の強さを調整します。
- サブメニューの「スピーカー出力切換」が「テレビスピーカー」、以外のときは、「低音強調」は「ーー」と表示され、操作できません。

❶▲·▼でお好みの設定を選ぶ



「音声メニュー」が「おまかせ」のとき

- **おまかせ**……番組のジャンルに合わせて低音を自動調整します。
- **オフ**…… この機能は働きません。

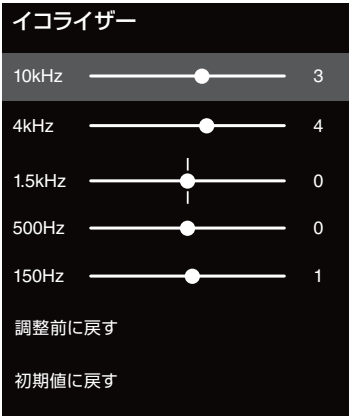
「音声メニュー」が「おまかせ」以外のとき

- **強／弱** ……低音をお好みの強さに調整します。
- **オフ**…… この機能は働きません。

イコライザー

- イコライザーで音質をより詳細に調整できます。
- サブメニューの「スピーカー出力切換」が「テレビスピーカー」以外のときは、「イコライザー」は「ーー」と表示され、操作できません。

❶調整する音域を▲・▼で選び、◀・▶でレベルを変える



- 調整前の音に戻すには、「調整前に戻す」を選んで決定を押します。
- お買い上げ時の調整に戻すには、「初期値に戻す」を選んで決定を押します。

オートボリューム

- コンテンツの違いなどで生じる音量差を調整して、音声を聴きやすくします。
- サブメニューの「スピーカー出力切換」が「テレビスピーカー」以外のときは、「オートボリューム」は「ーー」と表示され、操作できません。

❶▲・▼で以下から選び、決定を押す

- **オン**…… オートボリュームの機能が働きます。
- **オフ**…… この機能は働きません。

音声詳細設定

- テレビスピーカーやヘッドホン端子から出力する音声の詳細を設定できます。

❶調整する項目を▲・▼で選び、決定を押す

❷以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

左右バランス

- スピーカー、ヘッドホンの左右の音量バランスを調整します。
- サブメニューの「スピーカー出力切換」が「テレビスピーカー」以外のときは、「左右バランス」は「ーー」と表示され、操作できません。

❶◀・▶でお好みのバランスに調整し、決定を押す

Dolby DRC

- コンテンツの違いなどで生じる音量差を調整して、音声を聴きやすくします。
- Dolby DigitalやDolby AtmosなどのDolby Audioが入力された場合に機能します。(外部機器からの入力の場合には、Dolby Audioの音声信号が出力されるよう接続機器側で設定してください)。

❶▲・▼で以下から選び、決定を押す

- **強**…音声レベルの補正効果が強く働きます。
- **弱**…音声レベルの補正効果が弱く働きます。

デジタル音声出力

- 光デジタル音声出力端子またはHDMI入力2(eARC/ARC)端子から出力する音声信号の設定です。
- オーディオ機器が対応している音声信号については、オーディオ機器の取扱説明書でご確認ください。
- オーディオ機器から音声が出ない、または正常に再生できない場合は、「PCM」に設定してください。

❶▲·▼で信号を選び、決定を押す

- **オート**
  最適なフォーマットで出力します。
- **Dolby Audio変換**
  Dolby信号に変換して出力します。
- **デジタルスルー**
  AACやDolby信号がそのまま出力されます。
- **PCM**
  常にリニアPCM信号が出力されます。
  オーディオ機器がリニアPCM信号だけに対応している場合は、この設定にします。

ご注意

- 非対応の音声フォーマットを対応と通知してくるARC対応機器もあります。その場合、非対応音声フォーマットの再生中は音が出なくなります。
- 本機から出力されるデジタル音声は、「デジタル音声出力」を「ＰＣＭ」以外に設定するとコンテンツによってはオーディオ機器(AVアンプなど)で正常に再生できない形式があります。

お知らせ

- デジタル音声出力設定が「PCM」以外に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声（効果音など）が光デジタル音声出力端子またはHDMI入力2(eARC/ARC)端子から出力されないことがあります。
- 外部入力としてビデオ入力を選択しているときは、光デジタル音声出力端子およびHDMI入力2(eARC/ARC)端子からは設定にかかわらずリニアPCM信号が出力されます。
- HDMI入力の選択時に、HDMI入力端子が対応していない音声信号が入力された場合は、設定にかかわらず光デジタル音声出力端子またはHDMI入力2(eARC/ARC)端子から信号は出力されません（HDMI入力端子が対応している音声信号については、製品同梱の取扱説明書の「本機の入出力対応信号」をご覧ください）。

デジタル音声出力タイミング

- 光デジタル音声出力端子とHDMI入力2(eARC/ARC)端子から出力するデジタル音声信号のタイミングを設定することができます。

❶◀▶でお好みのタイミングに調整し、決定を押す

- 数値が小さくなるほど、音声を出力するタイミングが早くなります。

お知らせ

- 映像の遅延が小さい場合、設定を変えても音声のタイミングは変わりません。

ヘッドホン出力設定

● ヘッドホン端子の設定をします。

❶▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **ヘッドホンのみ**
  ヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからの音が消え、ヘッドホンから音が聞こえます。
- **ヘッドホンとスピーカー**
  ヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーとヘッドホンの両方から音が聞こえます。
  「ヘッドホンとスピーカー」を選択しているときは、音量調整はヘッドホンの音量を調節します。

お知らせ

■ヘッドホン端子について

● ヘッドホン端子では、「左右バランス」と音量の調整以外の音声調整の効果は得られません。
ヘッドホン出力設定で「ヘッドホンとスピーカー」を選択した場合は、「テレビスピーカー」のみ音声調整の効果を反映します。

テレビ設置設定

● 本機の設置状況に合わせた音質に設定します。

● サブメニューの「スピーカー出力切替」が「テレビスピーカー」以外の場合や、「レグザサウンドイコライザー設定」が無効のときは、「テレビ設置設定」は「ーー」と表示され、操作できません。

❶▲·▼で「スタンド」または「壁掛け」を選ぶ

レグザサウンドイコライザー設定

● 高精度な補正により、本機に最適な音質にします。

❶決定を押して有効/無効を切り換える

- **有効**……高精度な補正をします。
- **無効**……補正をしません。

アンテナを調整する

電波の強さ(信号強度)を確認する

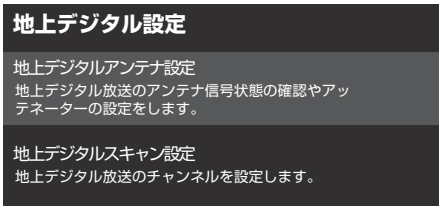
- テレビが全く映らない、または映像が乱れるなどの場合は、以下の手順でアンテナレベルを確認します。

お知らせ

- アンテナレベルの信号強度の数値は、受信入力電力を換算したものです。
- アンテナレベルの信号品質の数値は、受信C/Nを換算したものです(「受信C/N」とは放送電波と雑音電波の比を表すもので、電波の品質を知るときの目安となります)。

地上デジタル用アンテナの場合

1 設定を押し、▲·▼と決定で「放送受信設定」⇨「地上デジタル設定」⇨「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む

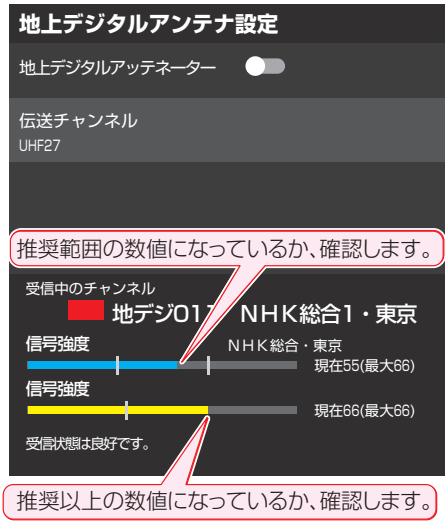


2 ▲·▼で「伝送チャンネル」を選び、決定を押す

3 ▲·▼でチャンネルを選び、決定を押す

- お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選びます(お買い上げの販売店などにお聞きください)。
- 信号強度が推奨範囲(信号強度グラフ上の｜｜の範囲)内になっているか、信号品質が推奨の数値(信号品質グラフの｜の位置)以上になっているかを確認します。

※ 推奨範囲内の数値であっても受信状態によっては映像が乱れる場合があります。



BS・110度CS用アンテナの場合

1 設定を押し、▲·▼と決定で「放送受信設定」⇨「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む

2 以下の手順で確認する信号を選ぶ

❶▲·▼と決定で「受信チャンネル」を選び、表示される画面でBSまたはCS,およびチャンネルを選ぶ

- 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。

❷▲·▼と決定で「トランスポンダ」を選び、表示される画面でトランスポンダを選ぶ

❸▲·▼と決定で「衛星周波数」を選び、表示される画面で衛星周波数を入力する

- 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。

※ 推奨範囲内の数値であっても受信状態によっては映像が乱れる場合があります。

BS・110度CS 4K放送用アンテナの場合

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「BS/CS 4K設定」⇨「BS/CS 4Kアンテナ設定」の順に進む

2 以下の手順で確認する信号を選ぶ

❶▲·▼と 決定 で「受信チャンネル」を選び、表示される画面でBSまたはCS,およびチャンネルを選ぶ

- 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。

❷▲·▼と 決定 で「トランスポンダ」を選び、表示される画面でトランスポンダを選ぶ

❸▲·▼と 決定 で「衛星周波数」を選び、表示される画面で右旋/左旋および衛星周波数を入力する

- 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。

※ 推奨範囲内の数値であっても受信状態によっては映像が乱れる場合があります。

BS・110度CS 4K放送の受信環境を確認したいとき

- 現在の受信環境でBS/CS 4K放送が視聴できるか確認できます。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「BS/CS 4K設定」⇨「BS/CS 4K受信環境確認」の順に進む

アンテナを調整する

- 衛星を使用していて、アンテナレベルが不足している場合は、「アンテナレベル」の画面を確認しながらアンテナの調整をします。

※高所での作業は危険です。アンテナの調整については、販売店にご相談ください。

1 アンテナをゆっくり動かして、アンテナレベルの数値が最大となるように調整する

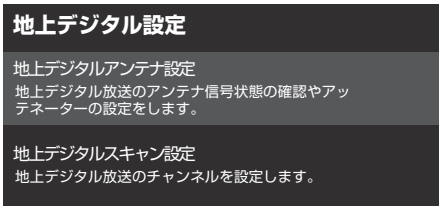
- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認します。

2 アンテナを固定して、決定を押す

地上デジタルアッテネーター設定を変更する

- 信号強度が高すぎて受信障害が発生している場合は、「地上デジタルアッテネーター設定」を有効にします。
- お買い上げ時は、無効に設定されています。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「放送受信設定」⇨「地上デジタル設定」⇨「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む



2 ▲·▼で「地上デジタルアッテネーター」を選ぶ

3 決定を押して、有効または無効を選ぶ

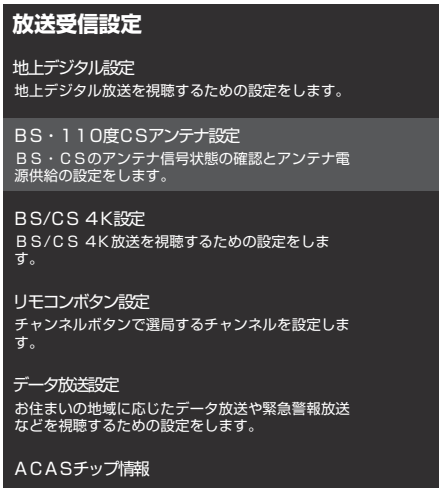
- 決定を押すごとに、有効と無効が交互に切り換わります。

※ 有効または無効に切り換えたとき、画面にブロックノイズなどの映像乱れや音声ノイズが発生することがあります。

BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する

- BS・110度CS用アンテナは電源を必要とします。
- お買い上げ時は、「オート」に設定されています。
  マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、「しない」に設定します。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「放送受信設定」⇨「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む



2 ▲・▼で「衛星アンテナ電源供給」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「する」、「しない」または「オート」を選び、決定を押す

- **する：**
  本機の状態に関わらず、アンテナに電源を供給します。
- **しない：**
  アンテナに電源を供給しません。
- **オート：**
  必要に応じて、本機が自動的にアンテナに電源を供給します。

お知らせ

- 「衛星アンテナ電源供給」を「オート」に設定している場合、本機の電源が「待機」のときは、番組情報の取得中や予約した番組の録画中、およびダウンロード中などの場合以外はアンテナ電源が供給されません(BS・110度CSデジタル放送録画機器単独で録画するときなどは、録画機器からアンテナ電源を供給する必要があります)。

アンテナ線がショートしたとき

- BS・110度CS用アンテナのレベル表示画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示された場合は、電源を待機にしてから電源プラグを抜き、ショートの原因を取り除いてからもう一度電源を入れてアンテナレベル表示の操作をしてください。
- マンションなどの共聴アンテナを使用しているときは、エラーメッセージは表示されず、「衛星アンテナ電源供給」の設定が「しない」に切り換わることがあります。

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを自動で設定する

● 地上デジタル放送には以下の3種類のチャンネル自動設定機能があります。

- **初期スキャン**
  「かんたん初期設定」の「地上デジタルスキャン設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。
- **再スキャン**
  放送局が増えたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。
- **自動スキャン**
  本機の電源が「待機」のときに自動的に探し、変更されたチャンネルがあればワンタッチ選局ボタンに自動で設定されます。

※初期スキャンをしていないと、再スキャンや自動スキャンはできません。

初期スキャンをするとき

● 受信可能なチャンネルを本機が探し、ワンタッチ選局ボタン（1 ～ 12）に放送の運用規定に基づいて設定します。

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「放送受信設定」⇨「地上デジタル設定」⇨「地上デジタルスキャン設定」⇨「初期スキャン」の順に進む

2 お住まいの地方を▲·▼で選び、決定 を押す

3 お住まいの都道府県または地域を▲·▼で選び、決定 を押す

再スキャンをするとき

● 新たに放送局が開局してチャンネルが増えた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

1 **設定**を押し、▲·▼と決定で「放送受信設定」⇨「地上デジタル設定」⇨「地上デジタルスキャン設定」⇨「再スキャン」の順に進む

自動スキャンの設定を変えるとき

● お買い上げ時は自動スキャンは有効に設定されています。
チャンネル設定の内容が自動変更されないようにする場合は、自動スキャンを無効に設定してください。

1 **設定**を押し、▲·▼と決定で「放送受信設定」⇨「地上デジタル設定」⇨「地上デジタルスキャン設定」の順に進む

2 ▲·▼で「自動スキャン」を選ぶ

3 決定を押して、有効または無効を選ぶ

● 決定を押すごとに、有効と無効が交互に切り換わります。

チャンネルをお好みに手動で設定する

- お好みで、リモコンのワンタッチ選局ボタン(1～12)で選局するチャンネルを変更したり、空いているワンタッチ選局ボタンに設定を追加したりすることができます。
- はじめて地上デジタル放送の「チャンネルボタン設定」をする場合は、前ページの「初期スキャン」をしてください。「初期スキャン」をしていない状態では「チャンネルボタン設定」はできません。

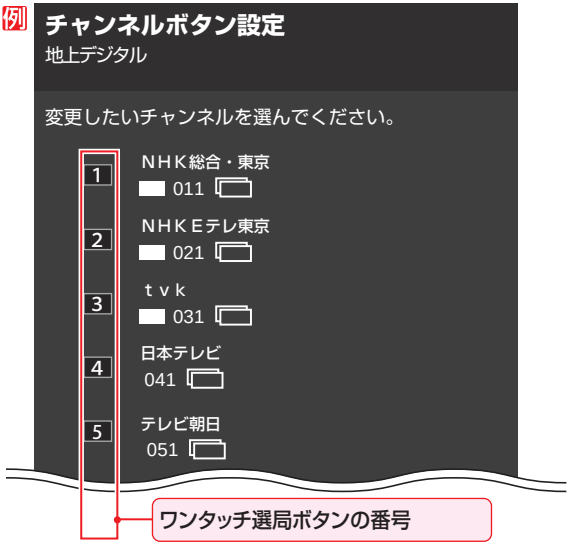
1 設定を押し、▲·▼と決定で「放送受信設定」⇨「リモコンボタン設定」⇨「チャンネルボタン設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定するデジタル放送の種類を▲·▼で選び、決定を押す

3 設定するボタン(1～12)の番号を▲·▼で選び、決定を押す

- 図は手順2で「地上デジタル」を選んだ場合の例です。



- 地上デジタル以外の放送の場合は、リモコン列の左にグループ列が表示されます。
  グループのA、B（BSデジタル放送、BS・110度CS 4K放送）、A～F（110度CSデジタル放送）は選局ガイドのグループになります。
  グループAはワンタッチ選局ボタンになります。

4 ▲·▼で受信チャンネルを選び、決定を押す

110度CSデジタル放送のチャンネルを簡単に設定する

- 手順*2*、*3*で以下の操作をすると、簡単にチャンネルを設定することができます。
  - ❶手順*2*で、「110度CS」を選び、決定を押す
  - ❷チャンネルボタン設定画面（手順*3*）で「チャンネル選択登録」を選び、決定を押す
  - ❸▲·▼で登録したいチャンネルを選び、決定を押す
- 選んだチャンネルは、登録されていないボタンで数字が小さいボタンに登録されます。
- ボタンが登録されているチャンネルを選んだときは、登録が解除されます。

BS/CS 4K放送のチャンネルを簡単に設定する

- 手順*2*、*3*で以下の操作をすると、簡単にチャンネルを設定することができます。
  - ❶手順*2*で、「BS/CS 4K」を選び、決定を押す
  - ❷チャンネルボタン設定画面（手順*3*）で「チャンネル自動登録」を選び、決定を押す
  - ❸◀·▶で「はい」を選び、決定を押す
- グループAのチャンネルが、数字が小さいボタン順に登録されます。

視聴しないチャンネルをスキップする

- チャンネル で選局するときに、視聴しないチャンネルを飛ばすことができます。
- スキップする設定にしたチャンネルは番組表≫に表示されません。また、番組検索≫の対象になりません。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「放送受信設定」⇨「リモコンボタン設定」⇨「チャンネルスキップ設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定する放送の種類を▲・▼で選び、決定を押す

3 スキップ設定を変更したいチャンネルを▲・▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに☑と□が交互に切り換わります。
  チェックの入っていないチャンネルはスキップされます。
- 他のチャンネルの設定をする場合は、手順*3*の操作を繰り返します（違う放送のチャンネルを設定する場合は戻るを押し、手順*2*からの操作を繰り返します）。

お知らせ

■ チャンネルスキップ設定について

- 放送局の代表チャンネルをスキップする設定にすると、その放送局の代表チャンネル以外のチャンネルもスキップされます。代表チャンネル以外のチャンネルをスキップする設定にした場合は、代表チャンネルは選局できます。
- お買い上げ時には、BS/CS 4K放送の102チャンネルはスキップする設定になっています。

データ放送の設定をする

地域と郵便番号を設定する

- お住まいの地域に応じたデータ放送や緊急警報放送などを視聴するための設定です。
- 「かんたん初期設定」で設定した状態から変更したいときに以下の操作をします。

地域を設定する

1 設定を押し、▲・▼と決定で「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「地域設定」の順に進む

2 該当する地方を▲・▼で選び、決定を押す

- 「設定しない」を選んだ場合は、これで終わりです。

3 該当する地域を▲・▼で選び、決定を押す

- 伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

郵便番号を設定する

1 設定を押し、▲・▼と決定で「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「郵便番号」の順に進む

- 郵便番号の入力画面が表示されます。

2 お住まいの地域の郵便番号を▲・▼・◀・▶で入力し、決定を押す

- 数字ボタンを使って郵便番号を入力する事もできます。

おしらせ

■ 郵便番号と地域の設定について

- データ放送を視聴している状態で設定を変更した場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。

災害発生時に文字情報を表示させる

- デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「文字スーパー表示」の順に進む

2 決定を押して有効/無効を切り換える

- 有効に設定すると、文字スーパーが表示されるようになります。

文字スーパーの言語を切り換える

- 複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、表示する言語を選択することができます。
- お買い上げ時は、文字スーパーが日本語優先で表示されるように設定されています。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「文字スーパー言語」の順に進む

- 「文字スーパー言語」の画面が表示されます。

2 優先する言語を▲・▼で選び、決定を押す

おしらせ

■ 文字スーパー表示の設定について

- 設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示されます。設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。
- 「文字スーパー表示」を無効に設定した場合でも、災害時などの速報は、放送局指定によって放送受信時に強制表示することがあります。

視聴できる番組やアプリを制限する

制限するために暗証番号を設定する

- 暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たり、ネットワークサービスの利用を制限したりするときに必要です。
- 暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更・削除をするときにも暗証番号の入力が必要になります。

ご注意

- 暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れた場合は、製品同梱の取扱説明書裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にご連絡ください。

※ 必要としない場合は、登録しないことをおすすめします。

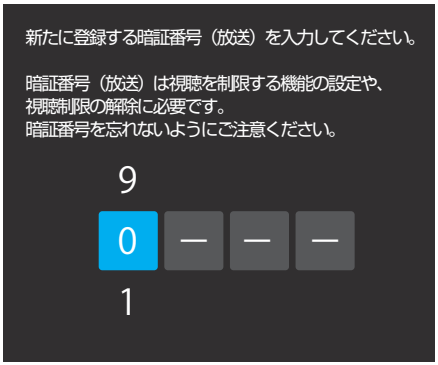
1 設定を押し、▲・▼と決定で「詳細設定」⇨「視聴制限設定」⇨「放送視聴制限設定」⇨「暗証番号設定(放送)」の順に進む

- 暗証番号の入力画面が表示されます。

2 暗証番号を変更する場合は、変更前の暗証番号を▲・▼・◀・▶で入力する

- 新規設定の場合、この手順はありません。

3 登録したい暗証番号を▲・▼・◀・▶で入力する



重要
登録した暗証番号はメモするなどして、忘れないようにしてください。

4 ▲·▼·◀·▶でもう一度同じ暗証番号を入力する

5 確認画面で 決定 を押す

暗証番号を削除するとき

1 設定 を押し、▲·▼と 決定 で「詳細設定」⇨「視聴制限設定」⇨「放送視聴制限設定」⇨「暗証番号削除(放送)」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

2 ▲·▼·◀·▶で暗証番号を入力する

3 確認画面で、▲·▼で「はい」を選び、決定 を押す

番組の視聴を制限する

- デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。
- お買い上げ時には、番組の視聴制限は設定されていません。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。

1 **設定を押し、▲・▼と決定で「詳細設定」⇨「視聴制限設定」⇨「放送視聴制限設定」⇨「放送視聴年齢制限」の順に進む**

- 暗証番号の入力画面になります。

2 **▲・▼・◀・▶で暗証番号を入力する**

3 **▲・▼で年齢を設定し、決定を押す**

- 設定できる年齢は、4歳から20歳までです。
- 視聴年齢制限機能を使わない場合は、「20歳（制限しない）」に設定します。

- 視聴時の動作および必要な操作は以下のとおりです。

番組の制限年齢が設定した年齢よりも上の場合

- メッセージが表示されます。
- 決定を押し、▲・▼・◀・▶で暗証番号を入力します。

視聴年齢制限が設定されていない場合

- 視聴年齢制限のある番組を見ることはできません。
- 決定を押し、設定が必要な項目を設定します。

ネットワークサービスの利用を制限する

- 本機には、お子様などに見せたくないインターネット上の映像等の視聴を制限するための機能が組み込まれています。
  お子様などが本機を使ってインターネットをご使用の際は、この制限機能の利用をお勧めします。
- ネットワークサービスを使用する際に、パスワードで利用を制限することができます。
- 放送視聴制限の暗証番号とインターネット利用制限の暗証番号は、別々に設定する必要があります。

暗証番号を設定するとき

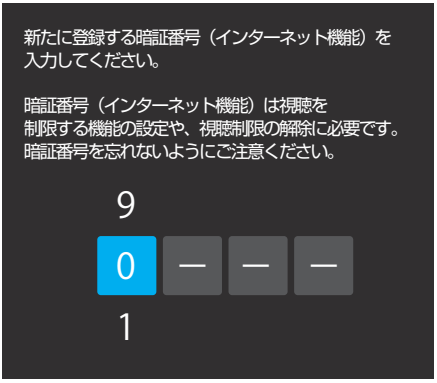
1 **設定を押し、▲・▼と決定で「詳細設定」⇨「視聴制限設定」⇨「インターネット機能制限設定」⇨「暗証番号設定(インターネット機能)」の順に進む**

- 暗証番号の入力画面が表示されます。

2 **暗証番号を変更する場合は、変更前の暗証番号を▲・▼・◀・▶で入力する**

- 新規設定の場合、この手順はありません。

3 **登録したい暗証番号を▲・▼・◀・▶で入力する**



重要
登録した暗証番号はメモするなどして、忘れないようにしてください。

4 ▲·▼·◀·▶でもう一度同じ暗証番号を入力する

5 確認画面で決定を押す

暗証番号を削除するとき

1 設定を押し、▲·▼と決定で「詳細設定」⇨「視聴制限設定」⇨「インターネット機能制限設定」⇨「暗証番号削除(インターネット機能)」

- 暗証番号の入力画面になります。

2 ▲·▼·◀·▶で暗証番号を入力する

3 確認画面で、▲·▼で「はい」を選び、決定を押す

インターネット機能制限設定(パスワードロック機能)

- ネットワークサービスを使用する際に、暗証番号の入力が必要となるように設定することができます。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「詳細設定」⇨「視聴制限設定」⇨「インターネット機能制限設定」⇨「インターネット機能制限」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

2 ▲·▼·◀·▶で暗証番号を入力する

3 ▲·▼で「制限する」または「制限しない」を選び、決定を押す

- **制限する**
  ネットワークサービスを起動したときに、暗証番号の入力が必要です。
- **制限しない**
  暗証番号入力は不要です。

アプリのインストールを制限する

● セキュリティに問題の可能性のあるアプリのインストールを許可するかの設定を行えます。

提供元不明のアプリをインストールさせない

1 設定を押し、▲・▼と決定で「デバイス設定」⇨「セキュリティと制限」⇨「提供元不明のアプリ」の順に進む

2 ▲・▼・◀・▶で設定を変更する

アプリのインストール時に確認する

● 損害をもたらす可能性があるアプリのインストール禁止またはインストール前に警告させるかを設定します。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「デバイス設定」⇨「セキュリティと制限」の順に進む

2 ▲・▼で「アプリの確認」を選ぶ

3 決定を押して設定を切り換える

パネルメンテナンス

4K有機ELテレビを快適にご使用いただくため、パネルをメンテナンスする

- 長時間同じ表示を続けたり、繰り返し同じ表示を出したりすると、画面に残像が見える場合があります。パネルメンテナンスを実行することにより残像が低減します。

  電源を待機にする場合は、電源プラグをコンセントに差し込んだまま、本体底面にある本体ボタンの中央部を押すか、またはリモコンの「電源」ボタンで操作してください。電源が「待機」になり、自動的にパネルをメンテナンスします。
- パネルメンテナンスは完了まで10分ほどかかります。完了後、電源が「待機」状態を継続します。パネルメンテナンスは手動で実行する事もできます。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「詳細設定」⇨「パネルメンテナンス」の順に進む

2 「パネルメンテナンス」を選択し、決定を押す

3 ◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

- 自動で電源が待機状態になり、パネルメンテナンスが実行されます。
  実行中は電源LEDが橙色で点灯します。

リモコンの設定を変更する

リモコンを登録する

● リモコンのマイクでGoogleアシスタント機能を使用するには、あらかじめリモコンを本機に登録する必要があります。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「リモコンとアクセサリ」⇨「リモコン設定」⇨「リモコンの登録」の順に進む

2 ▲·▼で「新しいリモコンを登録する」を選び、決定を押す

3 青を押したまま黄を押し続ける

●そのまましばらくお待ちください。

4 「リモコンの登録が完了しました」が表示されたら、青と黄から指を離し、決定を押す

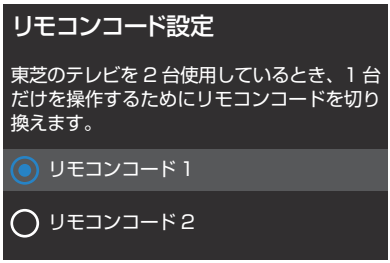
2台のレグザをそれぞれのリモコンで操作する

● 同じ室内で東芝テレビを2台使用している場合などに、リモコンを操作すると2台とも反応してしまうことがあります。このような場合、リモコンコードの設定を変えれば1台だけが操作できるようになります。

※必ず以下の手順で操作してください。手順が異なるとリモコン操作ができなくなります。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「リモコンとアクセサリ」⇨「リモコン設定」⇨「リモコンコード設定」の順に進む

2 ▲・▼で「リモコンコード1」または「リモコンコード2」を選び、決定を押す



● 今までと異なるコードに設定した場合、次の手順3を終えるまでの間リモコン操作ができなくなります。

3 決定を押したままで、1または2を約2秒間以上押し続ける

● 手順2で「リモコンコード1」に設定した場合は1を、「リモコンコード2」に設定した場合は2を押し続けます。

※ この操作ができるのは、付属のリモコンだけです。

4 リモコンでテレビが操作できることを確認する

リモコンの乾電池を取りはずした場合(電池交換などの際)、「リモコンコード1」になることがあります。

お知らせ

- テレビ本体とリモコンのリモコンコードが一致していない場合、電源が「待機」のときにリモコンの電源を押すと、本体の「電源」表示が赤色に点滅します。その場合は、リモコンまたは本体のリモコンコードを変更してください。
  テレビの動作状態によっては、電源ボタン以外のボタン操作でも本体の「電源」表示が赤色に点滅する場合があります。

テレビ本体のボタンで設定するとき

- テレビ本体のリモコンコードを、、本体底面にある本体ボタンを使って以下の手順で設定することもできます。

1 本体ボタンを手前に動かし、そのまま押し続ける

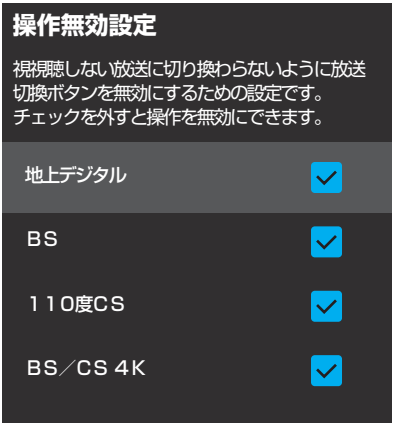
- リモコンコード1とリモコンコード2が交互に切り換わります。

使わない放送切換ボタンの操作を無効にする

- リモコンの放送切換ボタン 地デジ、BS、CS、BS/CS 4K のうち、使用しないボタンの操作を無効にすることができます。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「リモコンとアクセサリ」⇨「リモコン設定」⇨「操作無効設定」の順に進む

2 ▲·▼で放送を選ぶ



3 決定を押して、有効または無効を選ぶ

- 決定を押すたびに☑と□が交互に切り換わります。
- チェックを外した放送切換ボタンは操作が無効になります。

Android TV™の設定を変更する

Android TVの設定を変更する

● 設定メニューの「デバイス設定」から、Android TVに関する情報を確認したり、設定を変更したりすることができます。

1 設定を押し、▲・▼で「デバイス設定」を選び、決定を押す



2 ▲・▼と決定で項目を選び、▲・▼と決定で設定を変更する

● Android TVの設定には、次のような項目があります。

端末情報

- 本機の情報が確認できます。

日付と時刻

- 日付と時刻の設定を確認、変更できます。

言語/Language

- ホーム画面など、Android TV機能での表示言語を日本語/英語から選択できます。

お知らせ

- 設定を「English」にしても、機能によっては日本語で表示される場合があります。

キーボード

- 文字入力の際に使用するソフトウェアキーボードの設定ができます。

外部入力

- 外部入力に関する機能を設定できます。詳しくは「外部入力の機能を設定する」≫をご覧ください。

サウンド

- システム音の設定を変更できます。

ストレージ

- 利用可能なメモリの状況を確認したり、設定を変更したりできます。

ホーム画面

- ホーム画面で表示するアプリの並び順の変更や、チャンネル表示の設定を変更できます。

Googleアシスタント

- Googleアシスタントに関する機能を設定できます。
  詳しくは「Googleアシスタントの設定を変更する」≫をご覧ください。

Chromecast built-in

- Chromecast built-inアプリに対応したモバイル機器から本機の画面に動画をキャストするChromecast built-in機能の設定を確認できます。

スクリーンセーバー

- 本機を操作していないときに起動するスクリーンセーバーの設定ができます。

位置情報

- 現在地のステータスや、位置情報をリクエストしたアプリの情報を確認できます。

使用状況と判断

- Googleに診断情報などを送信するかを設定できます。

セキュリティと制限

- 本機にインストールするアプリの制限などを設定できます。詳しくは「アプリのインストールを制限する」≫をご覧ください。

かんたん初期設定

- 本機の初期設定をやり直すことができます。

設定の初期化

- 本機の設定を初期化します。詳しくは「お買い上げ時の設定に戻すには（設定内容を初期化するには）」≫をご覧ください。

Googleアシスタントの設定を変更する

● Googleアシスタントを使用した検索に関する設定が変更できます。

検索対象のアプリを変更する

● 検索結果に表示するアプリを選択できます。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「デバイス設定」⇨「Googleアシスタント」の順に進む

2 ▲・▼で「検索対象のアプリ」を選び、決定を押す

3 ▲・▼・◀・▶と決定で設定を変更する

不適切なコンテンツや語句をフィルタリングする

● 検索結果から不適切なコンテンツを非表示にしたり、不適切な語句を表示しないようにします。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「デバイス設定」⇨「Googleアシスタント」の順に進む

2 ▲・▼で「セーフサーチ」または「不適切な語句のブロック」を選ぶ

セーフサーチ

● 検索結果で、不適切な表現のコンテンツを表示するかどうかを設定します。

不適切な語句のブロック

● 音声認識した語句の中で、不適切なものを非表示にするかどうかを設定します。

3 決定を押して設定を変更する

電源待機時の動作モードを変更する

- テレビが電源待機の時でもGoogleアシスタント機能を使用できるようにするための設定です。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「詳細設定」⇨「スクリーンレスモード」の順に進む

2 決定を押して設定を切り換える

- 有効にすると、電源待機時でもGoogleアシスタント機能を使うことができますが、電源待機時の消費電力が増えます。
- 無効にすると、テレビの状態によってはGoogleアシスタント機能を使うことができなくなりますが、電源待機時の消費電力を抑えることができます。

お買い上げ時の設定に戻すには
(設定内容を初期化するには)

● お買い上げ時の設定(工場出荷設定)に戻す方法は3種類あります。目的に合わせて操作してください。

ご注意

※ 初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。

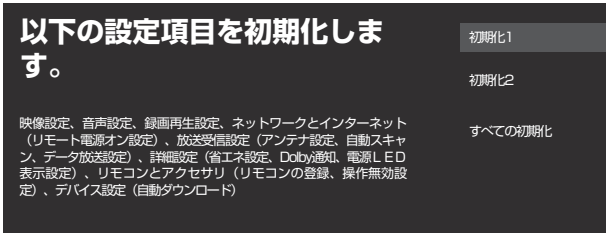
項　目	内　容
初期化1	●以下の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 • 映像設定 • 音声設定 • 録画再生設定 • ネットワークとインターネット(リモート電源オン設定) • 放送受信設定(アンテナ設定、自動スキャン、データ放送設定) • 詳細設定(省エネ設定、Dolby通知、電源ＬＥＤ表示設定) • リモコンとアクセサリ(リモコンの登録、操作無効設定) • デバイス設定(自動ダウンロード)
初期化2	●以下の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 初期化１の項目と、初期化１で初期化されない以下の項目を含めて初期化します。 • チャンネル設定 • チャンネルボタン設定 • チャンネルスキップ設定
すべての初期化	●本機に設定された「リモコンコード設定」以外のすべての内容をお買い上げ時の状態に戻します。 **※この初期化は、データ放送の個人情報(住所、氏名、視聴ポイント数など)、ネットワークサービスの登録情報などについてもすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にだけ行ってください。**

1 設定を押し、▲·▼と決定で「デバイス設定」⇨「設定の初期化」の順に進む

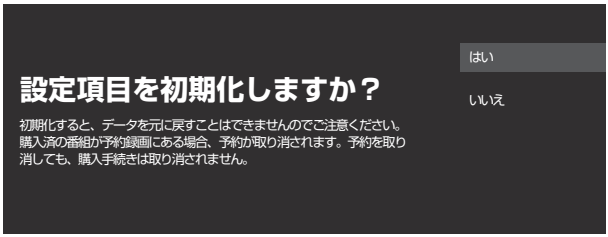


2 ▲·▼で「初期化1」、「初期化2」、または「すべての初期化」を選び、決定を押す

- 初期化される項目の内容は、前述の表をご覧ください。



3 初期化する場合は▲・▼で「はい」を選び、決定を押す



- テレビの初期化が行われます。

※ 初期化中は、リモコン操作などをしないでください。

- 初期化が終了するとテレビが再起動します。

設定メニュー 一覧

● 設定メニュー 一覧を以下に示します。

※一部のメニュー項目は、詳細項目は省略しています。

● メニューに表示される項目や項目名、選択できる項目などは、設定状態や接続機器の有無などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄くなって表示されます。

● 「映像設定」のメニューは、「映像メニュー」で「おまかせＡＩ」を選んでいる場合の内容です。

● 「音声設定」のメニューは、「音声メニュー」で「おまかせ」を選んでいる場合の内容です。

● メニューに表示される項目や項目名、選択できる項目などは、予告なく追加、削除、または内容を変更する場合があります。

- 映像設定
  - 映像メニュー
  - 明るさ
  - 画面の明るさ
  - 明るさ詳細設定/明るさ詳細設定(調整)
  - お好み調整/映像調整
    - 黒レベル
    - 色の濃さ
    - 色あい
    - 精細感・ノイズ調整
      - シャープネス
      - レゾリューションプラス設定
        - レゾリューションプラス
        - ゲイン調整
      - MPEG　NR
      - ダイナミックNR
    - コントラスト感調整
      - アドバンスドHDR復元
      - HDRエンハンサー
      - ユニカラー
      - ガンマ調整
      - 質感リアライザー
    - 色詳細調整
      - 色温度
      - RGBゲイン
      - カラーイメージコントロール
        - 色設定
        - 色あい
        - 色の濃さ
        - 明るさ
        - 初期値に戻す
    - 有機ELゲームダイレクト
    - プロ調整
      - EOTFモード
      - 色空間モード
    - キャリブレーション
      - ホワイトバランス
        - 2ポイント
        - 20ポイント
      - ガンマ
        - 入力 レベル
        - ゲイン
        - 初期値に戻す

		お好み調整を初期値に戻す
	倍速モード	
	ネット動画ビューティー	
	明るさ検出	
	おまかせシアター	
	クラウドＡＩ高画質	
	映像信号情報	
音声設定		
	音声メニュー	
	Dolby Atmos	
	サラウンド	
	サウンドリマスター	
	低音強調	
	イコライザー	
	オートボリューム	
	調整値を初期値に戻す	
	音声詳細設定	
		左右バランス
		Dolby DRC
		デジタル音声出力
		デジタル音声出力タイミング
		ヘッドホン出力設定
		テレビ設置設定
		レグザサウンドイコライザー設定
録画・再生設定		
	通常録画設定	
		機器の登録
		省エネ設定
		機器の取りはずし
		動作テスト
		録画番組の修復
		機器の初期化
	録画設定	
		録画先機器の設定
		マジックチャプター設定
	再生設定	
		ワンタッチスキップ設定
		ワンタッチリプレイ設定

- ネットワークとインターネット
  - Wi-Fi
  - 利用可能なネットワーク
  - プロキシ設定
  - IP設定
  - 接続テスト
  - リモート電源オン設定
    - 外部機器から電源オン
  - レグザAppsコネクト
  - クラウドサービス関連情報の初期化
- 放送受信設定
  - 地上デジタル設定
    - 地上デジタルアンテナ設定
    - 地上デジタルスキャン設定
      - 初期スキャン
      - 再スキャン
      - 自動スキャン
  - ＢＳ・１１０度ＣＳアンテナ設定
  - ＢＳ/ＣＳ ４Ｋ設定
    - ＢＳ/ＣＳ ４Ｋアンテナ設定
    - ＢＳ/ＣＳ ４Ｋ受信環境確認
  - リモコンボタン設定
    - チャンネルボタン設定
      - 地上デジタル
      - ＢＳ
      - １１０度ＣＳ
      - ＢＳ/ＣＳ ４Ｋ
    - チャンネルスキップ設定
      - 地上デジタル
      - ＢＳ
      - １１０度ＣＳ
      - ＢＳ/ＣＳ ４Ｋ
  - データ放送設定
    - 地域設定
    - 郵便番号
    - 文字スーパー表示
    - 文字スーパー言語
  - ＡＣＡＳチップ情報

- 詳細設定
  - 省エネ設定
    - 節電モード
    - 番組情報取得設定
    - 無操作自動電源オフ
    - オンエアー無信号オフ
    - 外部入力無信号オフ
  - スクリーンレスモード
  - 視聴制限設定
    - 放送視聴制限設定
      - 放送視聴年齢制限
      - 暗証番号設定(放送)
      - 暗証番号削除(放送)
    - インターネット機能制限設定
      - インターネット機能制限
      - 暗証番号設定(インターネット機能)
      - 暗証番号削除(インターネット機能)
  - スクリーンミラーリングについて
  - パネルメンテナンス
  - Dolby通知
  - 電源ＬＥＤ表示設定
  - ヘルプ
    - 本機の情報
    - ネットワーク情報
      - アドレス情報(IPv4)
      - アドレス情報(IPv6)
      - 無線情報
      - ネットワーク詳細情報
    - 設置場所
- リモコンとアクセサリ
  - リモコン設定
    - リモコンの登録
    - 電池残量
    - リモコンコード設定
    - 操作無効設定
  - Bluetooth設定
    - アクセサリ追加
    - デバイスリスト

- デバイス設定
  - 端末情報
    - システムアップデート
      - 自動ダウンロード
      - 放送からのダウンロード日時
      - ソフトウェアの更新確認
    - 端末名
    - 再起動
    - ステータス
    - 法的情報
      - オープンソースライセンス
      - Google利用規約
      - レグザプライバシー設定
      - 本製品のご利用に関する重要なお知らせ
      - ソフトウェア情報
      - システムのWebViewライセンス
      - 広告
    - モデル
    - バージョン
    - Androidセキュリティパッチレベル
    - カーネルバージョン
    - ビルド
  - 日付と時刻
    - 日付と時刻の自動設定
    - 日付の設定
    - 時刻の設定
    - 24時間表示の使用
  - 言語/Language
  - キーボード
    - 現在のキーボード
    - Gboardの設定
    - キーボードの管理
  - 外部入力
    - HDMI1
    - HDMI2
    - HDMI3
    - HDMI4
    - ビデオ

- 外部入力設定
  - HDMI※（※HDMI入力端子番号が表示されます。）
    - 自動ゲーム機器設定
    - ＡＬＬＭ設定
    - コンテンツタイプ連動
    - ＲＧＢゲーム設定
    - ＨＤＭＩモード設定
    - ＲＧＢレンジ設定
  - ＨＤＭＩ連動機能
  - リモコン動作モード
  - 連動機器→テレビ入力切換
  - テレビ→連動機器電源オフ
  - 連動機器→テレビ電源
  - オーディオシステム音質連動
  - ｅＡＲＣモード
  - 電源オン時優先スピーカー
  - オーディオシステム音声入力
    - HDMI1
    - HDMI2
    - HDMI3
    - HDMI4
  - レグザコンビネーション高画質
- サウンド
- ストレージ
- ホーム画面
- Googleアシスタント
  - 権限の表示
  - 検索対象のアプリ
  - セーフサーチ
  - 不適切な語句のブロック
  - オープンソース　ライセンス
- Chromecast built-in
- スクリーンセーバー
- 位置情報
- 使用状況と診断
- セキュリティと制限
- かんたん初期設定
- 設定の初期化
  - 初期化１
  - 初期化２
  - すべての初期化

アプリ

アカウントとログイン

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア（制御プログラム）で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。

  ネットワークに接続している場合は、ネットワーク経由でソフトウェアを自動的にダウンロードし、更新することもできます。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ（https://www.regza.com/regza/support/）でお知らせしています。
  - 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
- ソフトウェアを自動的に更新するために、電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。
- 電源プラグが抜かれていたなどの事情で自動ダウンロードができなかった場合は、都合のよいときにインターネットを利用してサーバーから更新用のソフトウェアをダウンロードすることができます。
- ソフトウェアを更新する際に内部共有ストレージを使用します。内部共有ストレージの容量が足りなくなるとソフトウェアを更新することができません。十分な空き領域を確保するようにしてください。
- ソフトウェアの更新により、録画が中止される場合があります。

ソフトウェアの自動ダウンロードについて

- 「自動ダウンロード」の設定を有効（お買い上げ時の設定）にしておき、日常的にデジタル放送を視聴し、視聴しないときにも電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、特別に意識する必要はありません。放送電波やネットワーク経由で更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、更新することができます。

  放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、更新用のソフトウェアがある場合に、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、地上デジタル放送またはBSデジタル放送を視聴しているときにダウンロード情報を取得します。

  ネットワークを利用したソフトウェアのダウンロードは、更新用のソフトウェアがサーバーに公開された場合に、ネットワークに接続していれば、自動的にソフトウェアの更新を行います。

自動ダウンロードの設定を変更する

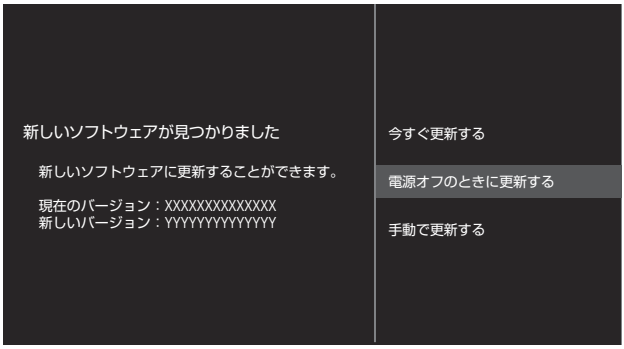
1 設定を押し、▲・▼と決定で「デバイス設定」⇨「端末情報」⇨「システムアップデート」⇨「自動ダウンロード」の順に進む

2 決定を押して有効/無効を切り換える

- 「システムアップデート」の「放送からのダウンロード日時」を選んで決定を押すと、放送電波でのダウンロード予定を一覧で確認することができます。
- 手動でソフトウェアの更新をすることもできます。≫「サーバーから手動でダウンロードする」

インターネットに接続している場合

● 「自動ダウンロード」を無効に設定している場合、本機の電源を入れたときに更新用のソフトウェアを検出すると、ソフトウェア更新のお知らせ画面が表示されます。



● ▲·▼で以下のどれかを選び、決定を押します。

- **今すぐ更新する**
  ソフトウェアの更新を始めます。
- **電源オフのときに更新する**
  本機の電源を待機状態にすると、ソフトウェアの更新を始めます。
- **手動で更新する**
  ソフトウェアの更新は始めません。「サーバーから手動でダウンロードする」≫の操作でソフトウェアをダウンロードします。

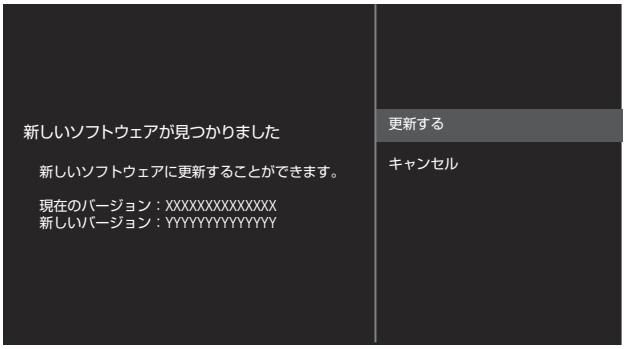
● 更新する内容によっては、「手動で更新する」が表示されない場合があります。

サーバーから手動でダウンロードする

- インターネットを利用してサーバーからソフトウェアをダウンロードし、本機内部のソフトウェアを更新することができます。
- インターネットへの接続と設定≫が必要です。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「デバイス設定」⇨「端末情報」⇨「システムアップデート」⇨「ソフトウェアの更新確認」の順に進む

- 新しいソフトウェアがある場合、更新の確認画面が表示されます。



2 ▲・▼で「更新する」を選び、決定を押す

- ソフトウェア更新が始まります。
- 「バックグラウンドでおこなう」を選択すると、テレビの視聴をしながらソフトウェアの更新をおこなうことができます。
- 更新する内容によっては、「キャンセル」が表示されない場合があります。

3 「再起動」を選び、決定を押して更新を完了する

- テレビが再起動して、ソフトウェアが更新されます。
- 「あとで」を選択すると、次回電源を入れたときに新しいソフトウェアでの起動となります。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

1 設定を押し、▲·▼と決定で「詳細設定」⇨「ヘルプ」⇨「本機の情報」の順に進む

用語

■ ダウンロード

放送電波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末(この場合は本機)に転送することです。

お知らせ

- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 悪天候などでダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。
- テレビの状態によっては、ソフトウェアの更新が行われない場合があります。

■ サーバーからのダウンロードについて

- 回線の速度が遅いと正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、インターネットへの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

文字を入力する

● キーボード画面は、番組検索のキーワード登録などで表示されます。

※下のキーボード画面は、イメージになります。実際の画面とは若干異なります。



1 ▲·▼·◀·▶で文字を選び、決定を押して入力する

● 文字に続けて゛゜を選ぶと、濁点(゛)や半濁点(゜)の入力ができます。
● ⇧を選ぶと、英字の大文字と小文字が切り換わります。
● スペースを入力するときは、␣を選びます。
● 文字を挿入するには、挿入する場所を◀·▶で選んで入力します。
● 入力文字の種類を変えるときは、次のキーを選びます。

- **アイウ**
  キーボードをカタカナ入力に切り換えます。
- **あいう**
  キーボードをひらがな入力に切り換えます。
- **?123**
  キーボードを英字数字入力に切り換えます。

文字を削除するには

● 1文字を削除するには、⌫を選びます。
カーソルの左の1文字が削除されます。

2 すべての入力が終わったら、「→」や「✓」を選んで決定を押す

● 文字入力画面が表示される前の操作場面に戻ります。

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説　明
ステレオ	ステレオ音声放送
サラウンド	サラウンドステレオ放送
二重音声	二重音声放送
字	字幕放送
HD:1080i	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送
HD:720p	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送
SD:480i	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送
SD:480p	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送
4K：2160p	放送フォーマットが2160pの4K映像放送
8K：4320p	放送フォーマットが4320pの8K映像放送
信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある番組
○○才～	視聴年齢制限が設定されている番組。○○は4～20の数字が入ります。
契約済	有料放送で契約済のチャンネル。
未契約	有料放送で契約していないチャンネル。
PPV:○○円	PPV（ペイ・パー・ビュー）番組。○○は金額が入ります。
ダビング	録画回数が制限されている番組
デジタルコピー可	デジタル録画ができる番組
デジタルコピー¥	有料でデジタル録画ができる番組
デジタルコピーx	デジタル録画ができない番組
光デジタルコピー可	光デジタル録音ができる番組
光デジタルコピー1	1回だけ光デジタル録音ができる番組
光デジタルコピー¥	有料で光デジタル録音ができる番組
光デジタルコピーx	光デジタル録音ができない番組

お知らせ、予約、その他についてのアイコン

アイコン	説　明
	録画予約
	連ドラ予約
	視聴予約
	録画中
	録画準備中 録画の約1分前に表示されます。
	録画確認中 前番組の放送延長などで録画番組の放送時間が変更されたときなどに表示されます。
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、予約が重なったときなどに表示されます。
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、有料番組の予約が重なったときなどに表示されます。
	おまかせ録画予約
	視聴予約が重なったときに表示されます。
	録画番組が「保護」対象
	録画番組が「上書き」対象
	未読の「お知らせ」
	既読の「お知らせ」
	非リンク型サービス（通信番組） ≫「データ放送やラジオ放送を楽しむ」

- ダビング・コピー関係のアイコンの中には、本機の機能とは無関係に番組の情報として表示されるものがあります。

画面サイズについて

- 選択できる画面サイズは下表のとおりです。
- 画面の見えかたについては、次ページをご覧ください。
- 信号フォーマットについては、「本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット」≫をご覧ください。

放送番組の映像や動画の再生を見ているとき

映像の種類	選択できる画面サイズ
デジタル放送の4：3の映像(480p、480i)	ノーマル、ズーム
デジタル放送の16：9の映像	ノーマル

HDMI入力端子からの映像を見ているとき

映像や信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
480i、480p	4:3、16:9、ズーム
VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA	ノーマル、フル、ネイティブ
720p、1080i	ノーマル、ズーム
1080p(@60/30/24Hz)	ノーマル、ネイティブ、ズーム
1080p(@120Hz)、WQHD	ノーマル、ネイティブ
3840×2160p(@60/30/24Hz)	ノーマル、ズーム
3840×2160p(@120Hz)、4096×2160p	ノーマル

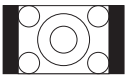
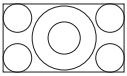
※ビデオ入力端子は、4:3、16:9、ズームが選択できます。

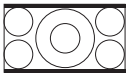
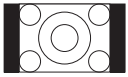
※映像メニューのゲーム/モニターを選んでいるときは、ズームを選択できません。

お知らせ

- 本機は、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組み合わせによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等に置いて、画面サイズの切換機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどすると、著作権法上で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 一部のネットワークサービスの映像などでは、画面サイズの切り換えができないことがあります。

画面の見えかたについて

入力	画面サイズのモード	画面の見えかた	説　　明
4:3	ノーマル		4:3の映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです。
	ズーム		上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像（レターボックス「LB」）を拡大して楽しむモードです。
16:9	ノーマル		16:9の映像を画面いっぱいに表示するモードです。
	ズーム		上下左右に帯（帯も映像として送られています）のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。

4K信号	ノーマル（3840×2160p）		4K信号の映像をそのままの横と縦の比で表示します。
	ズーム（3840×2160p）		上下左右に帯（帯も映像として送られています）のある映像を、ワイド画面で楽しむモードです。 ※左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」（4K信号3840×2160p）にした場合の見えかたです。
	ノーマル（4096×2160p）		4K信号の映像を画面に合わせて縮小して表示するモードです（上下の映像がない部分は黒く表示されます）。
HDMI	ノーマル/Normal		映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです。
	フル/Full		映像を画面いっぱいに表示するモードです。
	ネイティブ/Native		入力信号の1ドットを縦・横2ドットずつの4ドットで表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。 ※WQHD（2560x1440）を除く
	ネイティブ/Native（WQHD）		入力信号の解像のまま画面に表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。

対応フォーマット

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

- 機器によっては本機の画面に映像が表示されないか、または正しく表示されないことがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。

  一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があり、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。

● 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合はリフレッシュレートが60Hzの信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート	水平周波数	ピクセルクロック
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750KHz	27.000 / 27.027MHz
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500KHz	27.000 / 27.027MHz
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750KHz	74.176 / 74.250MHz
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000KHz	74.176 / 74.250MHz
1080p	1920×1080	119.88 / 120Hz	269.730 / 270.000KHz	1186.800 / 1188.000MHz
		59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500KHz	148.352 / 148.500MHz
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000KHz	74.176 / 74.250MHz
		29.97 / 30Hz	33.716 / 33.750KHz	74.176 / 74.250MHz
2160p	3840×2160	59.94 / 60Hz	134.865 / 135.000KHz	593.407 / 594.000MHz
		23.98 / 24Hz	53.946 / 54.000KHz	296.703 / 297.000MHz
		29.97 / 30Hz	67.433 / 67.500KHz	296.703 / 297.000MHz
2160p (SMPTE)	4096×2160	59.94 / 60Hz	134.865 / 135.000KHz	593.407 / 594.000MHz
		23.98 / 24Hz	53.946 / 54.000KHz	296.703 / 297.000MHz
		29.97 / 30Hz	67.433 / 67.500KHz	296.703 / 297.000MHz
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500KHz	25.175 / 25.200MHz
SVGA	800×600	60Hz	37.879KHz	40.000MHz
XGA	1024×768	60Hz	48.363KHz	65.000MHz
WXGA	1280×768	60Hz	47.776KHz	79.500MHz
	1360×768	60Hz	47.712KHz	85.500MHz
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981KHz	108.000MHz
WQHD	2560×1440	60Hz	88.787KHz	241.500MHz

本機で再生できるファイルのフォーマット

※コンテンツを編集したツールやその他の理由によって、以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

コンテンツ形式	ファイル形式
動画	.mkv、.mp4、.mov、3gp、.3gpp、.avi、.mpg、.mpeg
音楽	.mp3、.aac、.wav、
写真	.jpg、.bmp、.png、.gif

症状に合わせて解決法を調べる

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

操作

電源がはいらない

電源プラグが抜けていませんか。

⇒ 電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源コードが本体から抜けていませんか。

⇒ 電源コードのコネクターを本機背面のAC IN端子に接続します。

「電源」表示が赤色に点滅していますか。

⇒ 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。

リモコンで操作ができない

リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物がありませんか。

⇒ 障害物を取り除きます。
リモコン受光部の位置は、製品同梱の取扱説明書の「各部のなまえ」でご確認ください。

リモコンの乾電池が消耗していませんか。

⇒ 新しい乾電池に交換します。

リモコンの乾電池の向き(＋、－)が合っていますか。

⇒ 向き(＋、－)を確認し、正しく入れてください。

リモコンと本体のリモコンコードが合っていますか。

⇒ リモコンと本体のリモコンコードが合っていないと、操作できません。リモコンと本体のリモコンコードを正しく合わせてください。≫「2台のレグザをそれぞれのリモコンで操作する」

他のチャンネルでは、操作ができますか。

⇒ データ放送やHybridcast™(ハイブリッドキャスト)のサービスに、リモコン操作が使用される場合があります。その場合、リモコンの dデータ を押してデータ放送やHybridcast™(ハイブリッドキャスト)のサービスを終了します。

※ dデータ を押しただけではデータ放送などが終了しない場合があります。
その場合は放送やチャンネルを切り換えてください。

本体のボタンでは操作ができますか。

⇒ 上記の対処をした上で、なおもリモコンだけで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。

映像

放送の映像が出ない、またはきれいに映らない

アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。

⇒ アンテナ線を確認して正しく接続します。
※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。

アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。

⇒ 確認して、まっすぐにします(折らないようにご注意ください)。

アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。

⇒ アンテナ線を交換します。

レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。

⇒ アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。

⇒ アンテナ線を分配して接続します。

電波が弱くありませんか。

⇒ アンテナレベルを確認します。≫「電波の強さ(信号強度)を確認する」

⇒ アンテナの向きを調整してみます(販売店にご相談ください)。

アンテナ線の差し込みがゆるんでいたり、接触不良になっていたりしていませんか。

⇒ 確認して、しっかりと接続します。

アンテナ線(端子)がさびていませんか。

⇒ 販売店にご相談ください。

接続した機器の映像が出ない、またはきれいに映らない

機器が正しく接続されていますか。

⇒ 確認して正しく接続します。

機器の電源がはいっていますか。

⇒ 機器の電源を入れます。

接続した機器の入力に切り換えましたか。

⇒ リモコンの入力切換で、外部機器を接続した入力端子を選びます。≫「外部入力の画面に切り換える」

機器を接続したHDMI入力のHDMIモードが接続した機器に合っていますか。

⇒ 接続しているHDMI入力を選び、HDMIモードを変更して適切な設定を選びます。≫「HDMIモードを変更する」

画面が暗い、または暗くなるときがある

部屋の明るさに合った適切な映像メニューや調整になっていますか。

⇒ 明るい部屋では、「あざやか」や「おまかせＡＩ」を選択してみます。≫「お好みの映像メニューを選ぶ」

⇒ 「明るさ」や「画面の明るさ」で適切な明るさに調整します。≫「その他の映像設定」

映像メニューが「おまかせＡＩ」の場合、明るさセンサーの前に障害物がありませんか。

⇒ 明るさセンサーの前から障害物を取り除きます。

※ 映像メニューが「おまかせＡＩ」の場合は、明るさセンサーで検出した周囲の明るさに合わせて、画面の明るさが自動調整されます。

一時停止や、静止画になっていませんか。

⇒ 動きの少ない映像の場合に、しばらくすると徐々に暗くなることがあります。動きのある映像になると元の明るさに戻ります。

色がおかしい

お好みの映像メニューや映像調整になっていますか。

⇒ 視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像メニューを選択します。≫「その他の映像設定」

⇒ お好みの映像に調整することもできます。≫「お好みの映像に調整する」

映像メニューが一定時間後あざやかに変更される

設置場所が「店頭」に設定されていませんか？

⇒ 設定の「設置設定」を「ご家庭」に変更してください。

音声

音声が出ない

音量が最小になっていませんか。

⇒ 音量 +/− で音量を上げます。

≫「音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる」

消音状態になっていませんか。

⇒ 消音 を押すと消音を解除できます（音量 +/− でも解除されます）。

≫「音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる」

機器を接続したHDMI入力のHDMIモードが接続した機器に合っていますか。

⇒ 接続しているHDMI入力を選び、HDMIモードを変更して適切な設定を選びます。≫「HDMIモードを変更する」

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる、または引越しをしたら地上デジタル放送が映らなくなった

アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。

⇒ 設定の「地上デジタルアンテナ設定」を選んでアンテナレベルを確認します。≫「電波の強さ（信号強度）を確認する」

※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。

「初期スキャン」をしましたか。

⇒ 「初期スキャン」をします。

お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。

⇒ 一般社団法人　放送サービス高度化推進協会（A-PAB）ホームページ (http://www.apab.or.jp/) で確認することもできます。

⇒ 共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。

⇒ CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください（CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります）。

BS・110度CSデジタル放送

BS・110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる

アンテナ接続に分配器を使用していますか。

⇒ 分配器は「全端子通電型」のものを使用します。

有料放送ではありませんか。

⇒ 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。

マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。

⇒ 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。

⇒ ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ)。

⇒ BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。

テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、無線ＬＡＮアクセスポイントなどの無線機器を使用していませんか。

⇒ 上記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声が乱れることがあります。

「衛星アンテナ電源供給」設定が「しない」に設定されていませんか。

⇒ BS・110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、BS・110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。
「衛星アンテナ電源供給」設定が「オート」または「する」に設定されていることを確認してください。≫「BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する」

※ アンテナショートを検出した場合、「衛星アンテナ電源供給」設定を自動的に「しない」に変更する場合があります。

BS・110度CSの4K放送が映らない、または映像が乱れる

アンテナ接続に分配器を使用していますか。

⇒ 分配器は「4K放送対応全端子通電型」のものを使用します。

有料放送ではありませんか。

⇒ 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。

⇒ マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。

⇒ 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。

⇒ ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます（地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ）。

⇒ BS・110度CSの4K放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。

テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、無線ＬＡＮアクセスポイントなどの無線機器を使用していませんか。

⇒ 左記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声が乱れることがあります。

左旋円偏波に対応した機器を使用していますか。

⇒ 左旋円偏波に対応した機器をご使用ください。対応していない場合、一部のBS・110度CSの4K放送はご覧になれません。

「衛星アンテナ電源供給」設定が「しない」に設定されていませんか。

⇒ 4K放送対応のBS・110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、4K放送対応のBS・110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。
「衛星アンテナ電源供給」設定が「オート」または「する」に設定されていることを確認してください。≫「BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する」

※ アンテナショートを検出した場合、「衛星アンテナ電源供給」設定を自動的に「しない」に変更する場合があります。

番組表

番組表に内容が表示されない

電源プラグを抜いていませんでしたか。

⇒ 電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。

⇒「番組表を更新する」の操作をします。≫「番組表を更新する」

番組表の文字が小さい

⇒ 番組表を表示中に 赤 を押して、文字の大きさを変更することができます。≫「文字サイズを大きくする」

放送局のすべてのチャンネルが表示されない

「1チャンネル表示」にしていませんか。

⇒ 番組表のサブメニューで「マルチ表示」を選択します。≫「1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える」

「チャンネルスキップ設定」でチェック(☑)が入っていますか。

⇒「チャンネルスキップ設定」でチェック(☑)を入れてください。チェックの入っていないチャンネルは表示されません。≫「視聴しないチャンネルをスキップする」

お知らせアイコン ⓘ が何度も表示される

「お知らせ」の内容を確認しましたか。

⇒ サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。

※ 未読のお知らせが1件でも残っていると、画面表示 を押したときにアイコンが表示されます。

録画・再生

USBハードディスクが使用できない(認識されない)

本機で接続確認済のUSBハードディスクですか。

⇒ 本機で接続確認済のUSBハードディスクはホームページ(https://www.regza.com/regza/)でお知らせしています。

※ 本機で接続確認済の機器でない場合は、使用できないことがあります。

機器が正しく接続されていますか。

⇒「USBハードディスクの接続をする」に従って、正しく接続します。

機器の電源がはいっていますか。

⇒ USBハードディスクの電源を入れます。

※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。

機器が本機に登録されていますか。

⇒ USBハードディスクを本機に登録します。≫「機器の登録」

USBハブを使用している場合、本機で使用できるようになっていますか。

⇒ ホームページ(https://www.regza.com/regza/)でUSBハブが推奨機器であることを確認します。

※ 推奨機器でない場合は使用できないことがあります。「USBハードディスクの接続をする」の「お知らせ」をご覧ください。

※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。

録画ができない、または録画されなかった

USBハードディスクの残量が足りていますか。

⇒ 残量を確認する。≫「機器の情報を確認する」

⇒ 不要な番組を削除する。≫「録画番組を消す」

⇒「自動削除設定」を有効に変更する。≫「自動的に消す（自動削除設定）」

コピー禁止の番組ではありませんか。

⇒ 録画はできません。

外部入力からの番組、独立データ放送番組、外部機器からの映像、ネットワークサービスの映像などではありませんか。

⇒ 本機は上記の番組や映像の録画には対応しておりません。

予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。

⇒ 本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。

※「その他の録画設定」の「放送時間」を「連動する」に設定した場合でも、放送時間の繰り上げには対応できません。

連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか。

⇒「その他の録画設定」で「追跡キーワード」を正しく設定します。≫「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」

※ 1回限りのキーワード（「第○○話」や出演者名など）を削除します。

「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。

⇒ サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。

※ 番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。

録画した番組が消えた

「自動削除設定」が有効になっていませんか。

⇒「自動削除設定」を無効に設定する。≫「自動的に消す（自動削除設定）」
または、消したくない番組を保護する。≫「誤って消さないように保護する」

録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きませんでしたか。

⇒ 録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かない。
※ 左記の場合、録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。

⇒「録画番組を修復する」≫の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります。

録画リストの分類タブが「すべて」以外になっていませんか。

⇒ 録画リストの分類タブで「すべて」を選択する。

ホームネットワークの機器が認識されない、再生できない、映像が止まる、またはノイズが出る

接続は正しいですか。

⇒ ルーターを通して正しく接続します。

⇒ 配信機器と本機を無線LANで接続してるときに、配信機器からの映像が止まったり、ノイズが出たりする場合は、無線LANのアクセスポイントと本機の設定が正しく設定しているか確認します。設定が正しいと確認できたあとも、映像が止まったり、ノイズがでたりする場合は、以下の操作をしてみてください。

①本機と無線LANアクセスポイントの電源を「切」にする

②本機と無線LANアクセスポイントの電源プラグ(またはACアダプター)をコンセントから抜く

③1分間以上待つ

④本機と無線LANアクセスポイントの電源プラグ(またはACアダプター)をコンセントに差し込む

⑤本機と無線LANアクセスポイントの電源を「入」にする

映像が止まったり、ノイズが出たりしないか確認します。

それでも解消されない場合は、有線LANで接続してください。

ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていますか。

⇒ ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。

本機のネットワーク設定および接続機器はアドレス情報(IPv4)のIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。

⇒ 「IP設定」を「DHCP」に設定します。≫「IP設定」

※ 機器側については、機器の取扱説明書に従って確認・設定してください。

ネットワークメディアサーバーやDHCP-IP対応サーバーのアクセス制限は正しく設定されていますか。

⇒ 機器がMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、機器の取扱説明書を参照し、本機のMACアドレスを許可するように設定します。

※ 本機のMACアドレスは、「詳細設定」⇨「ヘルプ」の「本機の情報」や「ネットワーク情報」で確認することができます。

無線LANをご使用の場合、暗号方式が「暗号なし」になっていませんか。

⇒ 無線LANをご使用の場合、暗号方式が「暗号なし」のときにはデジタル放送などの著作権保護付コンテンツをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのコンテンツを取り扱う場合も無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

本機が再生できる種類のコンテンツですか。

⇒ 本機で対応しているフォーマットで機器から出力できるか、機器の取扱説明書で確認します。

ほかのレグザで再生できない

⇒ USBハードディスクに録画した番組は、録画したテレビでしか再生できません(同じ形名のほかのテレビでも再生できません)。

HDMI連動機能

機器を接続しても連動動作ができない

接続は正しいですか。

⇒ HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。

※ はじめてレグザリンク対応のHDMI連動機器を接続したときや、接続を変更したときには、すべての機器が連動しているか確認してください。

推奨機器(対応機器)ですか。

⇒ ホームページ https://www.regza.com/regza/ でお知らせしています。

※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。

本機と接続機器の設定は正しいですか。

⇒ 接続機器側の連動設定を確認します(機器の取扱説明書を参照してください)。

⇒ 本機の「デバイス設定」にある「ＨＤＭＩ連動機能」を確認します。≫「HDMI連動機能」

オーディオ機器(オーディオシステム)に接続されているスピーカーから音が出ない

接続は正しいですか。

⇒ HDMIケーブルで接続する場合は、HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。接続するオーディオ機器の端子については、オーディオ機器の取扱説明書を参照してください。

⇒ レグザサウンドシステムやARC対応のオーディオ機器はHDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続してください。

⇒ ARC対応していないオーディオ機器をHDMIケーブルで接続する場合は、オーディオ用光デジタルケーブルも接続してください。

接続機器側の設定は正しいですか。

⇒ オーディオ機器側の連動設定を確認します(機器の取扱説明書を参照してください)。

本機の設定やスピーカーの選択は正しいですか。

⇒ 「HDMI連動設定」の「電源オン時優先スピーカー」を「オーディオシステム」に設定しておくと、テレビの電源をオンしたときに、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。≫「電源オン時優先スピーカー」

⇒ サブメニューの「スピーカー出力切換」で「オーディオシステム」に切り換えます。≫「サブメニューについて」

クラウドサービスやネットワークサービスが利用できない

プロバイダーなどとのインターネット利用契約はお済みですか。

⇒ 契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

⇒ ネットワークサービスによっては、申し込みが必要な場合があります。

接続や設定は正しいですか。

⇒ 確認して、正しく接続・設定します。

ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていますか。

⇒ ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。

本機のネットワーク設定はIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。

⇒ 「IP設定」を「DHCP」に設定します。≫「IP設定」

レグザプライバシーポリシーを「同意する」にしていますか。

⇒ 「同意する」に設定します。≫「レグザプライバシー設定を変更する」

本機のソフトウェアバージョンが該当のクラウドサービス（機器側の機能へのリンクや、他社サービスを除く）を利用できるソフトウェアバージョンですか。

⇒ ソフトウェアのバージョンによっては、ご利用いただけないサービスがあります。
クラウドサービスについて、詳しくは、ホームページ（https://www.regza.com/regza/）をご覧ください。

※ 本機のソフトウェアバージョンを常に新しい状態にするために、電源プラグを抜かないようにしてください。クラウドサービスが正しく表示されない場合、「クラウドサービス関連情報の初期化」を行うと、正しく表示されるようになります。

無線LANが使えない

接続や設定は正しいですか。

⇒ 確認して、正しく設定します。

お使いのルーターは、無線LAN対応のブロードバンドルーターですか。

⇒ 無線LANに対応していない場合は、無線LANでの接続はできません。
その場合、無線LANアクセスポイントが必要です。

複数の無線LANアクセスポイントがありませんか。

⇒ 無線LANは、近くに複数の無線LANアクセスポイントがある場合、複数の周波数帯が使われている場合、また近くに電波を出す機器がある場合などは、電波の干渉が起こり接続できないことがあります。
周波数帯を変更するか、電波を出す機器の近くで使わないようにします。市販の無線LANコンバーターをお使いの場合は、お使いの無線LANコンバーターの取扱説明書で確認するか、メーカーにお問い合わせください。

アドレス情報(IPv4)のIPアドレスが取得できない

アドレス情報(IPv4)のIPアドレスが空欄ですか。

⇒「ネットワーク情報」にある「アドレス情報(ＩＰｖ４)」を確認します。≫「ネットワーク情報」

⇒ 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認します。

①有線の場合、本機とルーターが接続されているか確認する

②ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します)

③ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器からインターネット接続が可能か確認する

- 有線LANで接続しているときに可能であれば、以下のテストをします

  機器に接続されているLANケーブルを本機に接続し、接続テストをする

  接続できたとき

  最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。

  接続できなかったとき

  ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。

④インターネット接続可能なその他の機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する

⑤「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認する

- 上記の確認をしても接続できない場合は、本機を再起動します。再起動のしかたは、製品同梱の取扱説明書の「テレビが操作できなくなったとき－テレビをリセットする」をご覧ください。

- 再起動をしても接続できない場合は、本機の初期化をします。
- 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝テレビご相談センター（製品同梱の取扱説明書裏表紙参照）にお問い合わせください。

アドレス情報(IPv4)のIPアドレスが取得できているのに接続できない

アドレス情報(IPv4)の取得しているIPアドレスが「192.168. ～」から始まっていますか。

⇒ お使いのルーターは、ブロードバンドルーターまたは、無線LAN使用のときは、無線LAN対応のブロードバンドルーターか確認します。

⇒「ネットワーク情報」にある「アドレス情報（ＩＰｖ４）」を確認します。≫「ネットワーク情報」

⇒ 取得しているIPアドレスが「192.168. ～」から始まっていればルーターから正常にアドレスを取得できています。「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認します。

⇒「169.254. ～」から始まっているときは、本機がルーターからのIPアドレスの取得に失敗しています。その場合は、以下の操作をしてみてください。

- ルーターを再起動する。
- 本機を再起動する

  再起動のしかたは、製品同梱の取扱説明書の「テレビが操作できなくなったとき－テレビをリセットする」をご覧ください。
- 本機のIPアドレスを確認する

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「電波の受信状態が良くありません。[サブメニュー]から「降雨対応放送」に切り換えられます。コード：E201」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。 ⇒ 降雨対応放送に切り換えることができます。≫「降雨対応放送について」
「放送が受信できません。 1．テレビと壁のアンテナ線の接続を確認してください アンテナ線を接続しなおしてみてください。地デジとBS・110度CSのアンテナ端子を間違えないようにご注意ください。 2．リモコンで見たい放送(【地デジ】【BS】【CS】)ボタンを押してください 3．設定の「アンテナ設定」でアンテナレベルを確認してください 詳細は取扱説明書のエラーメッセージの項目をご確認ください。 お問い合わせ先を確認する場合は、赤ボタンを押してください。 コード：E202」	• アンテナが放送に適合していない。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 • BS・110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 • アンテナの方向ずれや故障。 • 電波が弱くて視聴できない。 • 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※放送が休止中の場合も表示されることがあります。 ⇒ 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。 ⇒ アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します(販売店にご相談ください)。≫「電波の強さ(信号強度)を確認する」 ⇒ BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「現在放送されていません。 コード：Ｅ２０３」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。 ⇒ 番組表などで放送時間を確認します。
「ＡＣＡＳチップが認識できません。」	ACASチップが破損してる。 ⇒ 東芝テレビご相談センター（製品同梱の取扱説明書裏表紙参照）にお問い合わせください

USBハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「ＵＳＢ１端子（またはＵＳＢ２端子または通常録画用USB端子）の電源容量をこえました。 接続機器をはずし、電源ボタンで、電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	USBバスパワーで動作するUSBハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。 ⇒ 以下の手順で復帰させます。 ①本体底面にある本体ボタンの中央部を押して電源を待機にする ②USBハードディスクの接続ケーブルを抜く ③本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込む ④本機の電源を入れる ⑤USBハードディスクを接続する ※再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USBハードディスクにACアダプターを接続してください。

東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「録画機器の動作により設定できませんでした。しばらく待ってからもう一度操作してください。」	レコーダーの動作との競合（なんらかの操作、動作、表示をしている）がある。 ⇒ しばらくしてからやり直すか、または、レコーダーの操作などを中止します。
「録画機器の予約数がいっぱいです。」	レコーダーの予約数が制限を超えている。 ⇒ レコーダーで予約を取り消します。
「指定した時間では予約を設定できません。」	レコーダーが対応していない形式で時刻を設定した。 ⇒ 指定できる時刻の形式をレコーダーの取扱説明書で確認します。
「録画機器の予約時間と重複するため、設定できません。」	レコーダー側の予約と、本機からの予約時間が重なっている。 ⇒ レコーダーで予約している時間帯は、本機からの予約はできない場合があります。
「録画機器の時刻設定が正しくありません。」	レコーダーの時刻設定をしていない。 ⇒ レコーダーの時刻設定をします。

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「予約を設定できませんでした。」 または 「録画を設定できませんでした。」	レコーダーの電源プラグが抜けている。 ⇒ レコーダーの電源プラグをコンセントに差し込みます。
	レコーダーが正しく接続されていない。 ⇒ 本機とレコーダーを正しく接続します。 HDMIケーブルは、規格に合ったケーブルを使用してください。

LAN端子を使った通信に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「サーバーと通信できませんでした。しばらく待ってからもう一度操作してください。」	サーバーからのソフトウェア・ダウンロードに失敗した。 ⇒ 接続・設定の状態を確認します。
	回線が混みあっている。 ⇒ しばらくたってから、もう一度操作します。
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	• 接続先の証明書が有効期限切れになっている。 • サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。 • 接続先の証明書が改ざんされている。 • 認証エラーが発生した。 ⇒ 接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません（本機の動作は正常です）。
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	

BS・110度CSの4K放送に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「8K番組は視聴できません。」	本機は8K放送に対応していません。

これらの症状で訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

■ それでも解決しない場合のご確認

下記ホームページをご覧ください。

https://www.regza.com/regza/support/

※上記アドレスおよびQRコードは予告なく変更される場合があります。

電話でのご相談は「東芝テレビご相談センター」:

【一般回線・PHSからのご利用は】

0120-97-9674 （通話料：無料）

【携帯電話からのご利用は】

0570-05-5100 （通話料：有料）

© TVS REGZA CORPORATION 2021

TOSHIBA

取扱説明書

X8900K
追加機能編

本書について

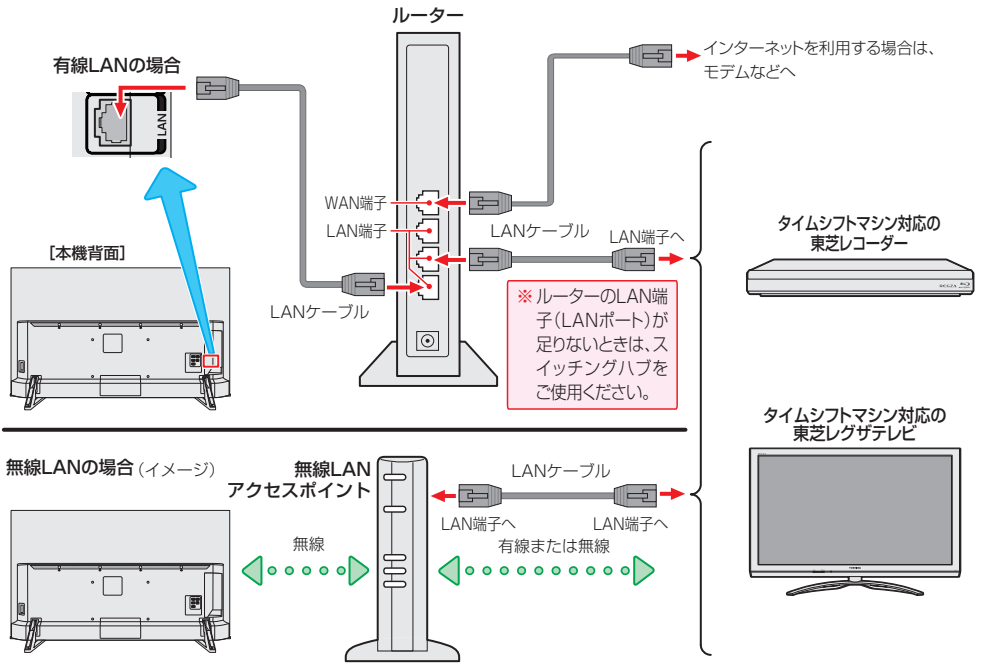
- 本書は、ソフトウェア更新で追加された以下の機能について説明しています。
  - タイムシフトリンク機能（ホームネットワーク）
  - My.Choice 機能
  - VRR 機能
  - HDMI の 2160p 120Hz 入力信号対応

タイムシフトリンク機能を使う

● タイムシフトリンク機能は、同一ネットワーク上に接続した、ホームサーバー機能が搭載されている他のタイムシフトマシン対応の東芝レコーダーや東芝レグザのタイムシフトマシン録画の番組を、本機で再生したり操作したりできる機能です。

※ タイムシフトリンク機能を利用するには、ホームネットワークでの接続と設定、およびタイムシフトリンク機能の設定が必要です。

機器を接続する



タイムシフトリンク機能を使う設定をする

- タイムシフトリンク機能で操作する機器を選びます。
- タイムシフトリンク機能で連携する機器の電源を入れて、サーバー機能の設定をしてから、以下の操作をしてください。

1 設定を押して、▲·▼と決定で「録画・再生設定」⇨「タイムシフトリンク設定」⇨「機器の登録」の順に進む

2 ▲·▼を押して、タイムシフトリンク機能で使用する機器を選び、決定を押す

- 選んだ機器のタイムシフトマシン録画番組を、過去番組表に表示したり、再生したりできます。

※ 選んだ機器のネットワークの状態や接続を変更したときに、本機でタイムシフトリンク機能を使用する機器として認識できなくなった場合は、上記の操作で再度機器を選んでください。

タイムシフトリンクメニューを表示する(基本操作)

- タイムシフトリンク機能を使った操作をします。

1 タイムシフトリンクを押す

- タイムシフトリンクメニューが表示されます。



- 本機およびタイムシフトリンク機能で選んだ機器のリモート電源の設定によって、再生時に自動的に電源を入れることもできます。

2 ◀·▶を押して、操作するメニューを選び、決定を押す

※ 「始めにジャンプ」と「機器操作」は、HDMIケーブルも接続していて、「HDMI連動機能」が有効のときに操作できます。

タイムシフトマシン録画番組を見る

- タイムシフトリンク機能で選んだ機器の過去番組表を表示させ、タイムシフトマシン録画番組を選びます。

※「タイムシフトリンク機能を使う設定をする」≫の操作をした直後は、選んだ機器からの過去番組表の表示には時間がかかります。

1 タイムシフトリンクを押し、◀·▶で「過去番組表」を選び、決定を押す

- タイムシフトマシン録画の過去番組表が表示されます。



- 「週間過去番組表」については「週間過去番組表を表示させる」をご覧ください。
- テレビの状態によっては、日時の古い番組が表示されないことがあります。

2 見たい番組を▲·▼·◀·▶で選ぶ

- 過去番組表に表示しきれていない日時のページを表示させるには ≪ · ≫ を押します。
- 青 を押すと、選ばれているチャンネルの最新番組へ移動します。
- 赤 を押すと日時指定ジャンプ画面が表示されます。日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。
- 選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見たいときは、サブメニューから「頭出し再生」を選びます。
- 選んだ番組の番組説明を見るには、サブメニューから「番組説明」を選びます。

3 決定を押す

- 選択した番組の再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。

4 タイムシフトマシン再生を終了するには、終了または■を押す

- ほかの操作によってもタイムシフトマシン再生が終了する場合があります。

- タイムシフトマシン再生を開始すると、再生を開始した番組から同じチャンネルの最新の録画番組まで順に連続再生が行われます。
- 録画が完了した最新番組の再生が終わるとタイムシフトマシン再生が終了します。
- 番組を選び直すには、手順*1*から操作します。

過去番組表について

- タイムシフトリンク機能で選んだ機器によっては、録画中の番組(放送中の番組)は表示されません。

［過去番組表の例］



※ グレーに表示されている番組は、「番組表を更新する」≫の操作をすると表示される場合があります。

ご注意

- 「タイムシフトリンク機能」が「使用しない」になっているとき、またはHDMIケーブルだけで接続しているときは、タイムシフトマシン対応の東芝レコーダーの過去番組表が表示されます。その場合の過去番組表の操作は、東芝レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- タイムシフトリンク機能を使って本機が表示する過去番組表は、タイムシフトリンク機能で選んだ機器の情報を基に本機が作成した過去番組表になります。タイムシフトマシン搭載の東芝レコーダーが表示する過去番組表とはデザイン、レイアウトが異なります。
- 表示できる番組数には制限があります。日時の古い番組は表示されないことがあります。
- タイムシフトリンク機能で選んだ機器が自動削除をしている時間帯の番組は、再生できなかったり途中からの再生になったりします。

過去番組表を便利に使う

● 過去番組表が表示されているときに以下の操作をします。

週間過去番組表を表示させる

● 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

1 ◀·▶で一週間分の番組表を表示させたいチャンネルを選び、黄（週間過去番組表）を押す

- « ·» で他のチャンネルの週間過去番組表に切り換えることができます。
- 操作方法は、通常番組表の場合と同じです。

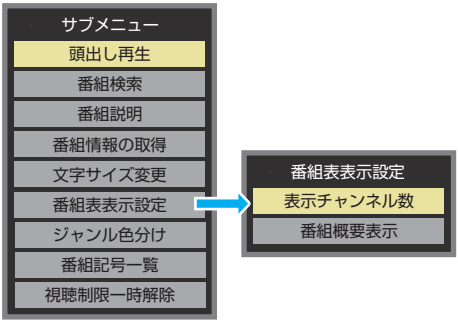
サブメニューを使って操作する

● 過去番組表が表示されているときにサブメニューを押して、過去番組表のさまざまな設定をすることができます。

1 サブメニューを押す

- 過去番組表のサブメニューが表示されます。

2 設定する項目を▲·▼で選んで決定を押し、以降を参照して操作する



● 以下の項目は通常番組表と同じ操作になります。
該当タイトルの説明をご覧ください。

項目	該当タイトル
番組説明	「番組説明を見る」≫
ジャンル色分け	「ジャンル別に色分けする」≫
番組記号一覧	「番組記号の説明を見る」≫
番組概要表示	「番組概要の表示／非表示を設定する」≫
視聴制限一時解除	「番組表で視聴制限を一時解除する」≫

頭出し再生

● 過去番組表で選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見ることができます。

❶▲·▼で「頭出し再生」を選び、決定を押す

「番組検索」で見たいタイムシフトマシン録画番組を探す

● タイムシフトマシン録画された番組の中から、見たい番組を探して視聴することができます。

❶▲·▼で「番組検索」を選び、決定を押す

❷検索するグループのタブを◀·▶で選ぶ

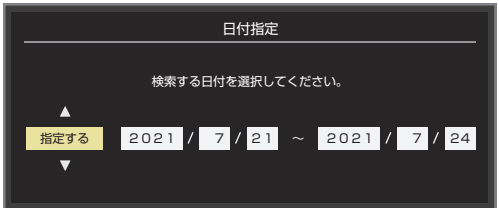
❸検索条件を指定する

● 「日付」と「チャンネル」以外の指定方法は、「条件を絞りこんで番組を探す」≫の手順 ***4*** と同じです。

※ 過去番組表で番組検索する場合、「ジャンル」の「サブジャンル」は「ゴルフ」、「サッカー」、「野球」、「相撲・格闘技」、「競馬・公営競技」、「ショッピング・通販」、「グルメ・料理」、「天気」、「交通」の検索ができます。他の「サブジャンル」は、タイムシフトリンク機能で選んだ機器によっては検索できません。

■ 「日付」を指定するとき

①▲·▼で「日付」を選び、決定を押す



②◀·▶で左端の欄に移動し、▲·▼で「指定する」を選ぶ

③◀·▶で欄を移動し、検索範囲の開始～終了の年、月、日を▲·▼で選ぶ

④指定が終わったら、決定を押す

■ 「チャンネル」を指定するとき

①▲・▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

②▲・▼・◀・▶でチャンネルを選び、決定を押す

● タイムシフトマシン録画チャンネルの中から、お好みのチャンネルまたは「すべて」が指定できます。

❹▲・▼で「検索開始」を選び、決定を押す

● 検索にはしばらく時間がかかることがあります。

● 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

❺「番組検索結果」画面からお好みの番組を▲・▼で選び、決定を押す

● 再生が始まります。

■ 頭出し再生をする

● 選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見ることができます。

①▲・▼で頭出し再生をしたい番組を選び、赤(頭出し再生)を押す

番組表を更新する

● タイムシフトリンク機能で選んだ機器の過去番組表を更新します。

❶▲・▼で「番組情報の取得」を選び、決定を押す

● 番組情報の取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。

● 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中にサブメニューを押し、サブメニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

文字サイズ変更

● 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

❶▲・▼でお好みの文字の大きさを選び、決定を押す

表示チャンネル数

- お買い上げ時は、録画チャンネル数が1～4のときは4チャンネル表示、5～6のときは6チャンネル表示、7のときは7チャンネル表示になりますが、以下の操作で表示するチャンネル数を変更することができます。
- 録画チャンネル数が表示チャンネル数よりも少ないときは、番組表の空き部分が灰色になります。

❶▲・▼と決定で「番組表表示設定」⇨「表示チャンネル数」の順に進む

- 9チャンネル表示も選ぶこともできます。

※ オートでは、録画チャンネル数にかかわらず9チャンネル表示はされません。

❷▲・▼で表示させるチャンネル数を選び、決定を押す

番組情報やタイムバーを表示させる

- タイムシフトマシン再生中に画面表示を押すと、画面左下に番組情報やタイムバーが表示されます。
- 停電や「タイムシフトマシン録画の一時停止」などで録画されなかった部分があっても、その様子はタイムバーに表示されません。その部分は再生時にスキップされます。



タイムシフトマシン再生中にできるリモコンの基本操作

● 本機のリモコンで以下の再生操作ができます。



本機のリモコンボタン	動作の内容
/早見	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 • 再生中に繰り返し押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。
静止	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
	タイムシフトマシン再生を停止し、放送画面などに戻ります。
	早送り再生をします(押すたびに速さが変わります)。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けると、連続コマ送りになります。連続コマ送り中に押すと、押すたびに速さが変わります(2段階)。
	早戻し再生をします(押すたびに速さが変わります)。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
	再生中または可変再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。
	再生中または可変再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。



本機のリモコンボタン	動作の内容
◀·▶	再生中に押すと、前／次のシーンへスキップします。 • シーン情報がない録画番組の場合は、20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします（録画時間が短い番組では動作しないことがあります）。 • シーン/出演者画面のように、◀·▶を別に使う機能では、この機能は使えません。
▼	シーンリストを表示します。
▶▶|	次のシーンにスキップします。 • シーン情報のない録画番組の場合は、次の番組を再生します。
|◀◀	一つ前のシーンにスキップします。 • シーン情報のない録画番組の場合は、再生中の番組の先頭にスキップして再生します。

- 「始めにジャンプ」でタイムシフト再生を行う場合、タイムシフトリンク先の機器による再生動作になります。
- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、接続機器の設定・機能によって異なる場合があります。

※録画番組によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。

タイムシフトリンク省エネ設定をする

● タイムシフトリンクを使用しているときの、省エネ設定をします。

1 **設定を押して、▲·▼と決定で「録画・再生設定」⇨「タイムシフトリンク設定」⇨「省エネ設定」の順に進む**

2 **▲·▼を押して、「オン」または「オフ」を選び、決定を押す**

- **オン**……省エネ設定が働き、電源が「入」のときだけタイムシフトリンク機器から番組情報を取得します。電源を「入」にした直後は、タイムシフトリンク機器からの番組情報が表示されないことがあります。
- **オフ**……省エネ設定を解除し、電源が「待機」のときでもタイムシフトリンク機器から番組情報を取得しますが、電源待機時の消費電力が増えます。

My.Choice機能を使う

● リモコンでお好みの動画配信サービスや外部入力に接続した機器、登録したアプリに切り換えることができます。

My.Choiceボタンの機能を設定する

1 **設定**を押し、▲·▼と決定で「リモコンとアクセサリ」⇨「リモコン設定」⇨「My.Choiceボタン設定」の順に進む

2 決定を押す

● My.Choiceボタンに設定できる機能の一覧が表示されます。

3 ▲·▼で選び、決定を押す

● 「テレビ」、「ＨＤＭＩ１」～「ＨＤＭＩ４」、「ビデオ」またはアプリから選択できます。

※ 選択できるアプリは、インストールされているアプリのうち「アプリ」画面に表示されるものになります。

4 ▲·▼で「OK」選び、決定を押す

● My.Choiceボタンで、設定した入力またはアプリに切り換えることができます。

VRR信号の入力設定をする

● ゲーム機から出力されるＶＲＲ信号を受信できるように設定します。出力信号については、ゲーム機側の設定が必要です。

VRR設定を変更する

※「自動ゲーム機器設定」が「オート」に設定されているときは、設定できません。

※この設定は、外部入力としてＨＤＭＩ1またはＨＤＭＩ2を選んでいる場合に設定できます。

1 設定を押し、▲·▼と決定で「デバイス設定」⇨「外部入力」⇨「外部入力設定」の順に進む

2 設定する外部入力を▲·▼で選び、決定を押す

● VRR設定は、外部入力としてＨＤＭＩ1またはＨＤＭＩ2を選んでいる場合に設定できます。

3 ▲·▼で「VRR設定」を選ぶ

4 決定を押して有効/無効を切り換える

● 決定を押すごとに有効と無効が切り換わります。

- **有効：**
  入力映像がVRR信号の場合に、自動的に画面のリフレッシュレートを変更します。
  ※ 映像メニューが「ゲーム」に設定されているとき、機能します。
- **無効：**
  この機能は働きません。

自動でゲームモードに切り換える

● 「自動ゲーム機器設定」が「オート」に設定されている場合、接続されたゲーム機を判別し、「VRR設定」は機器に合わせた設定に変更されます。

対応フォーマット

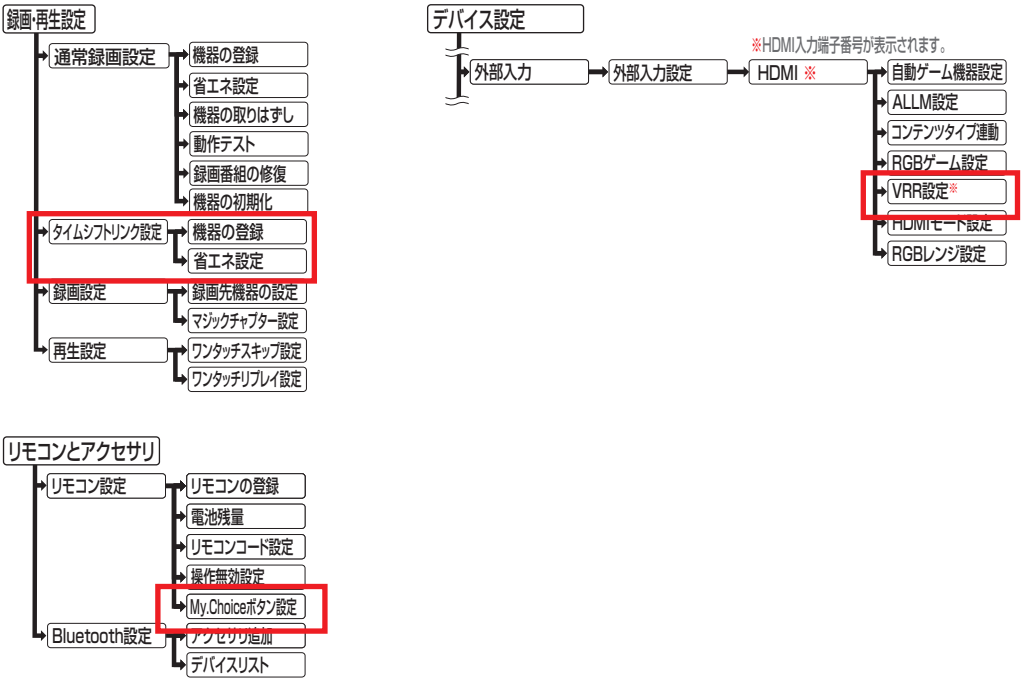
● ソフトウェア更新で、以下のフォーマットに追加で対応します。

※下記信号は、HDMI1またはHDMI2で対応しています。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート	水平周波数	ピクセルクロック
2160p	3840×2160	119.98 / 120Hz	215.80 / 216.00KHz	1196.80 / 1198.00MHz

設定メニュー

● ソフトウェア更新で追加となる箇所を設定メニュー で示します。
赤枠で示す部分が追加されるメニューです。



※「VRR設定」は、外部入力としてHDMI1またはHDMI2を選んでいる場合に設定できます。